

#1 「史料公開ニュース」(市ヶ谷資料)

戦史部

第1回は発掘後、修復が終わった「市ヶ谷台史料」47冊です。10年度公開分39冊と併せ、計86冊になりました。

史料番号	表 題	作成機関	内 容
53	昭和七年一月～三月 裁可綴	参謀本部	支那駐屯軍指揮下部隊帰還に関する件
70	昭和八年三月 裁可綴	参謀本部	各種学校編制表 他
32	昭和十二年十二月 裁可綴	参謀本部	支那派遣軍に関する裁可綴
72～75	昭和十三年二月～九月 編制関係史料	参本第三課	動員計画・復員下令等
35～36	昭和十六年七月 裁可綴 (其一、其二)	参謀本部	支那派遣軍に関する裁可綴
50～52	昭和十六年一月～三月 上奏綴	参謀本部	特別師団演習に関する上奏
49	昭和十六年一月 昭和十六年度対支謀略計画ノ要綱	参謀本部	対重慶工作
50	昭和十六年一月 昭和十六年初頭における対仏印施策	参謀本部	歩兵117聯隊仏印派遣 他
51	昭和十六年二月 年度 陸海軍協同上陸作戦演習(呂号)計画	参謀本部	戦闘序列・編制等
52	昭和十六年三月 年度 陸軍動員計画諸部隊 整備一覧表」	参謀本部	軍動員計画人馬総数表
71	昭和十六年十二月 上奏綴	参謀本部	支那・南方方面戦況に関する上奏
56	昭和十七年七月 裁可綴	参謀本部	南方軍総司令官に対する命令 他
61	昭和十七年七月 独立工兵第十二、二十七聯隊 臨時編成	参謀本部	各部隊編制表 他
62	昭和十七年七月 独立戦車第一中隊 臨時編成等史料	参謀本部	編制並び復員要領
63	昭和十七年七月 南方鉄道、通信諸部隊 臨時編成等史料	参謀本部	編制改正並びに復員要領
64	昭和十七年七月 陸軍挺進練習部 編制改正等史料	参謀本部	同 上
65	昭和十八年一月 裁可綴	参謀本部	航空軍司令官に対する命令等
57	昭和十八年一月 広州湾仏国租借地に対する進駐措置	参謀本部	支那派遣軍総司令官に対する命令
76～78	昭和十八年五月 編制関係史料 (其一、其二、其三)	参本 第三課	動員下令御裁可の件
79	昭和十八年五月 四号軍備充実計画	参本 第三課	航空軍司令部人員増加の件
80～82	昭和十八年六月 編制関係史料 (其一、其二、其三)	参本 第三課	航空通信隊司令部勤務要領 他
58-1.2	昭和十八年七月 裁可綴 (其一、其二)	参謀本部	航空軍司令官に対する命令 他
67	昭和十八年七月 特種情報部臨時編成史料	参謀本部	中央特種情報部編制表 他
68	昭和十八年七月 ビルマ、比島独立等に伴う軍政撤廃措置	参謀本部	南方軍・第14軍司令部に対する命令
83～84	昭和十八年九月 編制関係史料 (其一、其二)	参本 第三課	陸軍動員計画大綱等
85	昭和十八年九月 昭和十八、十九年度末 兵備要綱	参本 第三課	対米英戦に対する戦略兵備
66	昭和十九年一月 南方軍遊撃隊司令部 臨時編成史料	参謀本部	臨時編制及編制要領制定
59	昭和十九年三月 裁可綴	参謀本部	航空軍司令官に対する命令等
60-1.2	昭和十九年六月 裁可綴 (其一、其二)	参謀本部	防衛総司令官に対する命令等
69	昭和十九年六月 第百、百二、百三、百五師団 臨時編成等	参謀本部	速射砲部隊編組・編入等
43	昭和二十年一月 航空路保安連絡規定一部改定ノ件	航空路司令官	航路図改正等、航空管制
44～47	昭和二十年八月 受電綴 (其一、其二、其三、其四)	参謀本部	原爆投下、ソ連参戦に関する報告等
86	昭和二十年八月 ポツダム宣言ニ対スル国内ノ動向	憲兵司令官	政・官・財、諸団体等各界の動向

第2回 「史料公開ニュース」

防衛研究所では所蔵史料を逐次公開しています。このコーナーでは、新たに公開した史料を紹介しています。今月は私文書のうち、公開の了承をいただいた19件の史料です。ご活用下さい。

番号	表 題	作 成 者	作成時期	内 容 説 明
1 陸軍史料				
(1)	終戦における関東軍総司令部の状況等について	関東軍司令官 山田 乙三	S20～21年	最後の関東軍司令官の終戦記
(2)	金原中佐業務日誌	陸軍省医事課 長 金原節三	S16～18年	陸軍省局長会報・同課長会報等を主体とした陸軍省内の動向
(3)	レイテ戦従軍記	第1師団長 片岡 董	S19年	支那からの転進～リモン峠の戦闘
(4)	騎兵第十八聯隊史	中隊長少佐 阿部 和彦	S7～15年	支那事变影徳城攻撃、温懸城戦 他
(5)	飯田祥二郎戦塵録 第1～3巻	飯田 祥二郎	S16～18年	仏印進駐に於ける回想録
(6)	本庄繁大将日記	本庄 繁	T14～S20年	関東軍司令官・侍従武官在職時の覚書
(7)	山内正文中将日記	15師団長 山内 正文	S18～19年	ビルマ進攻作戦～インパール作戦回想手記
(8)	シッタン河突破作戦	54師団参謀長 倉澤 俊郎	S20.7～8	アラカン山脈から～トングー平地後退間における突破作戦の実相
(9)	コヒマに至までの31師団の行動 他	第31師団長 佐藤 幸徳	S19年	インパール作戦間の手記、離任の辞、回想等
(10)	第55師団の作戦に関する回想	師団参謀長 久保 宗治	S34.1	アラカン作戦についての回想
(11)	戦車第十四連隊戦史資料	中隊長少佐 衛藤達夫	S16～18年	マレー作戦～インパール作戦における戦車中隊の戦闘記録
(12)	大東亜戦争における陸軍船舶史	船舶参謀 松原 茂生	S45.2.26	船舶輸送部隊の行動及び司令部主要職員表等の史料集
2 海軍史料				
(1)	元海軍大将 澤本頼雄氏手記	呉鎮守府長官 澤本 頼雄	S16～20年	海軍次官在職中のメモを主体とした編纂官質問に対する要項覚書
(2)	伊五三潜水艦「最後の苦闘と生還」	副長兼水雷長 大堀 正	H7.7.24	最後の回天特攻「多聞隊」の苦闘
(3)	嶋田繁太郎大将備忘録 1～8巻	嶋田 繁太郎	S10～20年	軍令部次長、艦隊司令長官、海軍大臣、東京裁判時におけるメモ・回想
(4)	嶋田繁太郎大将日記	嶋田 繁太郎	S15～16年	大東亜戦争開戦に至る時期の日記
(5)	甲飛13期生特潜日記	甲飛生 寺澤 茂登美	S20.1～6	特潜乗員訓練及特攻手記
(6)	中原中将日記1～11巻	11航空参謀長 中原義正	S14～20年	欧州情勢～大東亜戦南東方面作戦日記
(7)	小林躋造回想録（耄録志）	台湾総督 小林躋造	S16～20年	少年時代～終戦直後（開戦経緯等）の回想

第3回

戦史部

防衛研究所では所蔵史料を逐次公開しています。今月は基本教育に関する陸軍の教程類を特集しました。ご活用下さい。

1 陸軍大学校	作成者(機関)	作成年月日	概	要
(1) 陸軍大学校教育綱領	参謀本部	明治40年	参謀本部作成の教育綱領及び行務細則	
(2) 陸軍大学校授業予定計画表	陸軍大学校	昭和11年	陸大における年間教育課目予定表	
(3) 東欧会戦における露軍の作戦指導	陸大教官 小畑敏四郎中佐	大正12年	1次大戦における露軍の作戦指導の評価	
(4) 戦史に基く日本軍の緒戦に就て	陸大教官 小沼治夫大佐	昭和15年	日露緒戦における作戦指導の根本概念	
2 陸軍士官学校				
(1) 軍制学假教程	予科士官学校	昭和12年	陸海軍現制度・編制等の沿革解説	
(2) 戦術学教程	陸軍士官学校	明治42年	攻防・追撃・退却における戦術行動	
(3) 地形学教程	陸軍士官学校	大正15年	地形地物を測量し描写する手順の解説等	
(4) 兵要地誌教授要項	士官学校築城課	昭和13年	帝国領土内の地形概観参考資料	
(5) 野戦築城に関する参考	士官学校築城課	昭和15年	側防火器制圧の歩工協同要領	
(6) 国漢文教程	予科士官学校	昭和18年	太平記を中心とした古代合戦の状況記述	
3 陸軍幼年学校				
(1) 書読文栞	幼年学校	大正11年	国語用語例・文例の解説書	
(2) 用字便覧	幼年学校	昭和10年	幼年学校で使用された国語辞書	
(3) 訓練提要	幼年学校	昭和15年	幼年学校教育綱領の説明	
4 各兵種				
(1) 憲兵警備	憲兵学校教官 磯 少佐	昭和7年	平時・戦時警備の憲兵隊の任務・役割	
(2) 関東軍陸軍司法警察執務心得	関東軍司令部	昭和16年	捜査手続・逮捕・訊問要領、規則等	
(3) 陸軍司法警察執務心得	陸軍省	昭和16年	捜査・令状の執行要領、調書作成要領	
(4) 剿共実務教範	北支那派遣 憲兵教習隊	昭和17年	共産ゲリラ掃討に関する特別教育	
(5) 地雷の搜索及処理の参考	陸軍工兵学校	昭和18年	地雷搜索・除去・爆破要領及	
(6) 工兵戦闘の参考	教育総監部	昭和20年	対戦車・挺身攻撃支援要領	
(7) 野戦築城教範1～2部	陸軍省	昭和18年	各種掩体構築及び障害処理要領	
(8) 陸軍衛生全書	陸軍省医務局	昭和3年	衛生機関の組織・業務及び看護兵教程等	
(9) 化学戦と医学的観察	陸軍省	昭和6年	化学戦用衛生材料調査のための翻訳資料	
(10) 船舶輸送衛生の参考	陸軍省医務局	昭和16年	船舶内衛生指導、給養、防疫要領	

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は前回の陸軍の基本教育に続き、海軍の基本教育に関する史料を既に公開しているものを含み特集しました。ご活用下さい。

番号	表 題	作成者（機関）	作成年月日	概 要
1	海軍大学校			
(1)	甲種第1～4回図上演習	海軍大学校	M44年	日本近海における露海軍を仮想敵国とした戦務図上演習
(2)	乙種学生戦術講義録	海軍大学校	T7年	戦術要素の解説及び艦隊の編制要領
(3)	統帥学	海軍大学校	T15年	戦国武将の統帥心理及び将帥の資質
(4)	水雷戦術	海軍大学校	T15年	水雷戦に関する戦術的能力の解説書
(5)	海軍大学校講義戦略	山崎海大教官	S13年	戦略参考資料、兵術戦略、戦術に関する解説
(6)	兵棋演習関係綴	海軍大学校	S14年	戦闘計画（含夜戦計画）作成課題集
2	海軍兵学校			
(1)	機関術教科書	海軍兵学校	M36年	各種船舶機関の図説解説
(2)	運用術教科書1～2巻	海軍兵学校	S16年	錨作業・索具・帆布具等の使用取り扱い
(3)	航空術教科書	兵学校校長 草鹿任一	S17年	航空機の概説、プロペラ等各装置の概説
(4)	海軍兵学校生活の記録1～6巻	後藤新八郎 （海兵75期）	S18～20年	将校生徒の教育・訓練・思想等の生活記録
3	海軍経理学校			
(1)	庶務参考書	学校長 本田増蔵	S17年	庶務の意義、人事・刑罰訴訟手続き等
(2)	航空被服の現状について	主計中佐 前川宗太郎	S17年	航空被服取扱の沿革、将来の研究方針の講義
(3)	会計法教科書	海軍経理学校	S17年	会計法規、会計の概要及び意義
4	海軍潜水学校			
(1)	潜望鏡写真要素案	潜水学校教官 山崎大尉	S2年	標準写度表、双眼視式連続撮影基線等潜望鏡データ集
(2)	潜水艦潜行可能時間の研究	潜水学校研究所	S3年	海大III型及び巡潜型潜水艦の酸素量から計算された潜行時間データ
(3)	潜水艦発射法参考資料	潜水学校	S10年	魚雷斜射発射、耐圧・深度実験他、諸元等
5	海軍砲術学校			
(1)	海岸要塞教科書	砲術学校	T4年	要塞の編成、戦備、防御戦要領
(2)	陸戦兵器取扱書	館山砲術学校	S18年	重機関銃等の構造・性能、照準器取扱
(3)	偽砲台構築の参考	横須賀砲術学校	S20年	対空戦闘における偽砲台の価値、配備の一例
(4)	海上機銃射撃指揮官参考書	砲術学校	S20年	敵機種判別法、砲戦指揮、対空戦闘の要領
6	横須賀海軍航空隊			
(1)	飛行予科練習生用 運用術教科書 1・2巻	航空隊司令部 理 坂巻宗孝 老 大佐 監修	S12年	艦船・短艇の種類、性能、船体整備等
(2)	飛行予科練習生用 航空工学教科書	航空隊司令 桑原虎雄監修	S13年	航空機の構造、理論、運動等数式計算
(3)	飛行予科練習生用 航空術 1・2巻	航空隊司令 桑原虎雄監修	S13年	航海兵器の種類、原理・使用方法等

第5回 「史料公開ニュース」

戦史部

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は日清・北清・日露戦役に関する史料を既に公開しているものを含み特集しました。ご活用下さい。

	作成者（機関）	作成年	概	要	登録番号
1 日清戦役					
(1) 朝鮮に関する書類	第1局	M14年	日韓修好条規附録・朝鮮国外官職員表	日清戦役	53
(2) 臨時事変二関スル書類綴	第1局	M27年	他 仁川上陸混成旅団戦闘序列・編制及び命令	日清戦役	57
(3) 外務大臣宛電信訳文	外務省	M27年	在朝鮮公使から外務大臣宛の電信訳文	日清戦役	60
(4) 明治二七・六～十入韓日誌その一・二	吉見精工兵少	M27年	開戦前朝鮮国内の動向～威海衛会戦	日清戦役	34 35
(5) 明治二十八・三～五 従征日誌	吉見精工兵少	M28年	海城全面の戦闘及び朝鮮国主要都市電線状況	日清戦役	36
(6) 黄海海戦における松島艦内の状況	木村海軍大尉	M28年	戦闘間、艦内の状況を挿し絵風に描写した史料	②日清	1
(7) 日清戦争に於ける万国公法	大本営副官部	M29年	英オックスフォード大教授の戦時公報側面からの日清戦役分析	日清戦役	49
(8) 征清用兵 隔壁聴談	東条英教	M30年	平壤攻略戦・第1軍の派韓	日清戦役	54
(9) 明治二七・八年戦役 広島大本営	広島県	S3年	大本営進展、皇太子行啓 他	②日清	11
2 北清事変					
(1) 清国義和団匪事変に関する 広島地方状況一班	広島地方状況 1班	M33年	動員下令・馬匹及車両の徴発、遺族慰問等	北清戦役	1
(2) 北清従征日誌	近衛師団長 長谷川好道	M33年	5 D先遣大隊鉄道輸送、人馬物件補充等	北清戦役	4
(3) 北清における列国の兵力	5 D参謀本部	M33年	在満露国兵力を中心とした在北清列国兵数表	北清戦役	5
(4) 北清事変に関する書類	陸軍省	M34年	勲績調査手続・勲功将校以下人名書 他	北清戦役	7
3 日露戦役					
(1) 野戦砲兵第十六聯隊 明治三十七八年戦史	野戦砲兵 第十六聯隊	M37年	旅順攻略戦、奉天会戦における野砲の戦闘	日露戦役	336
(2) 日露戦役参與艦艇比較図	大本営海軍幕僚	M38年	日露両海軍軍艦性能・諸元一覧表	②日露	41
(3) 日本海大海戦図解説明	海軍勲功表彰会	M38年	図解説明による連合艦隊勝因の分析	②日露	42
(4) 新聞切抜綴	軍政部	M38年	東京・大阪・朝日等当時の戦争報道	日露戦役	102
(5) 伏見宮貞愛親王殿下戦袍日誌	伏見宮貞愛親王殿下	M38年	1師団長として従軍当時の日記	日露戦役	332
(6) 松山収容 露国捕虜	河野香庵	M39年	捕虜の日常生活、風習等収容の状況の記録	日露戦役	330
(7) 日露戦役回顧写真帖	陸地測量部	M39年	三龍谷における軍司令部・11 D野戦病院写真等	戦役写真	55
(8) 日露戦史講義摘要録 第五巻	陸大教官 谷大佐	M40年	樺太出征と陸海軍争議の経緯 他	日露戦役	339
(9) 旅順攻城戦ノ梗概	関東軍司令部	T2年	第1～3回総攻撃の攻略図	日露戦役	331
(10) 東郷連合艦隊司令長官訓示	海軍省教育局	S2年	日露開戦における訓示を精神教育資料として使用したもの	②日露	4
(11) バルチック艦隊航跡図	海軍省	S11年	バルト海出港から日本海までの航路図	②日露	34

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は西比利亜戦役・一次大戦に関する史料を既に公開しているものを含み特集しました。ご活用下さい。

題名	作成者（機関）	作成年	概	要	登録番号
1 西比利亜戦役					
(1) 第十東部西伯利狙撃聯隊諸報告	古沢幸吉 他	M 3 8	在西比利亜露軍部隊現況表を和訳した資料		戦役西伯利出兵69
(2) 西伯利派遣軍作戦経過見取図	諸岡写真館	T 7	ウラジオストクに上陸した各国部隊のパレード写真等		戦役西伯利出兵71
(3) 西比利亜派遣記念帖	第十三師団	T 8	参加戦闘部隊将校記念撮影 他		戦役写真75
(4) シベリア戦役記念写真帖	騎兵第十二聯隊	T 8	騎兵12R3C0クラスノヤール付近戦闘要図他		戦役写真70
(5) シベリア出兵所感録	上等兵 小新田数登	T 8～9	西比利亜在住露人特性、満州里付近支那人観察		戦役西伯利出兵63
(6) ニ港三月事変之顛末	陸海軍省	T 9	殉難者日記・記録により本事件の状況を総合した資料		戦役西伯利出兵67
(7) ニ港事変之顛末	陸海軍省	T 9	ニ港守備隊派遣に至る状況及びニ港占領過程		戦役西伯利出兵68
(8) 西比利亜思出 第一号	シコトワ攻撃部隊 他	T 9	ウラジオストク市内の情景 他		戦役写真67
(9) 西伯利出兵間ノ経験ニ基ク寒地ノ冬季作戦	戦史叢書第七号	S 2	東部西比利亜及び北満の冬季気象その部隊に及ぼす影響を研究		戦役西伯利出兵70
2 一次大戦					
(1) 「膠洲湾」海図	海軍省	T 3	青島沖掃海時連合掃海艇隊指揮官使用海図		②一次大戦12
(2) 膠洲湾征独地図	大阪朝日新聞社	T 3	独軍防備明細図 他		戦役一次大戦14
(3) 捕虜将校以下に就き調査したる要件	名古屋捕虜収容所	T 4	日本軍龍口上陸に対する独軍の情報見積判断等の調査		戦役一次大戦1
(4) ジュットランド海戦附図	英国海軍和訳	T 4	同海戦における独英両国艦隊の作戦経過図		欧州大戦（一次）3 6
(5) 青島要塞攻撃における野戦砲兵の用法に関する講話集	野砲兵射撃学校校長 長尾駿郎	T 4	参加野砲兵24Rの指揮・協同動作、通信設備等の研究集約		戦役一次大戦13
(6) 敗戦下に於ける愛国者の言葉	ヒンデンプルク他	T 1 1	敗戦に際し独軍高級将校が自軍に与えた布告の和訳		戦役一次大戦9
(7) 戦役の観察（主として騎兵の行動に関し）	三好騎兵中佐	T 1 2	日独軍騎兵の使用及びその行動に関する観察研究資料		戦役一次大戦11
(8) 経済封鎖戦	海軍省教育局	T 1 2	連合国の経済封鎖戦の指導及び中立国に対する効果		②欧州大戦76
(9) 世界大戦史	海軍大学校	S 1 2	大戦前欧州外交史、英独海軍競争 他		⑦学校1の196

第8回 「史料公開ニュース」

戦史部

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は満洲事変・ノモンハン事件に関する史料を特集しました。ご利用下さい。

題名	作成者 (機関)	作成年	概要	登録番号
1 満洲事変				
(1) 満洲事変に関連する長江方面の警備	第一遣外艦隊山縣中佐	S 6	事変勃発直後の上海における首席参謀メモ、所見等	支那事変277
(2) 上聞案綴(満洲事変関係)	参謀本部第二課	S 6	呼倫貝爾方面への派兵、関東軍討匪状況等に関する件	中央軍事行政その他563-2
(3) 戦争裁判弁護資料 満洲(第一次上海)事変公文集	一復資料	S 2 0	事変における帝国政府声明書、錦州入場後の本庄司令官布告 他	満洲満洲事変444
2 ノモンハン事件				
(1) ノモンハン事件要図			ハルハ河畔附近小松原部隊攻撃経過要図 他	満洲ノモンハン252
(2) 「ノモンハン」事件ニ関スル若干問題ニ就テ	大本営陸軍部	S 1 4	軍部内用質疑応答資料	満洲ノモンハン255
(3) 「ノモンハン」事件質疑応答資料	大本営陸軍部	S 1 4	事件に関し部外者からの質問に答えるために軍が作成した資料	満洲ノモンハン251
(4) 呼倫貝爾(ホロンバイル)	新田秀夫	S 1 4	事件に参戦した軽重兵下士官手帳	満洲ノモンハン244
(5) ノモンハン事変参戦日記	長久保実	S 1 4	野戦重砲兵七聯隊第一大隊所属将兵の戦場日記	満洲ノモンハン249
(6) ノモンハン事件出動部隊に対する給与関連史料	関東軍参謀長及び北経部隊	S 1 4	糧食後方関係部隊の記録及び通牒	満洲ノモンハン250
(7) 「ノモンハン」事件研究報告	ノモンハン事件研究第一委員会	S 1 4	戦後の編制・装備・動員等の研究	満洲ノモンハン246
(8) 「ノモンハン」事件に関する若干の考察	稲田大佐	S 1 4	事件後の大本営作戦参謀稲田大佐、関東軍参謀寺田大佐他の意見	満洲ノモンハン247
(9) 第二十三師団長副官田中直一資料	田中直一	S 1 4	第二三師団最後の陣地より第六軍への報告	満洲ノモンハン56
(10) 「ノモンハン」事件に就いて	陸軍情報部	S 1 4	戦闘間の兵士の活躍、武勲等の記述	満洲ノモンハン7-2
(11) 対ソ関係弁護資料(6)ノモンハン事件の真相	史実部	S 2 0	極東裁判に於ける日本側の立場明示の為に作成された資料	中央終戦処理901
(12) ノモンハン事件記録	第一復員局資料整理部	S 2 5	一般状勢、七～八月までの作戦経過	満洲ノモンハン254

第9回 「史料公開ニュース」

戦史部

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月及び来月の2回にわたり支那事変に関する史料を特集します。ご活用下さい。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登 録 号
1	支那事変に至る陸軍の動向をトする諸問題	佐藤賢了	S 3 2	軍務課内政班長としての支那事変に至るまでの軍内の動向を記した戦後回想（自筆原本）	中央戦争指導重要国策文書706
2	支那事変発生後に於ける無産政党並労農団体の動向	内務省警保局保安課	S 3	事変中の日本国内の一般情勢、各政治団体の動向に関する資料	支那支那事変全般437
3	昭和十五年秋策定対支大持久戦計画の概要	井本熊男	S 2 4	計画の方針・要領等、戦後著者が簡潔にまとめた自筆資料	支那支那事変全般452
4	警務連絡会議席上に於ける懇談事項	憲兵隊	S 1 2	抗日分子に対する憲兵の取締等の懇談内容を筆記したもの	支那支那事変全般456
5	東南部山西掃討戦	歩兵105連隊	S 1 4	S 14.4に行われた翼城附近の戦闘命令等	支那支那事変北支997
6	協同作戦地点図(通州水道附近)	軍令部	S 1 2	敵情・地形等を表示した1/10万縮尺地図	支那支那事変北支998
7	第一軍管内兵力図等	第一軍	S 1 4	山西省における敵配備、我の作戦図等、詳細に記述されている地図12枚	支那支那事変北支999
8	支那事変行動概要	野砲26連隊4中隊	S12~15	20師団隷下同部隊の北支における各戦闘を要図化した戦闘経過図	支那支那事変北支1000
9	機密作戦日誌(徐州会戦)	第九師団	S 1 3	4.5~5.23戦闘間の同師団作戦地域の敵情及び師団命令等	支那支那事変北支1001
10	畔田主計分団講話集	畔田主計団	S 1 3	北支作戦の歩兵・砲兵及び航空部隊に対する給養の実態	支那支那事変北支1002
11	張家口作戦全付近ノ戦闘詳報	57連隊73大隊	S 1 2	8/23の彼我の状況、天候・気象、隷下各中隊の戦闘結果 他	支那支那事変北支1003
12	張家口会戦張家口付近ノ戦闘詳報	57連隊73大隊	S 1 2	8/23~24の彼我の状況、隷下各中隊の戦闘結果 他	支那支那事変北支1004
13	支那事変初期、北支における十五榴部隊を中心とする砲兵戦史資料	大橋武夫 他	S 1 2	城壁射撃調査及び戦闘詳報に基づき砲兵戦史としてまとめた資料	支那支那事変北支1005
14	台兒荘の戦闘	復員局	S 2 6	戦闘前、津浦沿線の状況及び台兒荘附近の戦闘経過概要	支那事変北支798
15	北支方面作戦記録第一巻(原稿)	不明	不明	石家荘附近の第一軍の会戦準備 他	支那事変北支977
16	(徐州作戦) 行動記録	太田達郎	不明	独立野戦重砲兵第八聯隊第三中隊の徐州会戦における行動記述	支那事変北支994
17	対支那軍戦闘法ノ研究	永見大佐	S 7	歩兵学校教官の教育資料。付録に支那側の対日遊撃戦術がある	中央軍隊教育諸学校93

第10回 「史料公開ニュース」

戦史部

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は前回に引き続き支那事変に関する史料を特集しました。ご活用下さい。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登 録 番 号
1	独立混成団第十七旅団職員表	関東軍等職員 表抜粋	S 1 4	中支（南昌において）101師団を母隊として 編成し上海付近の警備についた17旅団職員 表	支那支那 事変上海 南京415
2	機密作戦日誌（上海～南京）	第九師団	S 1 2	S12. 9. 28～12. 3の間の上海～南京攻略まで の第九師団作戦日誌	支那支那 事変上海 南京422
3	中支方面作戦記録（原稿）	史実調査部	S 1 2	事変勃発～南京攻略、武漢攻略戦	支那支那 事変武漢 486
4	北島驥子雄中将回想録（其の 二）	北島驥子雄	S 2 9	香港要塞攻略作戦に関する教訓 他	支那大東 亜戦南支 96
5	南支那方面作戦記録第一巻 「原稿」	史実調査部	S 2 7	広東作戦実施の経緯及び作戦前における南 支一般の情勢 他	支那大東 亜戦南支 97
6	香港攻略戦秘史	北島驥子雄	S 1 6	香港戦に関する手記の中から英軍参謀ボク サー中佐に関する資料を収録	支那大東 亜戦南支 103
7	湘桂作戦・武居資料	武居慎太郎	S 1 2	第十軍作戦参謀であった著者の支那派遣軍 総司令部との意見の相違について記述	支那大東 亜戦南支 105
8	浜崎富蔵日誌	歩兵第十九聯 隊 浜崎富蔵	S 1 2	南京攻略戦時に著者が記した日記を復員 前、便せんにし密かに郷里に送った資料	支那支那 事変上海 南京416
9	長衡会戦衡陽付近戦闘経過要 図	多賀正文	S 1 2	国民党軍第十軍が使用した衡陽戦初期の作 戦地図	支那支那 事変上海 南京417
10	衡陽保衛戦戦闘経過概要	多賀正文	S 1 2	支那第十軍方先覚少将の関係記録に従軍し た支那軍将校が記述したもの	支那支那 事変上海 南京418
11	歩兵第七聯隊歩兵砲中隊戦闘 詳報	第一小隊長 平岸博	S 1 2	S12. 10. 2～12. 13上海～南京までの戦闘詳報	支那支那 事変上海 南京419
12	歩兵第四十四聯隊日支事変戦 闘詳報	歩兵第四十四 聯隊	S 1 2	上海上陸作戦～南翔攻略までの主要戦闘記 録	支那支那 事変上海 南京420
13	歩兵第五十一聯隊第八中隊戦 闘詳報	5 1 歩 8 中隊	S 1 3	S13. 8. 25～14. 9. 27までの南京地区の警備、 治安行動の史料	支那支那 事変上海 南京421
14	合点できない南京大虐殺	歩兵第十九聯 隊 浜崎富蔵	H 7	南京戦に従軍した著者の「大虐殺」に対す る戦闘参加者としての反論	支那支那 事変上海 南京424
15	中支那兵要獣医衛生誌	参謀本部	S 1 6	支那馬の飼養、管理、支那陸軍獣医関係法 規の軍事秘密資料	支那兵要 地誌157
16	第十三軍司令部にて使用の地 図（複製）	第十三軍司令 部	S 1 0	河北省・山西省地図	支那兵要 地誌162
17	晴気慶胤大佐写真資料	晴気慶胤	S 1 3	上海方面、治安工作、政権樹立工作に従事 した当時の写真集	支那写真 72
18	南支那方面作戦記録第一巻 「原稿」	史実調査部	S 2 7	翁英会戦、海南島攻略戦、南寧攻略戦の資 料	支那大東 亜戦南支 97

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は上海・満洲・支那事変関係の写真集を特集しました。ご活用下さい。

題名	作成者 (機関)	作成年	概要	登番	録号
1 日本陸戦隊上陸警備記念写真帳	玉川写真館	S 3	上海事変における陸戦隊の山東軍に対する武装解除、列強軍の警備行動等	⑧写真277	
2 満洲事変関係写真帖	栗田正忠	S 6	支那軍の兵器製造能力、使用した新兵器等紹介したアルバム	満洲写真39	
3 朝鮮軍出動記念写真帖	第20・39師団司令部	S 6	奉天・錦洲、山海関における張学良軍との戦闘及び凱旋記念写真	満洲写真44	
4 関東軍記念写真帖	陸軍恤兵部	S 6～7	第8・10・14師団の満洲事変における戦闘場面写真集	満洲写真43	
5 水戸衛戍部隊出動記念写真帳	在郷軍人水戸支部	S 6～7	上海事変、満洲事変に活躍した同部隊の出征記念アルバム	満洲写真54	
6 満洲事変関係写真帖	歩兵第三九連隊	S 9	事変で二年有余出動した同連隊の各地の警備並びに戦闘の状況	満洲写真55	
7 大満洲国建国記念写真帳	大満洲国写真刊行部	S 12	主要人物紹介、風土、経済発展の様子を特集したアルバム集	満洲写真51	
8 中支出征記念写真帳	柳川部隊本部	S 12	抗洲湾上陸から南京戦までの柳川兵団の戦闘及び記念写真集	支那写真110	
9 支那事変記念写真帳	海軍省	S 12	各地の空中偵察写真並びに援蒋ルートへの爆撃	⑧写真231	
10 鉄路は囁く	哈爾浜鉄路局	S 12	1936年浜洲線改良工事の情景、浜洲沿線の露人、満人の生活写真	満洲写真52	
11 支那事変記念写真帳	海軍省	S 12～14	海軍航空機の渡洋爆撃、陸戦隊の戦闘シーンのアルバム集	⑧写真231	
12 関東軍及満洲国首脳アルバム帳		S 14	皇帝溥儀と関東軍将校の記念写真、ノモンハン事件において殉職した作戦主任島貫大佐の記念碑	満洲写真53	
13 中原会戦記念写真帳	第21師団田中部隊	S 16	山西省泌陽から新城山・横河材へ至るまでの戦闘及び戦闘間の将兵の休息の様子	支那写真108	

第 1 2 回 「史料公開ニュース」

戦史部

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は大東亜戦争南方軍関係を集めました。

題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登 録 番 号
1 仏国軍政及印度支那の防備	参謀本部	S 7	仏軍中央統轄機関、陸空軍概説、仏植民地としての印度支那の価値	南西泰 仏印110
2 英領馬來情報記録	参謀本部	S 1 6	昭和 1 6 年までに収集整理した英領マレーの兵要地誌情報	南西全 般172
3 第二十三野戦貨物廠の南方 作戦参加資料	第二十三野 戦貨物廠他	S 1 6	シンガポール貨物廠の配置並びに前進命令、 野戦補給諸廠の配置・勤務要領等	南西マ レー ジャワ 481
4 馬來作戦戦闘詳報 第一号	歩兵第十一 連隊	S 16~17	同連隊のマレー半島上陸からシンガポール攻 略までの戦闘詳報 全 8 巻	南西マ レー ジャワ 472
5 食用野生動植物・馬來野生 食用植物図説	馬來軍政部	S 1 9	シンガポール植物園に保管されていた食用植 物図鑑（戦後複製入手）	南西軍 政167
6 最後の南方軍命令	南方軍司令 部	S 2 1	南方軍副官部小島准尉が復員の際、持ち帰っ た資料を複製、南方軍復員に関する命令等	南西全 般171
7 ラバウルにおける食糧の現 地自活はいかに行われたか	森田親三主 計中将	S 3 9	現地住民の生活状態、自活準備命令から自活 態勢確立までの過程	南東ソ ロモ ン・ピ スマル ク30
8 インドネシアへの日本軍の置 土産	桜井純一	S 4 5	ジャバ島内で日本軍が運営した食品工場の設 置並びに生産状況	南西全 般173
9 昭十六・七・十七～十七・二・ 十五戦闘記録	近衛野砲兵 聯隊第二大 隊	S 4 6	仏印進駐からシンガポール陥落までの同部隊 の行動日誌	南西全 般176
10 馬來軍政ノ概要(素案)	史実部	不明	軍政の特性、三大目的、財政・経済状況等	南西軍 政166
11 「ビルマ」ノ独立及独立後ノ状 況	史実部	不明	独立準備に関する予備交渉、独立後の施政、 「シャン」「カレニン」州の併合	南西全 般174
12 憲兵情報（ジャワ）	ジャワ・サ ラク憲兵隊	不明	サラク山の豪州兵に関する情報、同憲兵隊の 概括的な行動	南西マ レー ジャワ 220
13 謄写版用原紙ノ簡易自製竝 ニ再製ニ就イテ	第二十五野 戦貨物廠	不明	南方作戦における物資（紙）不足に対して試 製された和紙の生産要領 他	南西マ レー ジャワ 482

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月はを大東亜戦争ニューギニア・ソロモン方面を特集しました。

題名	作成者 (機関)	作成年	概要	登録番号
1 東部パプア島関係地図	参謀本部	S 1 7	ホルランジャ地区偵察要図、ボキア地区兵要地誌 他	南東東 ニューギニア349
2 ガダルカナル関係地図	独立山砲 梶松次郎	S 1 7	ニューギニア東部及び派遣部隊行動要図及び2師団攻撃時ガ島要図等	南東ソロモン・ビスマルク237
3 第五十一師団戦闘詳報	51師団	S 17～18	「ラエ」「サラモア」付近に於ける同師団の戦闘詳報	南東東 ニューギニア348
4 ラバウル空襲の写真	今泉参謀	S 1 8	S 1 8. 1 1. 2に行われたラバウル港に対する米軍の空襲状況を撮影した写真	南東ソロモン・ビスマルク236
5 東ニューギニア軍票・副酋長腕章 他		S 18～20	当時の日本軍が現地住民に付与した腕章・軍票（現地住民が30年以上保存していたもの）	南東東 ニューギニア351
6 昭和十九年三月起 陣中日誌	朝憲兵隊	S 1 9	ボキアに於ける部落土民に対する宣伝、サワット部落酋長歓迎等を記録した陣中日誌	南東ニューギニア148
7 ソロモン方面に於ける海軍飛行機の損耗数調書	第二復員局	S 2 5	S 1 7. 8米軍侵攻以後同年12. 31までソロモン方面作戦で消耗した海軍機の統計	③南 東 139
8 ソロモン方面2D・35iB等戦闘（行動）経過要因	編纂官資料	S 3 4	ルンガ飛行場南方地区第2師団主力戦闘要図	南東ソロモン・ビスマルク29
9 ラバウルにおける食糧の現地自活はいかに行われたか	森田親三 主計中将	S 3 9	10万将兵の現地自活がどんな過程を経てどういう態勢で確立されたかという戦史講話	南東ソロモン・ビスマルク30 31
10 ガダルカナル島戦における若き中隊長の戦闘体験	勝股治郎	S 4 4	終始密林と飢餓に苦しみながらも第一線中隊長として圧倒的な米軍と困難な戦闘を遂行した記録	南東ソロモン・ビスマルク67
11 「ラバウル民政」の回顧	ラバウル民政クラブ	H 2	ニューブリテン島民政部設置から住民の労務協力及び生活保護の状況を回顧	民政70
12 ガダルカナル関係史料	特潜会	H 9	ルンガ沖での甲標的11号艇と米駆逐艦との死闘	④特攻48

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月はS 14～17年の軍需省関係史料を特集しました。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	昭和十四度 工業組合中央会決算書	商工省機械局	S 14	昭和14年度政府指定事業収支決算 他	文庫商工 省軍需省 機械局1
2	昭和十四・九・二五～十 二・十八 発来簡綴	商工省機械局	S 15	日産・トヨタ自動車製造事業用物品供用届及び代用品製造試験費補助金交付等	文庫商工 省軍需省 機械局2
3	昭和十五・一・九～九・十 九 発来簡綴	商工省機械局	S 15	保土谷曹達株式会社代用品製造試験費補助金交付 他	文庫商工 省軍需省 機械局3
4	昭和十五・二・十二～十 九・一・三十一 発来簡綴	商工省機械局	S 15～19	東京ガス機械器具工業組合共同施設廃止許可申請 他	文庫商工 省軍需省 機械局4
5	昭和十五・十・二～十二・ 二七 発来簡綴	商工省機械局	S 15	昭和15年日産・トヨタ自動車製造事業用物品供用届	文庫商工 省軍需省 機械局5
6	昭和十六・二・四～十六・ 八・二七 発来簡綴	商工省機械局	S 16	昭和14年度自動車製造事業用物品輸入認可 他	文庫商工 省軍需省 機械局6
7	重要機械製造事業査定申告 書	三菱電機	S 17	切削研磨用金属工作機械等の形式・能力査定申告書	文庫商工 省軍需省 機械局7
8	昭和十七・四・二〇～十 七・九・一七 発来簡綴	商工省機械局	S 17	三井工作機株式会社損益金処分認可 他	文庫商工 省軍需省 機械局8
9	改訂 熊本工場計画表	三菱重工	S 17	三菱重工熊本工場建設計画書	文庫商工 省軍需省 機械局9
10	重要機械製造事業許可申請 綴	商工省機械局	S 17	東京芝浦電気株式会社定款 他	文庫商工 省軍需省 機械局10
11	重要機械製造事業査定申告 書	商工省機械局	S 17	沖電気重要機械製造事業査定申告書	文庫商工 省軍需省 機械局11
12	昭和十七・十一・二七～十 二・二十二 発来簡綴	商工省機械局	S 17	大阪府企業許可令 他	文庫商工 省軍需省 機械局12
13	重要機械製造事業許可申請 書	商工省機械局	S 17	日立製作所鉄道車両製造事業許可 他	文庫商工 省軍需省 機械局13
14	重要機械製造事業許可申請 書	商工省機械局	S 17	川崎車両鉄道製造事業許可申請 他	文庫商工 省軍需省 機械局14
15	昭和十七・十二・二四 発来簡綴	商工省機械局	S 17	大同信号株式会社第一工場設備内訳 他	文庫商工 省軍需省 機械局15
16	昭和十七・十二・二八 発来簡綴	商工省機械局	S 17	東京無線電機重要機械製造事業査定申告書	文庫商工 省軍需省 機械局16

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月はアリューション・千島の戦闘を特集しました。

題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1 第 9 1 師団部隊資料	留守業務部	S 2 3	第 9 1 師団防空隊編制表及び同師団司令 部指揮官名簿 他	北東千島 101
2 野戦機関砲第 6 7 中隊究明 合同成果報告書	山口世話課	S 2 3	編制表、部隊行動概要、現地召集解除者 人名表 他	北東千島 102
3 部隊概況報告	第五方面軍	不 明	第 8 8 ・ 8 9 ・ 9 1 師団部隊編制概要、 武装解除に於ける部隊行動の概要	北東千島 103
4 アッツ島派遣団報告書	東部復員連絡 局	不 明	アッツ島作戦地要図、戦後作られた慰霊 碑とその付近からの展望図	北東アュー シャン43
5 アッツ島戦闘関係等級	第一復員局	S 2 8	アッツ島守備隊の戦闘状況及び戦後の遺 骨調査状況 他	北東アュー シャン45
6 アッツ島戦死者の遺骨 (体) 調査に関する資料	引揚援護庁	S 2 8	S 18. 5. 12～5. 30迄の戦闘状況、山崎部隊 に対する感状の内容 他	北東アュー シャン46
7 アリューション作戦の問題 点	北方軍司令官 樋口季一郎	S 3 1	ミッドウエー戦の敗北からアリューション 作戦が紆余曲折した経緯の回想	文庫依託5
8 アッツ島の戦闘	船舶工兵 6 連 隊 池田春男	S 3 1	馬の背、北海岬での米軍との攻防、日本 側が給養面でいかに苦勞したか等	文庫依託7
9 アリューション作戦記録に 対する補備	北海守備隊司 令官 峰木十一郎	S 3 1	アッツ島玉砕後の「ケ」号作戦に関する 海軍側との調整 他	文庫依託62
10 千島地上作戦聴取資料 1 ～ 1 0 巻	山崎祐至編纂	S 4 0	方面軍司令官以下の指揮官・幕僚を主体 にした作戦間のメモ類を中心に記録した 回想	北東千島51
11 北方軍・第 5 方面軍関係聴 取録	川田久四郎編 纂	S 4 3	第 5 方面軍参謀新井健中佐、渡辺行夫大 佐、大本営参謀原四郎中佐等による千島 防衛作戦の回想	北東千島11
12 第九十一師団関係関係聴取 録	川田久四郎編 纂	S 4 6	北千島における 9 1 師団その他第一線部 隊の作戦準備に関する状況調査を集録	北東千島12
13 キスカ慰霊行	海兵 6 8 期 八巻悌次	H 1 0	H 5 年キスカ島で行われた元日米兵士の 合同慰霊祭の模様。輸送船「ウラジオ 丸」の残骸写真 他	④特攻60

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は特号として真珠湾攻撃時、空母赤城艦長であった長谷川喜一大佐の日誌特集です。

最近、ロバート・スティネット著『真珠湾の真実 ルーズベルト欺瞞の日々』が出版されて以来、日本海軍の機動部隊が電波封止を破ったのではないかと云うことが、誌上を賑わしています。その中で空母「赤城」艦長であった長谷川喜一大佐の日誌が証拠に挙げられています。（12月6日の項）

今回、御遺族から公開の承諾を得ましたので、単冠湾出港（1941年11月26日）から開戦前日（12月7日）までの全文を掲載しました。なお、日誌全文は修復が済み次第、近く公開する予定です。また、同時にスティネット氏から寄贈された米海軍通信傍聴解読史料も併せて公開します。なお、史料の引用に際しては当史料閲覧室の利用規則に従って下さい。

「長谷川喜一日誌」

十一月二十六日 水曜日 曇時々吹雪

○七〇〇出港予定の処、右舷試運転の際防舷物及舳索のwire及ホーサー二本を巻き外れず。遂に潜水者を入れて外す為に一時間出港遅る。

長官より又大目玉を喰ふ、誠に尤の事にて申訳なし。昨夜出港用意をやると云ふから防舷物などは揚収してしまつてあると思へは此の始末にて、佐伯の出港、佐世保の出港、此の頃出港と云ふとだらしく困つたものなり。副長か少しも作業の監督をせず当直将校任せ、其の当直将校か副直将校任せ、皆下任せにて一寸も自分で見廻らざる故此の有様なり。こんなぐずな副長では百年目なり。

随？積極的にやる様に注意するも積極性なし、ぼうっとして居て更にたよりなし。されと顧れば、これ至誠天に通せざるは艦長の徳足らざるなり。副長の不足をかこつ前に先づ自らを責めよ。

一時間遅れにて出港し兎も角も征途に上り得ほつとす。榴弾射撃を行ひ墮氣を去る。

海上濤あるも平穩航海としては上の部なり、時々濤と同調し異常の振動あり。

八日の月淡く吹雪時々数分視界を不良ならしむるも間もなく晴れ心配なし。

十一月二十七日 木曜日 快晴

○五五九日出なるも四時半には既に薄明るし。

昨夜来扁桃腺はれ痛し、マニデルを塗る。

軍医長自ら治療に来り。平素の呑気者に似ぬまめなのに驚く。三時五分日没、終日濤あるも好天気なり、月清し。夜長の航海は警戒上好適なり。

十一月二十八日 金曜日 曇

昨日迄は北一北西の風にて左舷より吹きしか補給日の今日は有難や左舷に変わり濤も少く合計風速最大十七、八米、平均十四、五米にて好適なり。

○四三〇より列外に出て準備せしか健洋丸一向に近つかす補給を始めしは○八二〇なり。二時間も空費せるにはあきれる。補給は平均七〇一八〇屯にて一時間半にて四三五屯を取る。

ホーズを健洋丸へまな取込方をするのでローラーから外し、これ又三〇分程空費す。本日の健洋丸の出来ばへ悪し。

扁桃腺は相変らず痛し、湿布をする。

征途に上りて以来夢に家郷を見る。父に逢ひ母に逢ひ祖母に逢ふ。此の身を加護して下さるものと思ひ有難し。必勝を確信して聖なる御戦に奉す父祖の靈感ある又むべなり。

本日〇五三五日出、一四四三日没なり、見当外れの時間にてぴったりせず。

十一月二十九日 土曜日 曇濃霧

〇五一五日出、作業なければ落ちついて休養す。扁桃腺尚痛去らず、銀水にて焼く。

「わか旅の記」漸く読破、徒に傷心をてらひ明朗闊達の気宇なく物足りず。

昨日来南東の風にて煙入り不愉快限りなし。一四〇〇より霧かゝり霧中航行にて徹夜す。

長官かとても隊列の乱れるを心配し傍て見る眼も気の毒なり。主将は細心の注意を拂はふても然るへきも過度の心配を現はさざること肝要なれ。

隊列か乱れる、迷子か出来る、遅れる、霧ははれぬか、灯火を出せ、消せ、一人て艦橋を賑はし、参謀長黙し参謀黙し艦長黙す。口数多く一喜一憂口走るは主将の慎むべき事なり。学はさる可らず。

十一月三十日 日曜日 霧後曇

〇四五一日出、霧尚はれず。〇七三〇頃より断続はれ間を見る。〇八〇〇より十二節、〇九三〇より十四節となし霧漸く薄らく、視界奇 [マ] 動部隊に好適なり。

水戦は補給を始めしも長官か視界を心配して一時見合せしも十四節として再興す。

昨夜徹夜せしを以て今日は心配なきを以て休憩室にて休養す。扁桃腺次第によし。

一三五八日没、入浴日なるを以て体をふく、気持ちよし。

十二月一日 月曜日 曇

〇四二五日出、南風依然たり、視界は良好ならさるも艦隊通視に差支なし。

〇七三〇より赤城神社例祭を施行す。

一二〇〇金櫃検査を行ふ。束のものは其尽にて端のみ数をこく明に数へるはおかし。

本日は長官も落つきて顔色漸く平常なり。艦橋静なり。一三三五日没なり。

十二月二日 火曜日 曇

〇三三〇より隊列の右一〇〇〇米に出て〇四〇〇より補給作業を開始す、速力九節。

始め極めて順調に行きしか濤の為め張来りしと健洋丸錨鎖延し過ぎし為め過張を来し后部揚錨機脱縁し故障にて二進も三進も行かすたゝいて直す積りてたゝいて居るか到底速急には直らぬと見たので人力てやらせる。これか転換に約一時間を要し折角〇四〇〇より始め給油開始は〇六五五となる。爾後一時間平均一〇〇屯宛受け入れ一三一五、六〇七屯にて補給を終る。

一四〇〇より原速となし又昨夜と全橋、補助機械排気の給水加熱器に到る弁切折 [マ] せる為め左舷外軸を止め故障復旧にかゝる。

昨夜は左舷内軸なりしか全一故障か右舷内軸にもあり右舷も修理したきも舵取機を転換の要あるを以て明朝左舷機は実施の事にす。

舵取機の転換は報告せず、急に取りかへるとの申出に驚き中止せしむ。
自分の処掌以外に対しては不関主義は機関科の通弊なり、戒めさるへからず。
○四〇二日出、一三一五日没なり。
体を拭き気持ちよくなる。

十二月三日 水曜日 曇雨
終日雨降ったり止んだり其の都度視界大小となり長官を一喜一憂せしむ。
灯を出せ、消せ、見えるか、一人てお賑な事なり。主将たるものは軽々しく一喜一憂すへきものにあらす。学ふへき処大なり。
一二〇〇加賀溺者あり、舷外作業中海中に落ちしものにて此の荒天にては如何とも致し難く一時隊列より離れしも遺憾乍ら帰れの信号にて引返す。
本艦もドラム缶作業にて前後甲板に出るを以て充分副長をして警戒せしむ。
X日十二月八日と決定せらる。乾坤一擲の国難に赴く可き日は定まれり。盡忠、職を奉し天職を盡し得る幸、何物かこれに若かむ哉。
生を皇国に亨けて剣を磨く三十年、今日に備へむ為のみ、一層奮励努力皇国に奉せむ。
○三三五日出、一二四五日没なり。

十二月四日 木曜日 雨曇
終日昨日と全し針路一〇〇より一四五度に変針、C点に向ふ。視風向一寸変化しやれやれと思ひしも束の間、又又右六〇一九〇度にて煙侵入呼吸苦し。風速三五米を越しか二時頃より一五米以下となる。
○三一二日出、一二三七日没なり。
入浴日なれば体を拭き気持ちよし。

十二月五日 金曜日 曇細雨
風おさまり一時太陽を望みしか暫くにしてかくれ時々細雨来り視界良好ならず。さりとて僚艦の視認困難ならず。第八戦隊、第一水雷戦隊は補給を行ひ日中半速夜間微速にて航行す。戦闘機待機引く件につき参謀に話したらは引いてよいと云ったから引くと板谷隊長か云ふので艦長は聞いておらぬと一寸筋違ひを正す。
隊長か理屈を云ひかけ此の天候ては待機して居て出せぬと云ふから待機引けの命令に接し居らず、吾々は命令通り実施するのみと云ったので流石に感しの早い隊長、間違いました、参謀か引いてよいと云ふから引いて差支なきやと云ひ直したので、「よし引け」と命令す。司令部直卒か度を過ぎ時々此の過をおかすは遺憾なり。源田参謀も飛行隊の悪い欠点を多分に持っておるは、好漢惜しむへし。
本日は如何せしや長官落ちつき一向に視界を心配せず。前日の様子に引きかへ薄気味悪し。首将は最初よりかくあるへきものなり。学ぶべき処大なり。
○二五七日出、一二三一日没。本日より昼間第二配備にて警戒す。天候吾に幸し警戒上此の上なし。

「海ほしづき」を読了す。なかなかよく書いておるかどうもぎこちなく世の家庭教育にあまりに癖見を持って独善的なるを惜しむ。
殊に「インテリ」及資産家に対して著しきひがみ根性あり、敵意を有せるは教育家とし又行文公正を説ける女史として承引し難し。

十二月六日 土曜日 曇驟雨

日出前後は晴れそうなりしも其の後風向南西にvariし為晴れやらず遂に終日曇、日没後は驟雨さえ加はれり。

敵機飛行偵察には不適の天候なれば敵潜のみに対し警戒すれば足り、恵まれたる航海なり。明日一日此の調子を祈る、切なり。

一七〇〇作戦緊急信にて通信部隊発信ハワイの北方八〇〇哩に敵潜一隻、他の一隻と通信しつつあり。吾連合方位測定中との情報あり。吾等の航行付近なれば一寸緊張させられる。

〇二三四日出、一二二五日没なり。

本日も入浴日とて体を拭く、気温高まり稍暑し、冬着を変更の要あり。

十二月七日 日曜日 晴曇

合戦準備を完成し〇七〇〇より二十節にて南下す。単冠湾出港以来、空晴れ南国の空を望む。

日中敵機に発見せられすは幸なりと、むしろ空の曇を希む。

九時を過ぎ先つ八〇%は望を達せりと一同喜ふ。雲少し出つ。

一二四二日没後驟雨あり、二一〇に変針せし処、動揺十五、六度に及ふ。

一九三〇再一八〇度に変針し平静に復す。本日一日戦闘配食にて戦技の際に比しまるて献立不良につき注意し夕食は改善せられたり。

時間あるに拘らず粗食を以て戦闘配食と心得る主計長の気知れす。

夜食は平静あるに戦闘前夜なきはおかし。

明日の戦闘に備へ衣換へす。

坊やは如何なる夢や結ふらむ。健在てあれ、お前か丈夫て何の心配もなく留守してくれるので心安らかに、祖国の難に赴き得る幸を欣ふ。

必勝を確信して敵陣へと進撃す。速力二十節。

本日日出〇二一四なり。

敵空母及重巡出港、真珠港は戦艦八隻のみの情報に一同長蛇を逸せる感深し。空母よ入港してあれ！

夜十一時半敵航空機発見の警報に配置につく。加賀の揚げし測風気球を見誤りたるものらし。風声鶴レイの類、疑心暗鬼を生ず。

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月も前回に引き続きハワイ作戦の特集です。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	ハワイ方面偵察報告	前島寿英中佐 鈴木英少佐	S 1 6	S 16. 10商船大洋丸に乗船しハワイ方面を 偵察した情報を整理した資料	③ハワイ 2
2	海上気象記録	軍艦 赤城	S 1 6	S16. 12. 1～12. 15迄の同艦の位置、当時の 風向、波の状態、視界等の航海記録	③ハワイ 1 9
3	布哇作戦の前途に当たり飛行 機搭乗員に訓辞	南雲忠一中将	S 1 6	南雲中将のヒトカップ湾における機動部 隊訓辞第 2 号	③ハワイ 4
4	ハワイ特別攻撃隊員所持の海 図	特潜乗員	S 1 6	ワイナマロに座礁した特潜乗員の所持し ていた海図の複製	③ハワイ 7
5	第 5 航空戦隊戦闘詳報（ハワ イ、ラホール）	第 5 航空戦隊 司令部	S 1 6	計画、経過、戦訓、命令・達報報告 他	③ハワイ 1 0
6	ハワイ空襲	不明	S 1 6	水中爆撃隊の艦艇に対する弾着写真	③ハワイ 1 2
7	機動部隊戦闘詳報図（布哇海 戦）	1 航空艦隊司 令部	S 1 7	爆撃隊及び雷撃隊に依る戦果表並びにそ の明細表	③ハワイ 8
8	ハワイ海戦座談会	不明	S 1 7	作戦に参加した将校による真珠湾攻撃一 周年の座談会	③ハワイ 1 4
9	「K」作戦の全貌 二式大艇 真珠湾を襲う	元飛行隊長 日辻常雄	不明	第 2 次ハワイ攻撃の作戦計画、決行、 ミッドウエー・ジョンストン島の強行偵 察	③ハワイ 1 5
10	真珠湾作戦に関する計画・命 令の要旨	第 2 復員局	S 2 0	S20米軍マンソン大佐の富岡軍令部作戦部 長・黒島連合艦隊主席参謀（当時）に対 する聴取記録	③ハワイ 2 6
11	布哇空襲部隊戦没者関係	第 2 復員局	S 2 6	戦死者、行方不明者一覧表、写真・書簡 類	③ハワイ 1 6
12	真珠湾奇襲	角田順	S 2 9	政戦略両面からハワイ作戦を考察	③ハワイ 2 7
13	真珠湾口遠望写真集	植田一雄	S 3 3	特潜攻撃資料として戦後、特潜発進地点 からパールハーバー附近を撮影した写真	③ハワイ 1
14	ハワイ奇襲攻撃についての思 い出	元 1 F A 参謀 吉岡忠一	H 5	第 1 航空艦隊参謀（乙）として参加した 筆者の戦後回想	③ハワイ 3 2
15	真珠湾攻撃参加機中の未帰還 機の状況調査資料	松村平太元少 佐	H 6	ハワイ作戦のシンポジウムにおいて米側 研究者から提供された資料	③ハワイ 3 3

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は太平洋方面島嶼作戦を特集しました。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	硫黄島厚生省遺骨収集関連資料（壕図）	厚生省	S 5 5	地区別地下壕調査図、戦没者一覧表 他	中太小笠原 105
2	福田昭の硫黄島現地踏査史料等	福田昭	H 2	機密第204設営隊命令1号、機密硫 警命第2号 他	中太小笠原 106
3	別冊 硫黄島に現存する砲台、トーチカ等の写真集	福田昭	H 6	地熱原から南海岸・摺鉢山遠景、洞窟 内・地下掩体写真	中太小笠原 106-2
4	沖縄作戦	八原博通	S 3 4	元32軍高級参謀であった著者が終戦 後、関係者の証言を参考に記述	沖台沖縄59
5	海上挺身第30戦隊の回想	富田稔	S 4 3	戦隊長であった著者の戦史刊行本に対 する補足記述	沖台沖縄 215
6	沖縄作戦における海上挺身 隊基地第2大隊の行動	儀同保	S 4 2	阿嘉島・慶良間における同部隊の配備 態勢及び戦闘経過	沖台沖縄 219
7	原寿満夫日誌 巻1	原寿満夫	S 2 0	南大東島歩兵第36連隊1大隊長の沖 縄作戦日誌	沖台沖縄 245
8	沖縄戦における島民の行動	馬淵新治	S 3 5	沖縄近代史、沖縄戦における住民感情	沖台沖縄 303
9	伊江島守備隊	児玉俊介	S 5 9	大隊長井川少佐以下守備隊の奮闘	沖台沖縄 401
10	ロタ島兵要地誌資料図	参謀本部	S19	防御見積のため参謀本部が作成した実 物地図（2.5万の1）	中太マリア ナ173
11	グアム生存者口述記述資料	聴取録	S 3 2	口述者：29師団参謀武田英之・佐藤 清入、18連隊3大隊山下唐祐	中太マリア ナ137
12	中部太平洋方面メレヨン回 想資料	戦史編纂官資料	S 4 2	生還陸海軍将校及び軍属による回想資 料	中太西カロ リン128
13	小スンダ海軍民政概況	室川重雄	H 8	インドネシア小スンダ方面の民生部組 織概要、橋・道路等の整備状況	民政69
14	タラワ日本軍関係写真	元海兵隊 スタンレー	S 1 8	日本軍砲台跡、野戦病院、その他将兵 の写真	⑧写真250
15	東カロリン諸島関係供述資 料	戦史編纂官資料	S 3 8	供述者：南洋第2支隊長原田中将、同 隊付永田大佐、大本営築城本部三浦中 佐 他	中太東カロ リンマー シャル35

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は海軍写真集を特集しました。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	旧独潜水艦回航記念写真帖	工作船関東編纂委員	T8	一次大戦で獲得した独潜水艦回航写真	⑧写真260
2	旅順閉塞戦記記念帖	兵学校	S2	戦闘参加指揮官、旅順港外泊地に沈没した閉塞船の位置 他	⑧写真227
3	海軍兵学校教育参考館写真帖	兵学校	S3	兵学校御殿御間、日露戦争記念品等	⑧写真226
4	練習艦隊巡航記念	練習艦隊	S4	司令官・幕僚写真、大連・ホノルル・ビクトリアにおける入港風景 他	⑧写真230
5	昭和5年特別大演習	海軍軍令部	S5	御親閲中の式場全景、天皇陛下演習御統裁 他	⑧写真224
6	昭和8年特別大演習	海軍軍令部	S8	同上昭和8年版	⑧写真225
7	東台湾展望	東台湾商工会	S8	当時の日系会社広告、在台湾日本人の写真等	⑧写真223
8	支那事变写真帖	海軍省	S12	市街戦、空襲写真、漢口・威海衛攻略 他	⑧写真231
9	軍艦加賀記念写真集	出版共同社	S13	上海・南京空襲、広東攻略、下士官集合写真 他	⑧写真248
10	第六十八期卒業記念帖	兵学校	S15	訓練、講義風景、日常生活、生徒館写真 他	⑧写真222
11	チモール島メナド作戦海軍降下部隊写真	本間海軍報道班員	S17	ランゴアン飛行場上空の第一次降下部隊、飛行場一帯の占領等	⑧写真258
12	タラワ日本軍関係写真	元海兵隊スタンレー	S20	日本軍砲台、野戦病院風景 他	⑧写真250
13	艦艇写真収録帳	海幕永石事務官	S32 寄贈	軍艦金剛、日向、伊勢その他駆逐艦写真集 他	⑧写真219
14	大東亜戦争に参加した日本商船隊 1～4巻	上田毅八郎 (元陸軍船舶砲兵1連隊)	H9	戦時徴用船イラスト集	⑧写真243～246

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月も先月に引き続き海軍写真集を特集しました。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	明治四十四年 遣英艦隊記念	畫報社支店	M44	乗員名簿、当時のロンドン風景、ポーツマスにおける園遊会参加下士卒写真	⑧写真269
2	海軍大演習写真帖	小川一眞出版部	T元	統裁部要員集合写真、陣形運動、炭水補充訓練 他	⑧写真271
3	翔鶴	商船学校	T2	明治45年練習船大成丸第8次遠洋航海写真帖	⑧写真270
4	通信教育海軍写真帖	皆兵館	T2	大日本帝国勲章及び記念章イラスト、各種学校における訓練風景等	⑧写真254
5	軍艦「満洲」行動記念	佐原理市中佐	T15	南洋航海におけるパラオ、トラック、サイパン島の情景、島民の生活写真等	⑧写真256
6	日本陸戦隊上陸警備記念写真帖	玉川写真館	S3	上海市街と山東軍に攻撃された市街の状況、列強軍の租界地警備 他	⑧写真277
7	大礼特別観艦式 大礼中の帝国海軍	海軍省	S3	式場図、船上における賜餐、観艦式参加艦艇一覧	⑧写真278
8	互和の光 (58期卒業記念帖)	兵学校	S5	兵学校全景、営内生活、運動風景 他	⑧写真228
9	我が海の生命線 南洋写真帳	南洋舎	S8	サイパン、テニアン、ロタ島の邦人の生活、サイパン神社、邦人商店街等	⑧写真263
10	輝く海軍写真帖	国防知識普及会	S9	艦砲訓練風景、艦載機爆撃訓練、官職服製一覧	⑧写真283
11	軍艦「淀」記念写真帖	海軍大尉 本山重雄	S11	淀行動図、防空演習、青島入港 他	⑧写真285
12	軍艦「陸奥」記念写真帳	双文館	S13	艦内諸作業及び訓練風景、台湾神社参拝	⑧写真266
13	ハワイ在住日本人 五十年記念写真帖	河村重博	S14	各地の50年祭行事、記念写真、入植時の耕地労働風景 他	⑧写真264
14	大日本帝国軍艦帖	海軍文庫	S17	帝国海軍軍艦形体とその発展を通観できるイラスト編集	⑧写真267

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は戦史編纂官等が作成した史料を特集しました。

題名	作成者	作成年	概要	要	登録番号
1 陸軍関係					
(1) 武器の変遷	幹部学校 武田一佐	S44	戦術の変遷を研究するため近代から現代までの武器の変遷を研究した資料		中央 全般 その他 9～13
(2) 第一次大戦作戦戦闘様相	幹部学校 武田一佐	S45	第一次大戦における主要会戦の戦闘概要を研究した資料		中央 全般 その他 14～15
(3) 察哈爾作戦関係資料	森松編纂官	S54	関東軍及び北支那方面軍が実施した同作戦調査のための聴取資料		支那 支那 事変 北支 691
(4) 独立歩兵第11連隊関係収集資料	森松編纂官	S54	北支における作戦行動、状況等		支那 支那 事変 北支 703
(5) 独立歩兵第12連隊関係収集資料	森松編纂官	S54	聯隊配備要図、渤海湾から北京、厚和に至るまでの作戦、行動要図 他		支那 支那 事変 北支 704
(6) 北支那特別警備隊関係資料	森松編纂官	S54	支那駐屯憲兵隊編制概要、S15～16年までの同部隊の統合整理状況		支那 支那 事変 北支 716
(7) 北支関係経歴等に関する資料調査票綴	安部編纂官	S40	主要関係者に対し担任業務、参加作戦、治安施策、所見等求めた資料		支那 支那 事変 北支 735
2 海軍関係					
(1) 海軍人事行政制度の運用に関する考察	末国編纂官	S57	将校官階制度と軍令承行令、将校と予備将校等の複雑な相関関係の研究資料		①中央 全般 111
(2) 日本の陸軍、海軍の体質とその人事教育	末国編纂官	S57	陸海軍の教育機関の指揮隷属関係、学校教育と士官任用までの過程の研究資料		①中央 全般 112
(3) 太平洋戦争における海軍作戦	富士学校長 杉田一次	S31	海軍作戦の概要を容易に把握することを主眼に作成した資料		③大東亜戦争 全般 6
(4) 菊池二海佐収集資料	菊池 二海佐	S36	著者が米国滞在中収集した米海軍の戦術・戦略の歴史を紹介した資料（全英文）		③大東亜戦争 全般 45
(5) 聴取記録資料	永石編纂官	S35	昭和12年度、水上機母艦「神威」の行動他		③大東亜戦争 全般 64
(6) 永石調査員聴取資料	永石編纂官	S34	南支作戦の状況、S14～16年にかけての水上機母艦「瑞穂」「千代田」の行動概要他		③大東亜戦争 全般 65
(7) 源田実氏に対する質疑応答	角田編纂官	S33	ハワイ作戦準備段階における航空機攻撃方法についての聴取資料		③大東亜戦争 ハワイ 29
(8) 吉岡第1航空艦隊航空参謀に対する質疑応答	渡部編纂官	S33	真珠湾攻撃における攻撃区分、奇襲後の敵の反撃についての状況判断等に関する聴取資料		③大東亜戦争 ハワイ 30
(9) 岡島清熊氏に対する質疑応答	渡部編纂官	S33	ヒトカップ湾出撃一ヶ月前の飛行訓練時間、ヒトカップ湾までの航行について		③大東亜戦争 ハワイ 31

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は第 1 回で紹介しました市ヶ谷台史料の続編を特集しました。

題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1 明治三十八年九月裁可綴	参謀本部	M 3 8	勤務令制定及び廃止の件 他	93
2 昭和八年三月裁可綴	参謀本部	S 8	関東憲兵隊編制表、満洲派遣部隊編制派遣及び編制改正要領	92
3 昭和十三年六月参謀本部文書綴	参謀本部	S 1 3	駐蒙兵团司令部編制要領細則規定の件	94
4 昭和十三年九月至十月参謀本部文書綴	参謀本部	S 1 3	昭和 1 4 年度陸軍動員計画令同細則起案件照会	95
5 昭和十四年十一月裁可綴	参謀本部	S 1 4	師団兵器勤務隊臨時編制要領、独立混成各旅団人馬概数	87
6 昭和十四年十一月ノモンハン事件後の第二十三師団等の編制改正	参謀本部	S 1 4	第 2 3 師団、第 2 7 師団の一部の編制改正要領制定相成度件	88
7 昭和十六年四月至六月上奏綴(其一)	参謀本部	S 1 6	支那方面軍の山西省南部の作戦に就いて	89
8 昭和十六年四月至六月上奏綴(其二)	参謀本部	S 1 6	北中支の戦況、独軍クレタ島攻略作戦に就いて	90
9 昭和十六年四月至六月上奏綴(其二)	参謀本部	S 1 6	独ソ開戦とこれに伴う措置	91
10 昭和十八年十一月至二十年発来电綴(其一)	参謀本部	S 1 8	第 5 航空軍司令部発令の件、野戦飛行場設定隊要員差出に関する件	96
11 昭和十八年十一月至二十年発来电綴(其二)	参謀本部	S 1 8	南方軍飛行場司令部復帰に関する件、航空路部隊編成の件	97
12 昭和二十年八月受電綴(其五)	参謀本部	S 2 0	日ソ開戦に関し 9 日夜までに判明せる反響 他	98
13 昭和二十年八月受電綴(其六)	参謀本部	S 2 0	B-29 来襲及び迎撃概況、樺太方面状況	99
14 昭和二十年八月受電綴(其七)	参謀本部	S 2 0	インドネシア独立の件、渾春・穆稜方面ソ軍状況	100
15 昭和二十年八月受電綴(其八)	参謀本部	S 2 0	満洲西部方面ソ軍状況、比島・沖縄航空機出撃状況	101

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は海軍施設本部作成史料を特集しました。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	大東亜戦争戦訓（築城施設）第1輯	海軍施設本部	S 1 9	航空基地、運輸港湾等の設営に於ける戦訓例	①戦訓85
2	栈橋工法	海軍施設本部	S 1 9	脚柱式栈橋、浮橋橋等取付作業の解説	⑥土木建築 467
3	飛行機用有蓋掩体鋼製型枠構築法（Z6二型）	海軍施設本部	S 1 9	零戦用掩蓋構築物一般図、断面図 他	⑥土木建築 468
4	設営隊（甲編制・乙編制）要表	海軍施設本部	S 2 0	設営隊編成定員内訳表、艦営需品定額表 他	①編成164
5	回天基地施設基準	海軍施設本部	S 2 0	基地施設配置要領図、応急格納庫作成図	⑥土木建築 469
6	偽装隠蔽法	海軍施設本部	S 2 0	偽装工法、航空基地の偽装要領 他	⑥土木建築 471
7	呂号Z葉格納施設基準	海軍施設本部	S 2 0	補給廳・事業現場に同爆薬を大量に格納する施設基準	⑥土木建築 472
8	桜花基地施設基準	海軍施設本部	S 2 0	作戦基地、練習基地の格納所諸元	⑥土木建築 473
9	W工法構築要領	海軍施設本部	S 2 0	アンチ型木板を重ね合わせ簡易施設として防備工場に適用させる設置要領解説	⑥土木建築 474
10	昭和二十年度海軍施設本部及関係各部業務推進方針	海軍施設本部	S 2 0	S 1 9 年施設部長会議において討議された戦局に対処すべき方策指示	⑥土木建築 476
11	道路工法	海軍施設本部	S 2 0	道路設計、勾配、表面土壌に関する施工法	⑥土木建築 479
12	仮製「デリック」「シャース」構成法他	海軍施設本部	S 2 0	航海学校船具取扱法教科書から抜粋した滑車の取扱に関する注意等	⑥土木建築 481
13	海龍基地施設基準	海軍施設本部	S 2 0	格納庫寸法、基地施設配置要領図 他	⑥土木建築 483
14	電流障碍物構築要領	海軍施設本部	S 2 0	対上陸部隊用電流障害物構築要領	⑥土木建築 485

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は特号として「森鷗外の直筆発見！」です。

森鷗外の直筆発見！

「雁」、「舞姫」、「キタ・セクスアリス」等の著者として有名な森鷗外の直筆文章が、当防衛研究所所蔵史料の中から発見されました。

「森鷗外」は、本名「森林太郎」といいます。

森林太郎は文学者であると同時に軍医でした。

森林太郎は、文久2年1月19日、現在の島根県津和野町町田に生まれました。明治5年上京、14年東京大学医学部卒業後、軍医の道を進みます。明治17年から21年までドイツへ留学し、その後、作家と軍医という二つの人生を生きていきます。

明治40年（1907年）45才で陸軍軍医としての最高位の陸軍軍医総監となりました。大正5年（1916年）54才で軍務を退き、大正11年（1922年）60才で没しました。

防衛研究所で発見された森林太郎の直筆史料は、簿冊「陸軍省大日記大正二年甲輯第一第二類永存書類」中の件名「軍隊手帳改正の件」という史料に添付されておりました。

この「軍隊手帳改正の件」は、大正天皇が大正元年7月31日に下賜された勅諭を軍隊手帳に記載するための文書です。

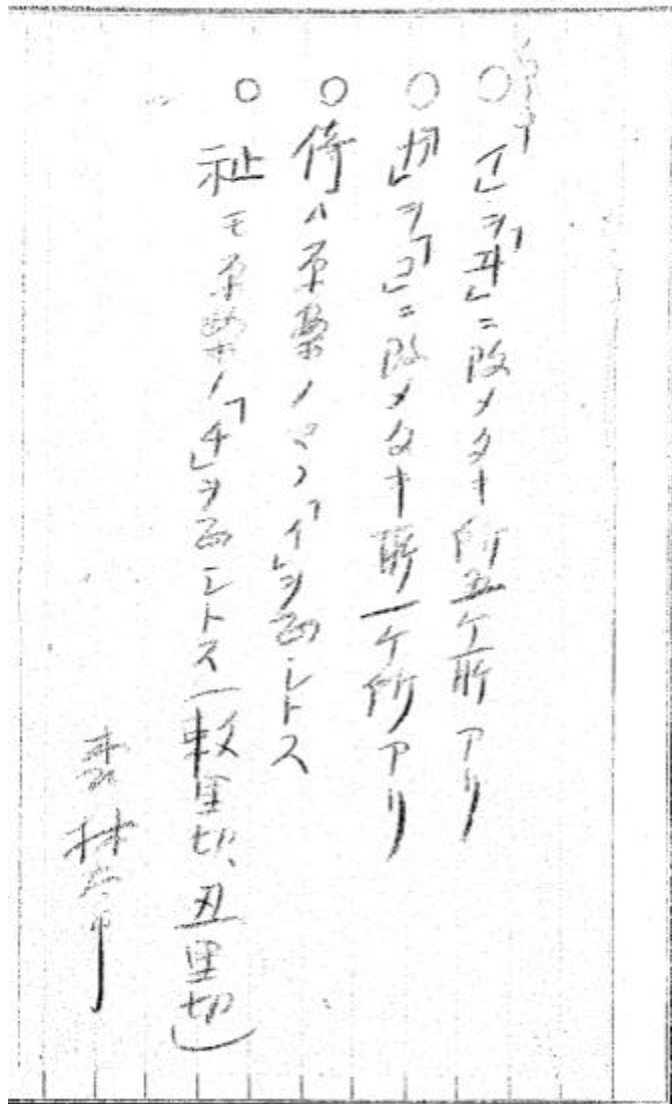
森林太郎の直筆の内容は、大正天皇の勅諭の振り仮名を添削したものです。

この直筆が、森林太郎のものと判断される根拠は、天皇の勅諭に間違いがあっ
てはならないため、文学博士であり、明治41年臨時仮名遣調査委員会における「仮名遣意見」にあるとおり、文才にたけた森林太郎の見識を活用する必要があったものと思われます。

その証拠として添付されている修正個所のまとめに、「森林太郎」という署名がはっきり見えます。

なお、同種の署名が、鷗外記念本郷図書館にある史料でも確認されます。
以下は、その添付されたまとめの文書とその訳文です。

添付されている修正個所のまとめの文書



- 「イ」ヲ「キ」ニ改メタキ所五ヶ所アリ
- 「カ」ヲ「コ」ニ改メタキ所一ヶ所アリ
- 倚ハ原案ノマヽ「イ」ヲ正シトス
- 社モ原案ノ「チ」ヲ正シトス（敕里切、刃里切）

森林太郎

今月は長く米フランコニア記録保管所に保管されていた史料であり、昭和33年に米国側から返還された軍需省機械局の史料を特集しました。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	昭和十四・十八年度 工業組合 中央会決算書	商工省機械局	S 1 8	昭和18年度政府補助金に依る事業経費収 支決算 他	商工省軍需省機 械局 1
2	昭和十四・九・二五～十二・十 八 発来簡綴	商工省機械局	S 1 4	自動車製造事業用供用届 他	商工省軍需省機 械局 2
3	昭和十五・一・九～九・十九 発来簡綴	商工省機械局	S 1 5	代用品製造試験費補助金交付 他	商工省軍需省機 械局 3
4	昭和十五・二・十二～十九・一 三十一 発来簡綴	商工省機械局	S 1 5	東京瓦斯機械器具工業組合共同施設廃止許 可申請 他	商工省軍需省機 械局 4
5	昭和十五・十・二～十二・二七 発来簡綴	商工省機械局	S 1 5	自動車製造事業用物品供用届 他	商工省軍需省機 械局 5
6	昭和十六・二・四～十六・八・ 二七 発来簡綴	商工省機械局	S 1 6	自動車製造事業用物品供用届 他	商工省軍需省機 械局 6
7	重要機械製造事業査定申告書	商工省機械局	S 1 7	一九電気計測器及び工業計測機器査定申告 書	商工省軍需省機 械局 7
8	昭和十七・四・二〇～十七・ 九・一七 発来簡綴	商工省機械局	S 1 7	三井工作機械株式会社第三期営業年度損益 金処分認可 他	商工省軍需省機 械局 8
9	改訂 熊本工場計画表	商工省機械局	S 1 7	官設航空機工場建設に基づく工場基本要綱	商工省軍需省機 械局 9
10	重要機械製造事業許可申請綴	商工省機械局	S 1 7	東京芝浦電気鶴見工場設備投資許可申請 他	商工省軍需省機 械局 10
11	重要機械製造事業査定申告書	商工省機械局	S 1 7	安立電気麻布工場による電気通信機器製造 許可申請 他	商工省軍需省機 械局 11
12	昭和十七・十一・二七～十二・ 二十二 発来簡綴	商工省機械局	S 1 7	企業許可令に依る事業開始許可申請 他	商工省軍需省機 械局 12
13	重要機械製造事業許可申請書	商工省機械局	S 1 7	日立製作所笠戸工場鉄道製造事業許可申請	商工省軍需省機 械局 13
14	重要機械製造事業許可申請書	商工省機械局	S 1 7	川崎車両株式会社鉄道又は軌道車両製造許 可申請 他	商工省軍需省機 械局 14
15	昭和十七・十二・二四 発来簡 綴	商工省機械局	S 1 7	大同信号大森工場査定申告書審査票 他	商工省軍需省機 械局 15

今月は前回に引き続き、昭和33年に米国から返還された軍需省の史料を特集しました。

題名	作成者 (機関)	作成年	概要	登録番号
1 総務局の機構及び施策	軍需省総務局	S 14	総務局の国家総動員計画設定及び遂行の件 他	文庫商工省軍需省総務局1
2 生産力拡充計画	軍需省総務局	S 14	生産額調書、陸軍適正利潤算定要領	文庫商工省軍需省総務局4
3 国土計画資料	軍需省総務局	S 14～17	工業の地方分散計画 他	文庫商工省軍需省総務局5
4 商工省機密取扱規程	軍需省総務局	S 15	文書の調製、形式、機密事項の範囲について	文庫商工省軍需省総務局6
5 重要物資生産力拡充計画	軍需省総務局	S 15	金属・パルプ等の内外地生産量等	文庫商工省軍需省総務局7
6 物資供給力需要額総括表	軍需省総務局	S 15	輸入資金総括表 他	文庫商工省軍需省総務局11
7 商工省経済会関係参考資料	軍需省総務局	S 15～17	経済会議所設立要綱案に関する件 他	文庫商工省軍需省総務局12
8 行政方針及問題となるべき事項等綴	軍需省総務局	S 15	金属類特別回収要綱 他	文庫商工省軍需省総務局13
9 第七十七帝国議会に於いて問題となるべき事項	軍需省総務局	S 15	産業団体再編成、金属特別回収に関する件	文庫商工省軍需省総務局14
10 第三回防諜委員会資料	軍需省総務局	S 15	地方防諜委員会設置状況、写真取締等	軍需省総務局 '16-2
11 一般民需輸入為替許可に関する綴	軍需省総務局	S 16	輸入為替許可区分表、特別輸入変更に関する件 他	文庫商工省軍需省総務局15
12 産業団体令案	軍需省総務局	S 16	産業団体再編成実施要綱試案	文庫商工省軍需省総務局18
13 生産拡充緊急対策資料	軍需省総務局	S 16	動員物資貯蔵機関設置、消費規正に関する件 他	文庫商工省軍需省総務局20
14 統制会二関スル書類	軍需省総務局	S 16～17	ゴム・化学工業・繊維統制会設立要綱	文庫商工省軍需省総務局26

今月は陸軍の演習訓練及び支那事変の史料を特集しました。

題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1 陸軍演習史料				
(1) 特別大演習関係資料	大演習統監部	M 4 0	特別大演習審判規定・作戦状況・演習規定等	中央軍隊演習記事 679
(2) 特別重砲兵演習記事 全	砲兵監部	T 1 1	三島・富士裾野において実施された軍直属砲兵の指揮運用訓練	中央軍隊演習記事 683
(3) 連合演習報告	陸軍自動車学校 他	S 2	騎兵連合自動車部隊の戦術的用法を調査研究した訓練資料	中央軍隊演習記事 681
(4) 幹部演習参考重要数量表	野重砲 1 旅司令部	不明	諸部隊編成概要・特種銃砲数量表他、当時の軍幹部必携訓練資料	中央軍隊演習記事 680
(5) 大隊副官必携	一五榴加農砲大隊	不明	陣中勤務要則、戦闘要法等の記載要領を示した訓練資料	中央軍隊教育史料 505
2 支那事変史料				
(1) 信陽城攻略作戦に於ける砲兵隊の戦闘	内山英太郎	S 1 3	漢口作戦開始に伴う砲兵旅団の大別山北麓における行動 他	支那支那事変武漢 490
(2) 石香寺附近ノ戦闘詳報	騎兵 4 R	S 1 6	湖南省長沙縣石香寺における敵捕捉撃滅戦	支那支那事変武漢 491
(3) 漁陽鎮附近ノ戦闘詳報	騎兵 5 R	S 1 6	戦闘前の彼我の状況、参加人馬編成表 他	支那支那事変武漢 492
(4) 支那派遣軍関係部隊兵種別索引簿	留守業務部	S 2 8	在支日本軍部隊名称を番号順に整理した資料	中央軍事行政編制 540
(5) 蔣主席対日言論摘要	国民党政府	不明	蒋介石軍が戦後降伏した支那派遣軍将校に配布した教育資料	支那大東亜戦争全般133

今月は明治から昭和期にかけての海軍例規集等の特集しました。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	海軍治罪法	太政大臣	M 17	軍法会議に関する規則集	0 その他49
2	明治一六・一七年指令 類編	海軍省総務 局	M 18	官制・儀制・兵事・文書等に関する規則集	0 その他51
3	横須賀鎮守府達摘録 (明治二四年・二六 年・三十年)	横須賀鎮守 府	M 24	海軍諸令則に定められた他、令達 指令等規定に属する事案を掲載し た摘録	0 その他 52.53.54
4	呉鎮守府達指令類集 (明治二十四年・二十 九年・三十二年)	呉鎮守府秘 書	M 24	明治 24年に始まった呉鎮守府司令 長官の達指令類を提要の便にした 規則集	0 その他56
5	佐世保鎮守府達摘録 (明治二十七年・三十 一年・三十三年)	佐世保鎮守 府	M 27	明治 22年から26年までの鎮守府司 令長官の令達指令等を採集した摘 録	0 その他59
6	常備艦隊法令 全	連合艦隊	M 38	常備艦隊軍艦日課週課規則、清韓 国派遣に必要事項許可のとき通牒 の件	0 その他50
7	横須賀鎮守府例規 全	横須賀鎮守 府副官編纂	M 44	横須賀軍港細則、軍港衛兵規則 他	0 鎮例規79
8	義済会盟約書第一条第 二号、救済ニ関スル規 程	不明	T 8	在郷海軍高等武官の救済に関する 規程集	0 その他48
9	軍艦例規	第一艦隊	S 6	昭和 6年 9月改訂され第一艦隊が 士官に配布した例規集	0 その他47
10	作戦部隊用海軍会計法 類集	海軍大臣官 房	S10	糧食扱い、俸給、物資調達等規則 集	0 会計6 7
11	戦時国際法規綱要付表	海軍大臣官 房	S12	戦争法規・海戦法規一覧表 他	0 その他62

今月は陸軍航空関係者の日誌・回想等の特集しました。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	第十飛行団部員 乗田貞剛 日誌	乗田貞剛	S16	仏印、ビルマに於ける航空作戦、「ル」号作戦状況 他	陸空日誌回想344
2	第三飛行団長菅原道大日記	菅原道大	S16	S16～17にかけての3Fを中心とした航空作戦	陸 陸空日誌回想222
3	富嶽特攻隊長 西尾常三郎日誌	西尾常三郎	S18	98F及び60F等重爆戦隊在任期間中、支那事変、大東亜戦従軍日誌	陸空日誌回想342
4	谷川一男少将随想録	谷川一男	S29	大東亜戦争初期における南方軍第4課（航空作戦担当）高級参謀時代の回想	陸 陸空日誌回想267
5	菅原道大中将回想録	菅原道大	S29	航空戦術に対する著者の回想、飛行場の防護に関する意見等	陸 陸空日誌回想223
6	絵野沢静一中将供述書	絵野沢静一	S32	競争試作機ハ5・ハ6の問題を主体とした陸軍航空回想	陸 陸空日誌回想797
7	野本重男 中佐 回想録	野本重男	S38	ノモンハン戦における爆撃部隊の戦例、満洲冬季における航空機の整備・維持 他	陸空日誌回想345
8	甘粕三郎 日誌(飛行第十六戦隊・在支那)	甘粕三郎	S38	S18～19までの支那大陸における航空作戦の回想	陸空日誌回想346
9	支那派遣軍気象隊等について	仁科 範	S41	気象隊の任務・役割、1号作戦に対する協力支援 他	陸空日誌回想343
10	航空 こぼれ話	絵野沢静一	S45	陸軍航空機発展段階での体験談、発動機開発の回想	陸空 中央航空基盤3

第30回

「史料公開ニュース」

図書館

今月は京都陽明文庫（近衛家文庫）に収蔵されている近衛文麿公関係資料を特集しました。内容は当時の記録、公電その他所謂公的資料及び一部近衛公直筆の手記・メモ、当時主要な地位にあった政官財人の対政局案・意見書・書簡等が含まれ戦争指導関係における貴重な一等史料です。尚、これらの史料は国会図書館でマイクロフィルムで公開されている以外、一般に閲覧できないものであります。

	題 名	作 成 者 (機 関)	作成年	概 要	登録番号
1	近衛資料 支那事变十二冊 分の一	陽明文庫所蔵	S12～13	蘆溝橋事件、日独伊防共協定、南京陥落	中央 戦争指導 重要国策 文書309
2	近衛資料 支那事变十二冊 分の二	陽明文庫所蔵	S13	支那事变処理根本方針（御前会議議題）	中央 戦争指導 重要国策 文書310
3	近衛資料 支那事变十二冊 分の三	陽明文庫所蔵	S13	東亜省試案、対支院設置の件	中央 戦争指導 重要国策 文書311
4	近衛資料 支那事变十二冊 分の四	陽明文庫所蔵	S13	国民政府（武漢政府）内部の和平及び主戦派	中央 戦争指導 重要国策 文書312
5	近衛資料 支那事变十二冊 分の五	陽明文庫所蔵	S13	対支時局処理機関設置に関する件	中央 戦争指導 重要国策 文書313
6	近衛資料 支那事变十二冊 分の六	陽明文庫所蔵	S13	広州処理方針	中央 戦争指導 重要国策 文書314
7	近衛資料 支那事变十二冊 分の七	陽明文庫所蔵	S13	海南島処理方針	中央 戦争指導 重要国策 文書315
8	近衛資料 支那事变十二冊 分の八	陽明文庫所蔵	S13	日支新関係調整方針立案に関する御説明（統帥部側）	中央 戦争指導 重要国策 文書316
9	近衛資料 支那事变十二冊 分の九	陽明文庫所蔵	S14	時局の動向と收拾策	中央 戦争指導 重要国策 文書317
10	近衛資料 支那事变十二冊 分の十	陽明文庫所蔵	S15	支那新政府成立と列国の動向	中央 戦争指導 重要国策 文書318
11	近衛資料 支那事变十二冊 分の十一	陽明文庫所蔵	S13	大東亜新秩序建設の国策の真義	中央 戦争指導 重要国策 文書319
12	近衛資料 支那事变十二冊 分の十二	陽明文庫所蔵	S14	幣原喜重郎男爵稿 汪精衛の主宰せし広東政府の日支同盟案	中央 戦争指導 重要国策 文書320

今月も引き続き近衛文麿公関係史料を特集しました。支那事変に加え日独伊三国の外交史料を紹介します。

	題 名	作成者又は機関	作成年	概 要	登録番号
1	近衛史料 支那事変七冊分の一	陽明文庫所蔵	S13	漢口陥落を契機とする北支建設要領 他	中央 戦争指導 重要国策文書 321
2	近衛史料 支那事変七冊分の二	陽明文庫所蔵	S13	満鉄部所長会議に於ける総裁訓辞要旨 他	中央 戦争指導 重要国策文書 322
3	近衛史料 支那事変七冊分の三	陽明文庫所蔵	S13	松井石根報告、事変善後処理要領及び支那再建試案大綱	中央 戦争指導 重要国策文書 323
4	近衛史料 支那事変七冊分の四	陽明文庫所蔵	S14	中支宗教大同聯盟要覧	中央 戦争指導 重要国策文書 324
5	近衛史料 支那事変七冊分の五	陽明文庫所蔵	S14	興亜院の指導精神に就いて	中央 戦争指導 重要国策文書 325
6	近衛史料 支那事変七冊分の六	陽明文庫所蔵	S14	写近衛公代筆解決中国事変之意見書	中央 戦争指導 重要国策文書 326
7	近衛史料 支那事変七冊分の七	陽明文庫所蔵	S15	興亜院に関する状況報告	中央 戦争指導 重要国策文書 327
8	近衛史料 日独伊関係三冊分の一	陽明文庫所蔵	S11	総理外務陸軍海軍四大臣決定帝国外交方針 他	中央 戦争指導 重要国策文書 328
9	近衛史料 日独伊関係三冊分の二	陽明文庫所蔵	S13	満洲国及び洪牙利（ハンガリー）の防共協定参加に関する件 他	中央 戦争指導 重要国策文書 329
10	近衛史料 日独伊関係三冊分の三	陽明文庫所蔵	S14	欧州戦争に伴う当面の諸外施策	中央 戦争指導 重要国策文書 330
11	近衛史料 日ソ関係	陽明文庫所蔵	S15	日本国「ソビエト」社会主義共和国連邦間漁業条約の効力延長に関する議定書承認の件審査報告	中央 戦争指導 重要国策文書 331

今月まで3回に渡り近衛文麿公関係史料を特集しています。二・三次内閣の他新体制関係について紹介します。

	題 名	作成者又は機関	概 要	登録番号
1	近衛資料 第二次及第三次内閣 五冊分の一	陽明文庫所蔵	世界の変局と帝国の方途 他	中央 戦争指導 重要国策文書332
2	近衛資料 第二次及第三次内閣 五冊分之二	陽明文庫所蔵	昭和十六年度物資動員計画概要	中央 戦争指導 重要国策文書333
3	近衛資料 第二次及第三次内閣 五冊分之三	陽明文庫所蔵	近衛公を中心に陸海軍大臣及び外務大臣の四首脳会議開催について	中央 戦争指導 重要国策文書334
4	近衛資料 第二次及第三次内閣 五冊分之四	陽明文庫所蔵	第二・三次内閣S15～16.9.24までの記述	中央 戦争指導 重要国策文書335
5	近衛資料 第二次及第三次内閣 五冊分之五	陽明文庫所蔵	S16.4.8～10.9までの記述	中央 戦争指導 重要国策文書336
6	近衛資料 新体制関係 九冊分の一	陽明文庫所蔵	国民精神総動員再組織の件	中央 戦争指導 重要国策文書349
7	近衛資料 新体制関係 九冊分之二	陽明文庫所蔵	報国会に関する件	中央 戦争指導 重要国策文書350
8	近衛資料 新体制関係 九冊分之三	陽明文庫所蔵	国民精神総動員運動と中央連盟に関する意見の概要	中央 戦争指導 重要国策文書351
9	近衛資料 新体制関係 九冊分之四	陽明文庫所蔵	国民組織連盟案 他	中央 戦争指導 重要国策文書352
10	近衛資料 新体制関係 九冊分之五	陽明文庫所蔵	新体制組織の一考案（突撃隊構成の要を説く）	中央 戦争指導 重要国策文書353
11	近衛資料 新体制関係 九冊分之六	陽明文庫所蔵	新体制と国民組織との関係に対する意見の評論	中央 戦争指導 重要国策文書354
12	近衛資料 新体制関係 九冊分之七	陽明文庫所蔵	大政翼賛会衆議院関係組織に関する管見覚書	中央 戦争指導 重要国策文書355
13	近衛資料 新体制関係 九冊分之八	陽明文庫所蔵	日本経済再編試案	中央 戦争指導 重要国策文書356
14	近衛資料 新体制関係 九冊分之九	陽明文庫所蔵	日本戦争経済力	中央 戦争指導 重要国策文書357

今月は海軍の教育・人事関連史料を特集しました。特に「海軍省人事局長申継綴」は一般に知られていない海軍の人事関係史料として貴重なものです。

題名	作成者 又は機関	作成年	概	要	登録番号
1 教育関係					
(1) 海軍英文書翰文集	海軍機関学校	M42	数百種の文例、封筒、宛名等の書式・用法の説明集		⑦教育学校 -3 192
(2) 軍制学教科書	海軍機関学校	T13	犯罪論、刑罰論、懲罰手続等の法令集		⑦教育学校 -3 193
(3) 観艦式と海軍	海軍省	S3	在郷軍人会全国大会記念として贈呈・編纂された史料		⑦教育演習 訓練91
(4) 水雷術教科書	海軍機関学校	S5	五三式魚雷装置、発射機、方位盤の使用法・整備法等		⑦教育学校 -3 194
(5) 軍制学	経理学校	S8	経理学校における軍政教授用として起草された教育資料		⑦教育学校 -12 54
(6) 物品会計教科書	経理学校	S16	被服、糧食品の意義分類、暫定的取扱令		⑦教育学校 -12 55
(7) 庶務教科書	経理学校	S17	文書取扱法、服役取扱、任用進級手続		⑦教育学校 -12 56
(8) 零戦搭乗員使用地図	水路部	S18	ニューギニア、ソロモン、ラバウル方面搭乗員使用地図（複製品）		⑤航空関係 全般173
2 人事関係					
(1) 辞令書綴	鈴木裕三	M32	海軍軍医鈴木裕三中将の辞令・叙任等の綴		⑧人事190-2
(2) 各鎮守府人事取扱参考資料	呉鎮守府司令部	S18	連合艦隊司令部において各鎮守府例規の統制資料として作成送付したもの		⑧人事191 の
(3) 海軍省人事局長申継綴	海軍省人事局長	S19	各種学生採用計画予定表、主計科士官の任免補職についての現員員数等		⑧人事194

今月は陸海軍の研究資料を含め個人の日記・回想録等の私文書を集めました。

題名	作成者 又は機関	作成年	概	要	登録番号
1 陸 軍					
(1) 高嶋辰彦陸軍少将日記 1～17巻	高嶋辰彦	S12～20	大本営参謀時代、台湾歩1連隊長時代、第16軍参謀時代等の日記		中央作戦指導日記495～511
(2) 多田駿大将関係資料	多田駿	S12～21	北支方面軍司令官時代の随筆 他		支那支那事变全般 465・466
(3) 日露戦後の回想録ノート	斉藤恒	不明	奉天大会戦に参加し生き残った著者が戦後満州地方を行脚し回想として綴った史料		戦役日露戦役115
(4) 研究報告第十号 陸軍大臣論	片岡董	S6	後に第1師団長となった片岡中将が騎兵少佐時代に執筆した研究論文		中央全般統帥158
(5) 統合運用講義資料 第一～六巻 総論	国武所員	S30	統合の意義、相互安全保障と統合問題 他		中央作戦指導統合1～6
(6) 総合兵站講義資料 第一～一三章	国武所員	S32	総合兵站の意義と範囲、軍需動員概説 他		中央作戦指導兵站1～12
(7) 防諜に関する回想聴取録	久保宗治	S34～39	中央部の防諜関係者の門外不出の聴き取り史料		中央軍事行政その他95
2 海 軍					
(1) 大東亜戦争開戦経緯に対する所見	石井秋穂	S55	開戦前、軍務局課員であった著者の開戦までの経緯を考察した史料		⑨依託30
(2) 竹船団護衛について	今里義光	S36	S19北支、中支より2個師団をニューギニア方面に転用した重要輸送の回想		⑨依託10
(3) 海軍特別陸戦隊作戦回想	今井秋次郎	S31	ニューギニア方面「ムンダ」～「コロンバンガラ」方面の戦闘経過 他		⑨依託19.20
(4) 決号作戦準備綴	山本善雄	S20	大東亜戦終戦間際、海軍における本土決戦準備の諸史料を記録した史料		③大東亜戦争本土8
(5) ミッドウエー海戦の経過	服部卓四郎	S27	著者が復員省史実調査部長在任中、GHQ戦史課において執筆した史料		③大東亜戦争中太平洋53

今月は海軍軍人の回想録を特集します。史料の大半は大東亜戦争戦史叢書編纂のため昭和30～40年代始めに関係者に依託執筆したものです。

	題 名	作成者 又は機関	作成年	概 要	登録番号
1	第一次ソロモン海戦・サボ島沖海戦回想	荒木 傳	S31	古鷹艦長であり当時海軍大佐であった著者のソロモン方面作戦回想録	⑨ 依託1
2	第二段作戦発起に至る経緯	有馬高泰	S31	黒島亀人聯合艦隊首席参謀の作戦発案に対する評価 他	⑨ 依託2
3	中島飛行機株式会社沿革大要及海軍機生産経緯並要目表	赤井英之助	S32	中島飛行機に於いて試作生産された航空機に関する資料	⑨ 依託3
4	太平洋戦争と国防燃料	秋重実恵	S34	大東亜戦中、海軍省軍務局において燃料関係を担当した著者の海軍燃料政策回想	⑨ 依託4
5	海軍奉職中の回想	有田雄三	S40	第三水雷戦隊首席参謀時代及び北部仏印進駐作戦回想	⑨ 依託5
6	航空母艦による海上護衛	有田雄三	S40	S19.8～20.3間、空母海鷹艦長としての海上護衛任務回想	⑨ 依託6
7	太平洋戦争初期における海軍の補給並びに海軍運輸本部に関する回想	磯部太郎	S35	著者経歴：S16.10.1～18.6.15連合艦隊参謀、S18.6.15～19.6.20運輸本部第一課長	⑨ 依託7
8	海軍弾道小史	磯 恵	S32	著者は初代の海軍弾道の権威者井口第二郎少将（海兵24期）を継いだ二代目の権威者	⑨ 依託8
9	相良丸作戦概要	向山喜彰	S33	第一段作戦期間中、同艦のシンガラ・プロコンドル方面に於ける作戦記録	⑨ 依託12
10	大東亜戦争中の日記抜粋及び解説	市来崎秀丸	S46	S17.10第三戦隊のガ島砲撃、S18～19年の南方占領地域に於ける敵通信防諜活動	⑨ 依託13
11	潜水艦部設置の経緯について	泉雅爾	S32	大正八年海軍省軍務局に置かれた同部の設置経緯	⑨ 依託14
12	4SS（潜水戦隊）編成より昭和16年12月1日三亜出撃までの行動概要	井内四郎	S33	S16.8.25からの3SSとの南洋方面特別行動 他	⑨ 依託15

第36回 「史料公開ニュース」

図書館

今月も先月に引き続き海軍関係の個人の日記・回想録等の特集しました。

	題名	作成者 又は機関	作成年	概	要	登録番号
1	回天作戦	板倉光馬	S33	回天の起源、教育訓練並びに作戦について。		⑨ 依託16
2	駆逐艦叢雲の作戦行動の概要	今井梅一	S32	ガ島輸送の状況、サボ島沖海戦生起の状況。		⑨ 依託17
3	パラワン島事件の真相に就いて	今川福雄	S33	比島パラワン島における米軍捕虜の脱出の真相		⑨ 依託18
4	上海方面勤務回顧録	池田貞枝	S48	終戦直前の上海、中支方面の海軍終戦処理の状況。		⑨ 依託21
5	水雷艇初雁戦闘記録	今井信彦	S45	昭和十二年第二次上海事件当時の第三水雷戦隊の行動		⑨ 依託23
6	船団護衛記録	犬塚惟重	S34	トラック島司令部第二運航指揮官としての南太平洋船団護衛指揮体験（当時の船団運航報告の添付有）		⑨ 依託24
7	海上護衛作戦所見	犬塚惟重	S34	昭和十五年当時ハルピンにおける猶太人工作等。		⑨ 依託25
8	比島における三十一警備隊の作戦	犬塚惟重	S35	比島フリーメイソン結社、独立運動団体サクダルとメイソンの確執。		⑨ 依託26
9	南洋群島勤務回想	逸見尚義	S40	南洋諸島における重懲役囚人の大量使役 他。		⑨ 依託27
10	旧海軍の組織に在った機関科将校問題と特務士官問題其の1・2	今田乾吉	S40	著者は昭和十七年兵科・機関科一系実現計画時、軍務一課における機関側代表であった。		⑨ 依託28

第3回 「史料公開ニュース」

図書館

今月は陸軍高級将校の日誌・回想類を特集しました。特に4、6、10、11番は直筆史料です。

	題名	作成者 又は機関	作成年	史料内容	登録番号
1	建国当初における黒龍江省の回顧	林義秀	S 9	当時チチハル機関長として直接その職務に当たった貴重な記録。	戦争指導重要国策文書238
2	大東亜戦争参加日誌	渡邊渡	S 5～20	参謀本部勤務、内閣企画院部長、北支那方面軍参謀長時代等の日誌。	戦争指導重要国策文書246
3	本間雅晴士官候補生日誌	本間雅春	M 28	筆者が士官候補生としてM 28年に歩兵十六連隊に入隊した際の日誌。	軍隊教育士官校64
4	昭和11～15年 民防空と本土防衛の回想	寒川吉澄	S 11～15	「防空法」に関する陸軍と内務省の折衝。警防団と防空協会との問題。 (直筆史料)	本土全般127
5	陸軍大佐鈴木康生回想手記	鈴木康生	S 19	著者は樺太混成旅団及び88師団参謀長を歴任し対ソ作戦第一人者であった。	北東樺太27
6	服部卓四郎大佐メモ	服部卓四郎	不明	エチオピアにおける伊軍の行動、英国の対アフリカ政策について。 (直筆史料)	陸空日記回想658
7	大本営第2課長服部卓四郎口述書	服部卓四郎	S 23	1944年春、大本営陸軍部の採った南方統帥上の問題に関する陳述。	陸空日記回想564
8	32A牛島満、長勇両中將の自決の状況 附3.23-3.27日間の状況	萩之内清	S 20	32軍本部と行動を共にした憲兵大尉萩之内清の手記。	沖台沖縄56
9	河本大作書簡（関東軍司令部高級参謀）	河本大作	S 3	磯谷廉介大佐宛私信、張作霖爆殺の真相を研究する上で貴重な史料。	満州全般137
10	昭和13.10.1～14.10.31 小林恒一少将日記	小林恒一	S 14	23師団歩兵団長であった筆者が使用した地図、日記、メモのとりまとめ。 (直筆史料)	満州ノモンハン28
11	大正14年 書簡集	斉藤恒	T 14	在満部隊の編成装備に関する根本的改編意見、他 (直筆史料)	満州満蒙171

第38回 「史料公開ニュース」

図書館

今月は、第35・36回に引き続き海軍関係者の回想録等私文書史料の特集です。すべて著者直筆史料です。

題名	作成者 又は機関	作成年	史料内容	登録番号
1 第一段作戦の回想	小沢治三郎	S31	南遣艦隊在職時代、暗号について	⑨その他依託39
2 第八艦隊作戦指導回想一般戦訓	大西新蔵	S31	ソロモン海戦とその一般戦訓	⑨その他依託40
3 南東方面艦隊作戦指導回想	大前敏一	S31	ガ島作戦、第一次ソロモン海戦、一木支隊の輸送について	⑨その他依託43
4 駆逐艦霧、第五六駆潜隊作戦行動回想	緒方友兄	S34	ハワイ、ミッドウエー作戦、キス力撤収作戦、あ号作戦の回想	⑨その他依託44
5 海軍勤務回想（気象関係）（その1・2）	大田香苗	S41	海軍の気象史、その教育・調査・部隊の編成等	⑨その他依託45
6 駆逐艦村雨作戦行動 其の1～4	鹿山誉	S32	著者が当時の日誌を基にタラカン攻略戦、スラバヤ沖海戦等について記述	⑨その他依託50
7 アッツ島沖海戦戦記 元第5艦隊参謀（砲術兼水雷参謀）当時海軍少佐 木下甫	木下甫	S36	艦隊編成、一般経過概要、水雷戦上の問題点	⑨その他依託59
8 南東方面艦隊作戦回顧	草鹿任一	S31	S17.10第2回ガ島奪回作戦に於けるラバウル海軍航空隊の悪戦	⑨その他依託61
9 第19駆逐隊の作戦と行動1～3	小池英作	S31	南東方面作戦に突入する経緯、挺身輸送作戦（東京急行）、第3次ソロモン海戦	⑨その他依託68
10 航空魚雷増産について回想	小山貞	S48	三菱長崎兵器製作所に航空魚雷工場を新設した際の紛糾	⑨その他依託76
11 ソロモン作戦の回想	小柳富次	S31	第2水雷戦隊のガ島輸送、ガ島撤退作戦について	⑨その他依託77
12 日本海軍水雷戦術思想の変遷	小柳富次	S38	魚雷兵器の誕生からS5ロンドン会議頃に至るその発達及び水雷戦技について	⑨その他依託78

第39回 「史料公開ニュース」

図書館

今月は陸軍将校の日誌・回想録類の特集です。

題名	作成者 又は機関	作成年	史料内容	登録番号
1 石井秋穂大佐回想録	石井秋穂	S21	S15年から開戦まで軍務課支那班長、高級課員として国策決定に参画した著者のその当時の回想	中央戦争指導重要国策文書798
2 篠塚中将遺稿 敗戦の原因1～2巻	篠塚義雄	S20	著者が自決直前短時間にノートの一端に走り書きした遺稿集	中央戦争指導重要国策文書1018
3 今岡豊大佐日誌1～4冊	今岡 豊	S36	支那事変から参本2課在職時その後関東軍参謀の頃、関係重要数量を執務の参考として筆写したもの	中央戦争指導重要国策文書784
4 備忘録 1～2巻	井上忠男	S20	梅津参謀総長の秘書官として服務していた頃の日記	中央作戦指導日記223
5 昭17.10.24～18.4.30 峰木日記	峰木十一郎	S17～18	北海守備司令官時代日記	北東ア リューシャ ン12
6 満州事変前後の秘話	佐久間亮三	S39	筆者は石原中佐の下で満州占領地行政の研究に従事したがその当時の秘話	満州全般50
7 井上日記1～3巻	井上忠男	S19	第11軍高級主任参謀であった筆者の湘桂作戦に関する日誌	支那大東 亜戦日誌 回想7
8 昭17.9大江芳若中佐治安工作資料	大江芳若	S17	北支河北省定県新民小学校生徒が大江部隊の功績を賞賛感謝した作文集録	支那大東 亜戦日誌 回想15
9 苦江作戦関係資料	宮崎舜一他	S39	1号作戦終了後の作戦指導における研究史料	支那大東 亜戦日誌 回想158
10 桜井省三中將回想録	桜井省三	S30	アラカン作戦等の回想録	南西ビル マ348
11 中永太郎中將回想録 第1・2編(現代の陸戦)	中永太郎	S30	ラングーン抑留間の手記、メークテラ会戦、インパール作戦について	南西ビル マ356

第40回 「史料公開ニュース」

図書館

今月も第39回に引き続き陸軍将校の日誌、回想類の特集です。

	題 名	作成者 又は機関	作成年	史 料 内 容	登録番号
1	1942.末～1943.10中旬 泰緬鉄道建設	石田榮熊	S 3 5	石田中将がチャンギー収容中に記述した史料	南西ビルマ205
2	後勝少佐回想録（緬甸戦史）	後勝少佐	S 3 0	終戦時ビルマ方面軍参謀に任じた後勝少佐の回想録	南西ビルマ366
3	那須義雄少将回想録	那須義雄	S 2 9	終戦時陸軍省兵務局長に任じた那須少将の回想録	南西ビルマ371
4	磯田三郎中将回想録（光機関（南方軍遊撃隊司令部）について）	磯田三郎	S 2 9	終戦時光機関（南方軍遊撃隊司令官）に任じた磯田中将の回想録	南西ビルマ377
5	昭31年5月 泰国進駐とビブン首相	八原博通	S 3 4	第15軍参謀、泰国大使館武官補佐官に任じた関係上当時の事情に精通した内容	南西泰仏印4
6	ラバウル方面作戦回想録	今村均	S 3 2	今村大將が抑留中、記述した回想録	南東全般179
7	昭和18年暗号は盗まれた。（山本元帥戦死秘録）	小山公利	S 3 4	第8方面軍参謀として主として兵站通信関係事項について記述した回想録	南東全般185
8	阿部芳光ガダルカナル作戦回想録	阿部芳光	S 4 3	阿部少将が終戦後ガダルカナル作戦を中心に記述した回想録	南東ソロモンビスマルク78
9	第51兵団長岡部通回想録	岡部通	S 4 3	第18号作戦及びワウ進行作戦を支隊長として作戦を実施したが作戦の主要問題点についての回想録	南東東ニューギニア23
10	近藤兼利中将回想録	近藤兼利	S 2 9	戦争末期主として東京周辺の要地防空に任じた当時の回想録	陸空本土防空53

第41回 「史料公開ニュース」

図書館

今月は、陸・海軍将校の日誌、回想類の特集です。

	題 名	作成者 又は機関	作成又 は寄贈 受年	史 料 内 容	登録番号
1	昭18.9.10～19.1.25 第 70師団廣徳作戦資料	内田孝行	S 4 3	廣徳作戦（第70師団関係）について の内田師団長の回想録	支那大東 亜戦日誌 回想13
2	南方軍軍医部長青木九一 郎日記 1～5分冊	青木九一郎	S 4 8	筆者が南方軍医部長時代克明に記録し た日記	南西全般 100～104
3	椰風(35Dニューギニア作 戦記録)	伊藤常男	S 4 0	第35師団のニューギニアにおける作 戦概要を記載した史料	濠北日誌 回想31
4	T3～S17 陸軍大佐稲留勝 彦資料	稲留勝彦	S 6 3	戦時体制下の警察活動について記載し た史料	陸空本土 防空80
5	浅野剛少将回想(航技研ハ ルピン支所時について)	浅野剛	S 4 0	航技研ハルピン支所時代における業務 内容を記載した史料	陸空日誌 回想35
6	昭和6～11 陸軍航空技術雑感	絵野澤静一	S 3 2	大東亜戦争前における陸軍航空技術に ついて記載した史料	陸空日誌 回想153
7	飯村中将回想録抜粋	飯村讓	S 3 2	飯村中将回想録中比島航空の関係部の み抜粋した史料	陸空日誌 回想559
8	支那事変.中央の対支関係	稲田正純他	S 4 2	中央の政戦略指導について記載した元 作戦課長稲田大佐他の回想録	陸空日誌 回想636
9	「政戦両略より見たる日 米開戦の経緯概要」	石川信吾	S 3 1	海軍省戦争指導関係課長としての回想 録	①日誌回 想14～20
10	昭和17.6～18.10 「ソロ モン島作戦回想録」	今井秋次郎	S 4 2	筆者がソロモン島作戦で体験した諸事 項を記載した回想録	①日誌回 想30

第44回 「史料公開ニュース」

図書館

今月は、陸軍及び海軍関係者の回想類の特集です。

題 名		作成者 又は機関	作成又 は寄贈 受年	史 料 内 容	登録番号
1	遠山登中将回想録	遠山登	S40	筆者が在満当時を回顧した回想録	満州大東 亜戦争52
2	田副正信陣中追想録 其の1	田副正信	S41	支那事変勃発後における南京への人員 輸送等について記録した史料	支那事変 日誌回想 105
3	歩兵第104連隊史資料	海福三千雄	S47	筆者が公刊した「歩兵第104連隊小 史」の原稿の一部	大東亜戦 争日誌回 想25
4	西北河南作戦記	神保信彦	S35	西北河南作戦についての独立歩兵第82 大隊戦闘詳報記録	大東亜戦 争日誌回 想66
5	整備担当者として得た戦訓 羅列	志岐六郎	S33	筆者が整備科将校として得た戦訓を記 載した史料	①中央日 誌41
6	昭和14年軍令部部員（対英 国担当）大井篤の記録	大井篤	S51	昭和14年当時軍令部部員（対英国担 当）たりし筆者の回想録	①中央日 誌96
7	海軍機技術関係資料	国本隆	S21	戦時海軍技術大尉たりし筆者の海軍機 の技術についての回想録	①中央日 誌177
8	日本海軍の対外情報機構	実松譲	S33	日本海軍の対外情報機構について記載 した史料	①中央日 誌199
9	クラーク地区における海軍 部隊の戦闘	吉岡忠一	S24	クラーク地区における海軍部隊の戦闘 について記載した史料	①中央日 誌593

第47回 「史料公開ニュース」

図書館

今月は、日満財政経済研究会、満鉄調査部等が作成した満州全般に関連する史料です。

題 名		作成者 又は機関	作成又 は寄贈 受年	史 料 内 容	登録番号
1	満州の用兵的観察 第五節 気象	復員局？	昭 2 0	在満気象部隊の編成装備等の満州全 般の気象に関連した史料	満州全般 386
2	満州に於ける電気事業の概 説	満州電業調査 課	昭 1 0	満州における電気事業を総括的に紹 介した史料	満州全般 387
3	国家総動員関係法令集	満鉄調査部	昭 1 4	国家総動員法、国家総動員法による 試験研究に関する法令集	満州全般 388
4	日満石炭需給計画の再検討 と北支石炭開発問題	日満財政経済 研究会	昭 1 6	昭和 1 6 年度における日満一体の石 炭需要計画等日満財政経済研究会作 成史料	満州全般 393
5	計画産業需給推定表参考資 料	日満財政経済 研究会	昭 1 3	日満財政経済研究会が作成した鉄 鋼、石炭、軽合金、非鉄金属等需給 推定表等の史料	満州全般 394
6	昭和十三年度業務計画細目	日満財政経済 研究会	昭 1 3	日満財政経済研究会が作成した財 政、金融、工業、農業、資源等の経 済政策等の史料	満州全般 395
7	日支経済提携に関する協定 要綱案	日満財政経済 研究会	昭 1 4	日満財政経済研究会が作成した日支 経済提携に関する協定要綱案、経済 協議会に関する規定等の史料	満州全般 397
8	満州国産業開発五ヶ年計画 修正鉱工業部門における器 材供給に就いて	日満財政経済 研究会	昭 1 6	日満財政経済研究会が作成した満州 国対外貿易収支表、主要輸出入品国 別表等の史料	満州全般 398
9	日満財政経済研究会業務報 告書	日満財政経済 研究会	昭 1 3	日満財政経済研究会が作成した経済 国策、資金計画、戦争経済等の主要 研究業務の報告書	満州全般 399
10	重工業部門資料	復員局	昭 2 7	満州飛行機製造株式会社調査資料	満州全般 407

第48回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、陸軍及び海軍関係の公文書が主体です。

題 名		作成者 又は機関	作成又 は寄贈 受年	史 料 内 容	登録番号
1	第三十四師団司令部 山砲 兵隊 復員関係資料	第三十四師団 山砲兵隊	昭21	山砲兵隊の乗船者名簿、湘桂作戦等 要図等の復員関係資料	中央部隊 歴史師団 92
2	近衛歩兵第三連隊戦闘詳報	近衛歩兵第三 連隊	昭16	中山県第8付近の討伐、雷州方面遮 断作戦等の戦闘詳報	中央部隊 歴史師団 93
3	支那事变 我等は斯く戦へ り	西田部隊小笠 原隊	昭13	支那事变に参加した西田部隊小笠原 隊で作成した観測所活動状況等を記 載したもの	支那支那 事变上海 南京425
4	飛行第六十戦隊戦闘規定	飛行第六十戦 隊	昭14	飛行第六十戦隊が錬成のため部隊等 の特性を考慮して独自に規範を作成 したもの	陸空写真 171
5	航空機製造沿革 機体之部	川崎航空機工 業株式会社	昭21	陸海軍の航空機製造について川崎航 空機工業との関係を知る上で参考に なる資料	陸空中央 兵器生産 157
6	武力戦的見地に基づく支那 事变最高統帥の研究	参謀本部	昭15	陸軍大学教官宮崎周一大佐（当時） が所持していた参謀本部作成による 支那事变最高統帥についての研究資 料	文庫宮崎 117
7	第6方面軍隷下 第11軍 感状（写真）	第11軍	昭14	第6方面軍隷下第11軍が参加した 南昌攻略戦等で岡村軍司令官が出し た冠状の写真	文庫宮崎 119
8	北満兵棋研究	第一方面軍	昭17	昭和17年、北部満州において、第 1方面軍によって実施された兵棋研 究関係資料	文庫宮崎 121
9	軍極秘機密上陸軍命令 第49号陸戦隊命令	上海海軍特別 陸戦隊	昭12	第二次上海事变における上海海軍特 別陸戦隊司令官大河内少将の命令書	②満州事 変上海事 変83
10	新任下士官教育資料 陸戦 二於ける下士官の任務	第3駆逐隊	昭10	第3駆逐隊で実施された初級士官教 育の参考資料で一部に下士官教育資 料、遊泳教育資料等が含まれてい る。	⑦教範 426
11	学窓	海軍工機学校	昭16	海軍工機学校普通科機関術練習生卒 業記念（写真集）	⑦学校一 14-29

第49回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、宮崎周一中将関連史料です。

題 名	作成者 又は機関	作成又は (寄贈受 年)	史 料 内 容	登録番号
1 陸軍大学校教官時代ノート	宮崎周一	(平15)	筆者が陸軍大学教官を務めた時期のノートと思われる史料	文庫宮崎 115～116
2 軍山・第十一軍司令部首脳写真等 南昌攻略	宮崎周一	昭14	南昌攻略戦における第11軍司令部首脳写真等の写真史料	文庫宮崎 118
3 戦史室研究議題	宮崎周一	昭37	参謀本部第一部長であった筆者に対する戦史叢書編纂官の質問及び回答	文庫宮崎 126
4 戦史室関係覚	宮崎周一	昭30頃	戦史叢書編纂のため要望した事項について回答事項を纏めて記録したもの	文庫宮崎 127
5 旅順攻略戦等戦史ノート	宮崎周一	(平15)	筆者叙述による旅順攻略戦等戦史ノート	文庫宮崎 132
6 南昌要図	宮崎周一	(平15)	昭和14年中国で実施された「南昌攻略作戦」関連地図	文庫宮崎 133
7 26i(歩兵第26連隊)連隊作戦状況図	宮崎周一	(平15)	歩兵第26連隊が参加した「徐州会戦」「ノモンハン事件」等の作戦図	文庫宮崎 134

8	宮崎周一中将研究ノート	宮崎周一	(平 1 5)	筆者が戦後回想及び本人以外の叙述による手記の抜粋	文庫宮崎 137
9	米海兵隊准将 Griffith に対する応答	宮崎周一	昭 3 7	米海兵隊 Griffith 准将のガダルカナル戦についての質問に対する筆者の応答史料	文庫宮崎 138
10	戦場回想	宮崎周一	昭 4 0	岡村寧次元第 6 方面軍司令官が戦後回想執筆にあたり筆者に点検、補足を依頼したが筆者がその原稿と註をノート 3 冊に記録したもの	文庫宮崎 141

第50回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、陸軍関係者の日誌、回想類の特集です。

題 名		作成者 又は機関	作成又 は寄贈 受年	史 料 内 容	登録番号
1	神田正種中将回想録（旧軍に関する回想）	神田正種	昭 3 3	筆者の旧軍に関する回想録	中央作戦 指導回想 手記63
2	神田正種中将回想録（情報勤務に関する回想）	神田正種	昭 3 0	筆者の情報勤務に関する回想録	中央作戦 指導回想 手記68
3	小野寺信少将回想録 瑞典在勤間の思い出	小野寺信	昭 2 9	筆者の瑞典在勤間の回想録	中央作戦 指導回想 手記80
4	要塞兵備に関する回想録	北島驥子雄	昭 3 1	筆者の要塞兵備に関する回想録	中央作戦 指導回想 手記99
5	陸軍重砲兵回顧録	北島驥子雄	昭 3 1	元重砲兵学校長北島驥子雄の重砲兵回顧録	中央作戦 指導回想 手記101
6	土橋勇逸中将回想録	土橋勇逸	昭 4 1	筆者の軍服生活 4 0 年の回想録	中央作戦 指導回想 手記144
7	大東亜戦争の終戦に関する考察 昭16.12.8～20.8.15	幸村健一郎	昭 5 0	大東亜戦争の終戦に関する筆者の考察史料（終戦施策の経過概要、問題点等）	中央作戦 指導回想 手記156
8	遠山登中将回想録	遠山登	昭 2 9	在満第 7 1 師団の回顧等筆者の旧軍に関する回想録	中央作戦 指導回想 手記162
9	私と支那陸軍在職過程他 1/14～14/14（1 4 冊）	永見俊徳	昭 4 7	筆者の在支勤務時等の回想録	支那支那 事変日誌 回想122 ～135
10	永見俊徳回想録 1 / 6 ～ 6 / 6（6 冊）	永見俊徳	昭 4 7	筆者の旧軍（大正 8 年～昭和 1 8 . 5）に関する回想録	支那支那 事変日誌 回想136 ～141

第51回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、寺岡謹平海軍中将（兵40期）の日誌回想の特集です。

題 名		登録番号	作 成 者	史 料 内 容
1	昭12 支那事变随筆（上海戦線の陣中随筆）	①日誌回想284	寺岡謹平	1 史料内容 寺岡謹平海軍中将（兵40期）が昭和12年7月支那事变勃発時から昭和20年8月大東亜戦争終戦時までの間の多彩な勤務を通じ、その時々々の体験、見聞、所感を記録されていたものを複製したもの。 2 史料総数：59冊 (1) 登録番号①日誌回想284～303(20冊) ：「支那事变随筆」 (2) 登録番号①日誌回想304(1冊) ：「支那事变、大東亜戦争随筆」 (3) 登録番号①日誌回想305～344(40冊) (318、319：欠) ：「大東亜戦争随筆」
2	昭15 支那事变随筆（海南島戦塵余録 其の1）	①日誌回想291		
3	昭15 支那事变随筆（戦没勇士遺族弔問 其の1）	①日誌回想300		
4	昭16 支那事变随筆（南京再往 其の1）	①日誌回想302		
5	昭16～17 支那事变 大東亜戦争随筆（南京再往 其の3）	①日誌回想304		
6	昭16 大東亜戦争随筆（交歓録 其の1）	①日誌回想316		
7	昭16.12～17.1 大東亜戦争随筆（海戦記録 其の1）	①日誌回想320		
8	昭19.8～19.10 大東亜戦争随筆（海戦記録 其の1）	①日誌回想324		
9	昭19.11～19.12 大東亜戦争随筆（国土防衛編 其の1）	①日誌回想325		
10	昭20～21 大東亜戦争随筆（戦後余録 其の1）	①日誌回想330		
上記史料他49冊				

第52回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、高嶋辰彦陸軍少将の日記の特集です。

題 名		登録番号	作 成 者	史 料 内 容
1	高嶋日記（1）陸軍地方幼年学校生徒時代1	中央作戦指導日記514	高嶋辰彦	1 史料内容 高嶋少将が陸軍幼年学校生徒時代から大東亜戦争終戦までの間の多彩な勤務を通じ、その時々体験、見聞、所感等を日記に記録したもの（原本） 2 史料総数：44冊 3 高嶋辰彦陸軍少将の履歴 昭12.11.20 大本営参謀 13.7.15 参本部員 14.3.9 参本戦史課長 15.5.9 兼陸大教官 15.12.2 台歩1連隊長 16.10.15 参本附 16.11.5 第16軍高級参謀 17.4.24 公主嶺校教官 18.3.11 第3軍参謀長 19.12.16 東部軍参謀副長 20.3.1 第12方面軍参謀長 （履歴は陸海軍将官人事総覧による）
2	高嶋日記（10）陸軍士官学校生徒時代1	中央作戦指導日記523		
3	高嶋日記（13）大正7年	中央作戦指導日記527		
4	高嶋日記（夏期特別講習講話）	中央作戦指導日記538		
5	高嶋日記（25）ドイツ滞在中	中央作戦指導日記541		
6	高嶋日記（28・29）徳島及東京	中央作戦指導日記544		
7	高嶋日記（38）昭和16年	中央作戦指導日記549		
8	高嶋日記（82）終戦前後に亘る重要事項摘記	中央作戦指導日記554		
9	高嶋日記 部隊編成	中央作戦指導日記555		
10	高嶋日記（80）ジャワ作戦日記・要綱	中央作戦指導日記556		
上記史料他34冊				

第53回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、陸軍関係者の日誌、回想類の特集です。

題 名		作成者 又は機関	作成又は (寄贈 受) 年	史 料 内 容	登録番号
1	軍備・国策資料	志甫健吉	昭14～ 15年	昭14～15年頃の軍備・国策関連 の史料	中央戦争 指導重要 国策文書 1343
2	国策綴	志甫健吉	昭14～ 16年	国民教化運動方策・時局宣伝方策・ 体育の奨励・財界の失地回復運動・ 国策研究資料の綴り	中央戦争 指導重要 国策文書 1345
3	昭20.9.25～21.6.14 宮崎周一日記 復員時代	宮崎周一	昭20～ 21年	大本営陸軍部作戦部長たりし宮崎周 一中将の昭20～21年頃の日記原 本	中央作戦 指導日記 558
4	支那問題研究	志甫健吉	昭11 年頃	陸軍将校の目から見た当時の中国情 勢を知ることができる史料	支那支那 事変全般 485
5	駐蒙軍参謀長稲村豊二郎少 将手記	稲村豊二郎	(昭55 年)	筆者が駐蒙軍参謀長勤務当時の手記	支那支那 事変日誌 回想27
6	昭12.7.29～12.11.6 歩兵第1連隊北支出動日誌 伊藤常男	伊藤常男	(昭49 年)	筆者が歩兵第1連隊勤務時に連隊旗 手・小隊長として北支に動員された 際の日誌（複製）	支那支那 事変日誌 回想30
7	歩兵第13連隊長として戦 記 S13.3～14.3	中野英光	昭29年	筆者が歩兵第13連隊長勤務時の回 想記録	支那支那 事変日誌 回想185
8	私の従軍記録（印刷）小俣 秀雄	小俣秀雄	(昭49 年)	筆者の陸軍従軍記録の印刷物（幹部 候補生教育及び見習士官当時の記述 あり、原稿起稿は戦後）	支那支那 事変日誌 回想 208・209
9	中島吉三郎回想手記（第 37師団山西における作 戦）	中島吉三郎	(昭41 年)	筆者が歩兵団長として参加した第3 7師団の山西における作戦の概要を 記載した史料	支那支那 事変日誌 回想243
10	天国から地獄 其の1・ 2・3 第16軍参謀長陸 軍中将 岡崎清三郎	岡崎清三郎	昭33年	筆者の回想記 著書「天国から地獄 へー南方進攻作戦の栄光と戦犯死刑 囚の屈辱ー」の原稿（複写）と思わ れる。	南西ビル マ73・ 74・75

第54回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、海軍関係者の日誌、回想類の特集です。

題 名		作成者 又は機関	作成又は (寄贈 受) 年	史 料 内 容	登録番号
1	昭和19年09月 第32特別 根拠地隊方面の戦況	土井直治	昭19年 頃	昭和19年頃のダバオの一般戦況を 知ることができる資料	①日誌 回想358
2	昭和22年占領軍総司令部 戦史課要望 野村了介氏等 調査 提出 「ミッドウェー作 戦図演報告書」	野村了介	昭22年 頃	G H Q要望に基づき著者が主とな り、調査して提出したもの	①日誌 回想464
3	自T10.01 至T10.03 南洋群島委任統治領軍事調 査について 駐独航空監視 委員の任務等について	別府明朋	大10年 頃	戦後（昭和40年頃にまとめ、提供 したものと思われる回想記）	①日誌 回想509
4	S16.03.25～18.12.1 9 海軍大尉 村上光功勤務 録	村上光功	昭16～ 18年	著者が佐世保第5陸戦隊の頃の日誌と 思われる。部隊編成や日課等、陸戦 隊の状況を記している。	①日誌 回想543
5	松本メモ(燃料関係)	松本総雄	昭15～ 17年	海軍省軍需局員として勤務した松本 機関大佐が当時使用した燃料関係の 記録資料（ノート）	①日誌 回想520
6	潜水艦戦の思い出(元 第6 艦隊参謀長)	佐々木半九	(昭40 年)	戦後の回想記録であり、戦争当時の 潜水艦の様々な用途や開戦時の潜水 艦兵力、潜水艦学校狂騰勤務時代にも ふれている。	①日誌 回想198
7	S29.12 梓の弓(梓特攻 隊第2区隊長 高久健一の 記録)	高久彦太郎	(昭29 年)	著書「海軍飛行予備学生」の原本、 札幌北海高女教員から海軍予備学生 となり甲板士官時代から特攻出撃等 記述あり。	①日誌 回想265
8	昭和33年02月15日 記憶 第65駆潜特務艇一代記	谷岡貞範	(昭33 年)	昭和19年頃の駆潜特務艇勤務時代 の戦闘等に関する回想記	①日誌 回想266
9	第46警備隊ヤップ島作戦 経過概要	田中正道	(昭40 年)	著者が当時警備隊司令として勤務し た時代の回想記	①日誌 回想268
10	ウォッチェ島(南蜀島)籠城 記 第01巻～第04巻	土屋太郎	(昭21 ～22 年)	マーシャル群島北東部のウォッチェ 島での昭和19年～20年の籠城し た苦戦の回想記	①日誌 回想277 ～280

第55回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、陸軍の公文書等が主体です。

題 名		作成者 又は機関	作成又は (寄贈 受) 年	史 料 内 容	登録番号
1	東京連隊区将校団規約	東京連隊区将校団	昭17年	昭和17年改制版 目的及び事業・責務・役員及び其の任務等について定め、予備役将校の組織について参考になる。	中央軍事行政 その他 657
2	昭和10年度 中少尉現地戦術記事 歩兵第74連隊	歩兵第74連隊	昭10年	歩兵連隊の現地戦術計画、初級将校の訓練状況を伝える史料で、遭遇戦／陣地攻撃・防御・山地機動統制指導の他、移動は汽車利用の旨記述あり。	中央軍隊教育 演習記事 684
3	新旧 赤軍歩兵戦闘教令対照抜粋	関東軍参謀部	昭19年	ソ連軍歩兵戦闘教令史料であり、関東軍の対ソ研究について知ることができる。中隊以下の戦闘の改正、赤軍改編情報による新設事項の追加がある。	中央軍隊教育 典範 其 その他789
4	昭和9年度 第2期中隊教練検閲計画	歩兵第74連隊	昭9年	歩兵連隊の教練を伝える史料、訓練編成には機関銃小隊・歩兵砲小隊も編組され、攻撃／防御／遭遇戦について各中隊を検閲した際の計画	中央軍隊教育 その他 281
5	戒厳二関スル研究資料	陸軍省軍事課	昭19年	陸軍省軍事課が作成した戒厳についての資料、大東亜戦争末期の陸軍の戒厳についての考え方、計画について知ることができる。	本土東部 263
6	防衛二関スル意見	東部軍司令官	昭19年	大東亜戦争末期の東部軍の防衛計画を示す1次史料	本土東部 264
7	東満ニ於ケル食用並ニ薬用植物集録	第11部隊矢野隊	昭16～ 17年	東満州における地誌を伝える資料、現地語と和名・調理法・植物の形状・食用部位等を図表にしたもの	満州全般 434
8	自昭和17年度至昭和20年度満州国戦争準備指導計画	関東軍参謀部第4課	昭16年	関東軍の戦争準備指導計画であり、当時の関東軍の戦争計画を伝える1次史料	満州全般 432
9	支那事变「戦跡の栞」(中巻) 昭和13年11月	陸軍恤兵部発行	昭13年	序文は畑俊六大将(のち元帥)名で記述あり。本文は戦闘記録(上海・南京・徐州等)及び中支事情(江蘇省・河南省等)からなる。	支那 支 那事变 全般472
10	飛行場要覧 第二編 東部印度	下志津陸軍飛行学校	昭19年	大東亜戦争末期の外地飛行場の航空写真及び地図からなる史料	陸空中央 航空 基盤38

第56回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、陸軍大学校 の教育資料の特集です。

題 名		作成者 又は機関	作成又は (寄贈 受) 年	史 料 内 容	登録番号
1	海戦術講義提要	陸軍大学校	昭9年	教官は宇垣海軍大佐、戦闘力要素・艦船の任務及び性格の概要・海岸戦闘・上陸戦闘等について記述がある。	中央 教程 陸大 1
2	鉄道作戦講義録		昭9年	戦術教育(想定・状況付与等)の中で、C12型・D50型等の列車運転速度(貨・客・混合)を含み各種路線での諸元等も付記	中央 教程 陸大 2
3	参謀要務(船舶輸送)講義録		昭9年	海運概論に始まり、上陸作戦・水路輸送等に至るまで各種要務について記述がある。	中央 教程 陸大 4
4	参謀要務(鉄道輸送)講義録		昭9年	内地鉄道の諸問題の部分で電化の問題にふれ、鉄道電化の利害・軍事上より見たる鉄道電化についての記述がある。	中央 教程 陸大 5
5	航空戦術(図上研究)講義録		昭8年	戦術想定問答であり、4つの状況を付与して各種問題を解答する内容、各問題等に指導原案が付いている。	中央 教程 陸大 6
6	通信講授録 原則之部 1/2		昭8年	連絡手段の種類・特性、軍通信の用法、野戦郵便勤務等について述べている。	中央 教程 陸大 9
7	兵站講義録 1/2		昭9年	2つの想定により各種状況付与した問答で、会戦補給率・兵站通信・水路輸送等についての講義録	中央 教程 陸大 13
8	航空参謀要務講授録		昭10年	我陸軍航空発達の沿革・飛行隊の特質・要地空襲と防空等についての記述がある。	中央 教程 陸大 14
9	兵站戦史		昭8年～昭10年	兵站沿革史概要・各種戦役(日露戦争頃まで)における兵站の概要等について記されている。	中央 教程 陸大 15
10	対米戦法研究/参考		昭10年	米軍の戦史的觀察・編成装備の特質・戦法の特質等についての講述	中央 教程 陸大 22
上記史料の他35冊		参考：「鉄道作戦講義録」には、「攻撃に於ける鉄道戦闘」等の附録が同一冊子の末尾部分に存在する。			

第57回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今日は、南郷次郎海軍少将の私文書史料の特集です。

題 名		作成者 又は機関	史料内容 の期間	史 料 内 容	登録番号
1	明治37年日露戦報集之一	南郷次郎	明37年 ～ 明38年	1 南郷次郎 この史料を記した南郷次郎氏（海兵26期）は日露戦争時代は大尉、後に少将となる。 2 史料内容 (1) 当時の海軍大尉が、海軍大学校学生時代頃、海軍内部資料をもとに執筆したものと思われる。 (2) 明治37年から明治38年に到る筆記記録であるが、内容に部隊編成等詳細な数値等が入っている。 (3) 資料源が不明なので公刊戦史と比較しながら参考にすることによって貴重な史料となると思われる。	①日誌回想 859～871
2	明治37年日露戦報集之二				
3	明治37年日露戦報集之三				
4	明治37年日露戦報集之四				
5	明治37年日露戦報集之五				
6	明治37年日露戦報集之六				
7	明治37年日露戦報集之七				
8	明治37年日露戦報集之八				
9	明治37年日露戦報集之九				
以下、戦報集之十三まで続く					

第58回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、陸軍関係公文書等が主体です。

題 名	著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1 築城関係史料綴 明治32年～34年	砲工学校	明32年～34年	砲工学校の築城学教育に関する史料であり、東京湾要塞防御編制要領等があり参考となる。また、「築城実地対策地の視察報告」(演習地:清水港等)等が存在する。	本土築城要塞67
2 旅順要塞攻略後の残務処理関係資料綴 明治39年01月～12月	旅順要塞司令部他	明39年	旅順要塞攻略後の残務処理に関する史料であり、各種の目録・「明治三十七 八年戦役ニ関スル工兵大隊歴史」「旅順要塞攻撃作業詳報目次」等が存在する。	戦役日露戦役353
3 祝節祭服装 明治40年03月18日	陸軍省	明40年	各祝節祭典の参加要領及び服装について知ることができる史料であり、賞勲局「勲章佩用心得」(明21年)が併せて存在する。	中央軍事行政その他638
4 発動機製作班業務実施報告 大正09年08月	臨時航空術練習委員	大9年	「発動機製作経過」「佛国航空団員ノ人名及特技」等からなり、附録には発動機特別試験規定があり耐久運転試験については「五十時間運転試験」の要領にふれている。	陸空中央兵器生産155
5 陸軍各隊陣営具備附標準表 大正15年	陸軍省	大15年	諸表及絵図を用いており、当時の陣営具を知ることができる史料である。一例として兵舎具では、軍刀掛・診察椅子等が絵図及び寸法入りで掲載されている。	中央作戦指導兵站13
6 軍隊衛生学 昭和04年07月03日	陸軍	昭4年	軍隊教育令に依り教育すべき軍隊衛生学を定めたものであり、給養・防疫・給水・救急法等についての記述がある。	中央軍事行政衛生173
7 航空写真利用例 第02版 昭和05年08月	下志津陸軍飛行学校	昭5年	11項目にわたる航空写真の活用方法を紹介している史料であり、「垂直写真ノ視方」「斜写真利用ノ例」等があり三島地区等地図と対比したものも存在する。	陸空中央学校43
8 衛生材料業務要覧 昭和06年	陸軍軍医団	昭6年	水野操陸軍三等軍医正が編集、戦用衛生材料と常用衛生材料について記述がある。	中央軍事行政衛生180
9 緊急戦争準備研究関係書類綴	陸軍省参謀本部	昭16年	米国の対日経済断交等の時局に対応するため緊急戦争準備を国家総力を挙げて速やかに行うために研究されたものである。	中央戦争指導重要国策文書1342
10 大本営陸軍統帥記録	第一復員局	昭21年	「戦争開始前全般ノ状況」「開戦前ニ於ケル彼我ノ状況」及び戦争各期における統帥について知ることができる史料である。	中央全般統帥159

第59回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、商工省・軍需省関係公文書の特集です。

題 名		著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1	省議資料綴 (その1) 昭和13年12月	商工省大臣官房	昭13年	繊維工業課主管事項・機械工業課主管事項・化学工業課主管事項等からなる史料	商工省軍需省 大臣官房3
2	労務動員委員会関係綴 昭和14年03月	商工省大臣官房文書課	昭14年	労務動員実施計画設定に関する件・石油増産計画に伴う労務者調査等からなる史料	商工省軍需省 大臣官房6
3	第75帝国議会に於て問題となるべき事項 昭和14年12月	商工省審議室	昭14年	鉄鋼局・商工省繊維局・振興部・燃料局・物価局の問題となるべき事項を挙げている。	商工省軍需省 大臣官房7
4	原議(動員関係)綴 昭和15年	商工省大臣官房	昭15年	建築技術者徴用に関する件・海軍工作所要員の徴用に関する件等からなる史料	商工省軍需省 大臣官房8
5	物資動員計画に関する綴(輸入、為替許可、貿易通商) 昭和16. 11～17. 03	商工省審議室	昭16年	11月・12月における仏印・泰よりの生ゴム取得に対する輸送及び資金に関する件等14件からなる史料	商工省軍需省 大臣官房12
6	南方資源に関する特別室設置資料 昭和16. 12	商工省審議室	昭16年	商工省に特別室を設置する目的、特別室の構成等が記載されている。	商工省軍需省 大臣官房13
7	陸軍関係協議綴 昭和17年	商工省審議室	昭17年	特殊鋼屑特別取扱申請に関する件・軍需用硫酸銅配給に関する件等からなる史料	商工省軍需省 大臣官房14
8	通商貿易(伊太利関係)関係綴 昭和17年08月	商工省審議室	昭17年	日伊金融暫定取極に関する件等が記載されている。	商工省軍需省 大臣官房15
9	生産力拡充実施計画(1) 昭和18年度	商工省総務局	昭18年	各社工場等における鉄鋼・石炭・軽金属・石油精製・自動車・鉄道車両等の設備拡充計画についてふれている。	商工省軍需省 総務局41
10	地方情況 第62輯 昭和18. 03. 05	商工省総務局調査課	昭18年	重要工場と協力工場との有機的連携に関する対策状況等について記載がある。	商工省軍需省 総務局45

第60回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、先月に引き続き商工省・軍需省関係公文書等の紹介です。

題 名		著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1	主管事項に関する行政方針 及施設事項 (第74回 帝 国議会用) 昭和13年12月	商工省 貿易 局	昭13年	貿易関係法令の施行に関する事項・諸 外国との通商問題に関する事項等につ いてふれている。	商工省軍 需省 貿易 局1
2	昭和18年度重要政策事項 昭和17年08月	商工省	昭17年	鉄鋼生産の飛躍的拡充に関する件・機 械油の生産増強並に需給統制に関する 件等の極秘文書の他各種秘文書があ る。	商工省軍 需省 大臣 官房16
3	省議 (庶務課長会議) 資料 (1) 昭和17年06～09月	商工省大臣官 房 (野寺調整 官)	昭17年	30件からなる各種案件資料であり、極秘 文書 遊休設備の整備に関する件・標準 モーター共販会社設立要綱等を含み、 他に各種の秘文書が存在する。	商工省軍 需省 大臣 官房17
4	省議 (庶務課長会議) 資料 (2) 昭和17年10～11月	商工省大臣官 房 (野寺調整 官)	昭17年	31件からなる各種案件資料であり、厳秘 文書 滞貨買上予定概算表や極秘文書 経済会議所設立要綱 (案) を含む	商工省軍 需省 大臣 官房18
5	商工省委員現地調査答申に 関する件 昭和17年10月2 9日	商工省大臣官 房	昭17年	全国の産業再編成・物資配給等につい て状況調査し、地方各界見解等を聴取し たものである。	商工省軍 需省 大臣 官房20
6	庶務課長会議資料 (昭和1 7年06～12月) 昭和18年 01月06日	軍需省大臣官 房	昭18年	戦時災害復旧資材及救急物資保管並び に配給等に関する案件であり、空襲対策 に関する類の記載がある。	商工省軍 需省 大臣 官房21
7	国家資金推計 (第1次概計) 昭和18年度	商工省大臣官 房	昭18年	国家資金総額推計明細表・物的所得算 出明細等が綴られたものである。	商工省軍 需省 大臣 官房22
8	第84帝国議会に於て問題と なるべき事項 昭和18. 12	軍需省	昭18年	発注の一元化に関する件等、各局関係 の問題となる事項を記載してある。	商工省軍 需省 大臣 官房31
9	軽金属関係綴 昭和19年0 1月	軍需省軽金属 局	昭19年	徴用計画総括表、アルミニウム・アルミ ナ緊急増産建設工事処理事項等の記載 がある。	商工省軍 需省 軽金 属局8
10	熔接講座講習実施概況報告 昭和20年01月04日	財団法人 熔 接研究所	昭20年	講座名・講師・受講者の状況・講習会の 成果について知ることができる史料であ る。	商工省軍 需省 大臣 官房65

第61回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、海軍兵学校関係文書の紹介です。

題 名		著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1	端舟運用教科書	海軍兵学校	明37年	種別、平時の用途、帆の効力、荒天漂泊法等からなり、巻末には端舟指揮心得書がある。	⑦学校－2 433
2	無線電信術講義	海軍兵学校	明42年	無線電信歴史、無線電信の通信効果に影響を及ぼす諸原、無線電信の応用等からなり、応用部分で敵艦搜索、虚勢、傍受及妨害、偵察及び哨戒にふれている。	⑦学校－2 434
3	物理学教科書	海軍兵学校	大5年	本書は巻之十であり、第三編電気磁気学之八(第9章－第12章)138頁からなる。9章は交流、10章は波動、11章は電磁波、12章は無線電信の記述である。	⑦学校－2 435
4	砲術教科書 巻之一 二三 附図	海軍兵学校	明39－41年頃	各種火砲の図面が多数あり、このうち第七十二図から第七十四図は軍艦三笠の発砲電路、砲塔断面図、駐退機に関する図面である。	⑦学校－2 436
5	砲術教科書 附録射表	海軍兵学校	明40年頃	当時の火砲の常・減装薬射表であり、明治40年7月－8月に伊良湖射場に於ける実射の結果により編成したものである。	⑦学校－2 437
6	機関術教科書 巻之一 二 三 四	海軍兵学校	明39～41年頃	機関術教科書であり、巻之一は98頁、二は130頁、三は158頁、四は80頁からなり、旋回機械、内部燃焼機械、84頁に及ぶ機関用語集(英和)が存在する。	⑦学校－2 438
7	機関術教科書 巻之1 附図	海軍兵学校	明39～40年頃	巻之一附図から巻之三附図まであり、一例として浅吃水船スクーター・ビン推進器(巻之二附図第七拾七図之乙)等がある。	⑦学校－2 439
8	水雷術教科書 巻之一 附図	海軍兵学校	明39～40年頃	巻之一附図、巻之二附図、巻之五附図、巻之四付録附図、巻之四附図からなり、巻之四附図には10種類の魚型水雷の諸元表がある。	⑦学校－2 440
9	運用術教科書 巻之一 附図	海軍兵学校	明40～41年頃	巻之一附図、巻之三附図、造船学教科書附図が併せつづられており、冊子体末尾には造船学教科書の正誤表(2枚構成)がある。	⑦学校－2 441
10	英語参考書	海軍兵学校	明39～42年頃	巻之一は84頁、二は35頁、四と五は各24頁からなる。巻末には293頁に及ぶ公用文・普通文例等の他案内状・招待状・名刺の例を含む。	⑦学校－2 442

第62回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、海軍諸学校関係文書等の紹介です。

題 名		著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1	軍艦河内部署	軍艦河内	明42年	1910 (M43)年進水・1918年(T7)年火薬庫爆発事故沈没戦艦であり進水直前の年作成と推定される。当時の事故喪失戦艦の記録史料である。	④船舶140
2	水力機講義録	海軍機関学校	明32年	水力機に関する講義録であり、水車やタービン等に関する各種記述の他、後半部分では応用装置である揚弾装置・装填装置等にふれている。	⑦学校－3200
3	海軍治罪法	海軍機関学校	明34年	明治22年2月12日法律第5号を収録したもので、条文は9章185条構成であり、軍法会議の権限、海軍検察、判決、特赦等の定めがある。	⑦学校－3201
4	汽罐学	海軍機関学校	明30年代頃	191枚からなる汽罐学の教科書であり、燃烧論、衰朽論、破裂論等について記されている。	⑦学校－3202
5	掌砲要務雜則	海軍砲術学校	明44年	執務上の砲術に関する諸令達索引表であり、表裏印刷14枚構成である。一例として兵器備品消耗報告等、各種報告期日一覧表等がある。	⑦学校－4117
6	帝国海軍現有砲煩要目表	海軍砲術学校	明44年	106頁からなる当時の極秘文書であり、各種火砲の諸元等を記している。海軍砲術学校操砲科・兵器科の編纂であり、「十二吋砲塔働作秒時一覧表」がある。	⑦学校－4118
7	電気通信機	海軍水雷学校	明44年	5章構成109頁からなり、電話機、通報機、指示機、警報機、雜種通信機について記されている。	⑦学校－569
8	無線電信兵器	海軍水雷学校	大6年	15章構成208頁からなり、5～11章では各種送受信機について、15章では方向探知機について記されている。	⑦学校－570
9	無線電信教科書 第壹篇 (1) (2)	海軍水雷学校	大3年	2冊合冊されており、508頁からなる。電気振動、送信機等に関する記述があり、当時の無線電信教育の部分について知ることができる史料である。	⑦学校－571
10	電気教科書 卷ノ貳	海軍水雷学校	明45年 大4年	2冊の教科書からなり、明治45年版は高等科水雷術練習生と同電信術練習生用であり、大正4年版は普通科水雷術練習生用である。	⑦学校－572

第63回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、海軍兵学校教科書等の紹介です。

題 名		著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1	水雷術教授書	海軍兵学校	明25年	8章構成95枚からなり、当時の技術を知ることができる史料である。一例として電気測定器、信管等についての記述がある。	⑦学校－2444
2	海軍礼式令等合本	海軍兵学校 (編集)	大7年	海軍礼式令、海軍旗章令、海軍礼砲令、海軍服装令、同施行規則を合本した冊子であり、179頁からなる。109-114頁では各種旗の規格等がある。	⑦学校－2448
3	砲術教科書合冊	海軍兵学校	大8～11年	巻之一(63頁)、巻之三(16頁)、巻之四(44頁)、巻之五(53頁)、巻之六(80頁)、巻之七(65頁)からなり、巻之七第一編には射撃術の記述がある。	⑦学校－2446
4	水雷術教科書 巻之一附図他	海軍兵学校	大9～11年	水雷術教科書 巻之一附図・巻之二附図(発射機)、通信術教科書巻之二附図からなる。一例として第一図に四十五種魚雷四四式の図面がある。	⑦学校－2445
5	水雷術教科書合冊	海軍兵学校	大9～11年	水雷術教科書は巻之一(魚雷・縦舵機)(六年式魚雷)・巻之二(発射機)・巻之三(無線電信)があり、他には潜水艦教科書等が綴られている。	⑦学校－2449
6	航海術教科書合冊	海軍兵学校	大9～12年	巻之五(71頁)、巻之五下(52頁)、巻之六(47頁)、巻之七(38頁)巻之八(33頁)からなり、巻之六第七編には磁気羅針儀自差及其修正法がある。	⑦学校－2447
7	国史教育参考書	海軍兵学校	昭7年	兵学校生徒教育に使用された161頁からなる参考書であり、第一篇は方法論、第二篇は国史について9章構成で各時代についての記述がある。	⑦学校－2443
8	海軍兵学校教育参考館 紀要 第二輯	海軍兵学校 教育参考館	昭11年	教育参考館新築(1935年2月起工、1936年3月竣工)に伴い、従来は部内に配布していた月報を「紀要」として部内外に頒布したものである。	⑦学校－2241-2

第64回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、海軍通信学校教科書等の紹介です。

題 名	著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1 第三十期高等科学生基本戦術講義案	海軍通信学校	昭6年	2編構成であり、戦術要素と戦術の記述からなる。一例として1編2章の中で戦艦の本能等、2編3章「大艦隊ノ戦闘」の中で決戦、海岸戦等の記述がある。	⑦学校-718
2 通信長執務便覧	海軍通信学校	昭6年	通信長・分隊長必須の法規類が掲載された33頁構成の艦艇勤務について知ることができる史料であり、諸法規、報告提出書類等の記述がある。	⑦学校-719
3 海軍通信学校講義資料類	海軍通信学校	昭8～11年	当時の通信技術・教育内容を知ることができる各種講義資料であり、一例として陸軍通信学校甲種学生に対する講義資料、陸軍通信学校見学報告等がある。	⑦学校-725
4 第四期高等科学生用戦術講義案	海軍通信学校	昭9年	76枚構成の講義案であり、当時の海軍戦術及び高等科教育について知ることができる史料である。日本海海戦・奉天会戦等各種戦例を用いた記述がある。	⑦学校-712
5 戦技関係綴	海軍通信学校	昭11～12年	各種の通信学校戦技関係資料からなり、海軍通信の教育訓練に関する史料である。「昭和12年通信戦技研究項目及連合教練通信実施区分案」がある。	⑦学校-720
6 戦務参考資料	海軍通信学校	昭14～17年	庶務参考第2・3編を含む戦務関連史料であり、一例として第2編文書執務では軍事郵便、官報、公報等について記述がある。	⑦学校-721
7 戦務講義案	海軍通信学校	昭17年	予備学生を対象とした講義案であり、当時の海軍の戦務について知ることができる史料である。令達・報告及通報、出征前の諸要務等の記述がある。	⑦学校-713
8 海軍通信学校予備学生基本戦術講義案	海軍通信学校	昭17年	3回分の講義からなり、予備学生教育内容や海軍基本戦術を知ることができる史料である。一例として戦闘の勝敗、艦隊戦闘等の記述がある。	⑦学校-722
9 海軍通信学校第四十一期高等科学生通信戦務講義案	海軍通信学校	昭18年	32頁構成の2回分の講義と3種類の課題等からなる。海軍通信学校高等科教育の内容、通信戦務等について知ることができる史料である。	⑦学校-723

第 65回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、新たに公開した史料を紹介しています。今月は、海軍教育訓練関連文書等の紹介です。

題 名	著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1 呉鎮守府簡閲点呼要覧	呉海軍人事部	昭3年	在郷軍人を各鎮守府に集めて教育する「簡閲点呼」の要領を示した史料である。例として儀礼についての記述がある。	0 その他 63
2 水中聴音参考資料	横須賀海軍工廠機雷実験部	昭12年	2章構成42頁からなる史料であり、第1章では作動原理、性能等について記述があり第2章では管制機能、捕音器についての記述がある。また、各種写真や図面が存在する。	⑥ 兵 器 537
3 九三式探信儀・九二式機雷及水中哨戒具技術講習予稿	横須賀海軍工廠機雷実験部	昭12年	その1（水中音響理論）とその2（探信儀各論）からなり、振動体、送波器の製法等についての記述がある。また、九三式探信儀の検査法について記述がある。	⑥ 兵 器 538
4 無線通信指揮装置制式案ノ件送付	戦艦「日向」通信長	昭16年	戦艦「日向」通信長（海兵51期）正木生虎中佐（当時）が無線通信指揮装置の重要性を述べたものであり、艦隊各戦隊通信参謀及び各通信長に送付した資料である。	⑥ 全 般 174
5 予備学生戦術講義案	横須賀海軍通信学校	昭18年	8章構成38頁からなり、当時の海軍予備学生の教育内容を知ることができる史料である。第1章第4節現代戦の特徴（3総力戦的性質）では国家としての戦争遂行力の基本的要素を図解している。	⑦ 学校－ 7 14
6 戦略講義録上巻	横須賀海軍通信学校	昭18年 昭12年）	昭和12年海大刊行徳永教官述戦略講義録を海軍通信学校高等科学生教育用に複写したものであり、第1編～第4編を収録し「統帥及び兵理」についての記述がある。	⑦ 学校－ 7 15
7 戦略講義録下巻	横須賀海軍通信学校	昭18年 昭12年）	上記史料の続きであり、第5編～第7編を収録、「国防及び作戦」について記述がある。	⑦ 学校－ 7 16

第66回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、公開史料を紹介しています。今月は、満州方面の陸軍関連文書等の紹介です。

題 名	著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1 ノモンハン事件砲兵情報写真	砲兵情報第1連隊写真班	昭14年	数枚の写真を横一列パノラマ型に配列して纏めたもので、事件直後に作成された史料である。	満 州 ノ モンハン261
2 「ノモンハン」事件に関する若干問題に就て 昭和14年05月～9月	大本営陸軍部	昭14年	当時の部外非公表の資料であり、ノモンハン事件の実相を知ることができる史料である。例として俘虜及び軍旗の件についての記述がある。	満 州 ノ モンハン255
3 「ソ」軍各部隊編成装備一覧表 昭和16年01月	第224部隊	昭16年	陸軍参謀本部・関東軍司令部・第10師団司令部において調査したものが集録されている史料であり、狙撃軍団等、各部隊の編成装備について記述がある。	満 州 全 般 429
4 関特演参考資料 其の1 対機甲部隊戦闘法 其の2 対機甲兵器資材及用法 昭和16年08月	関東軍司令部	昭16年	関東軍特種演習（関特演）の参考資料として第10師団に配布されたものであり、昭和16年8月頃、関東軍が対ソ戦、特に対機甲戦闘法を重視していたことがわかる史料である。	満 州 全 般 430
5 状況報告 昭和19.05	満洲第18部隊	昭19年	部隊の特性・編成・教育練成等について報告をまとめた史料であり、部隊の希望意見として動員・経理・獣医務に関して記述がある。	満 州 大 東 亜戦争131
6 高嶋少将史料 防諜二関スル講話	第11部隊	昭19年	将校に対して行われた講話を複写配布したものであり、陸軍における防諜活動の実態について知ることができる史料である。	満 州 大 東 亜戦争133
7 高嶋少将史料 統率上ノ要望	第11部隊	昭19年	統率方針、軍紀等について当時の部隊長要望事項について知ることができる史料であり、要望を掲げるとともに、各所において所要の説明を加えている。	満 州 大 東 亜戦争134

第67回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、公開史料を紹介しています。
 今月は、支那方面の陸軍関連文書等の紹介です。

題 名	著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1 高嶋少将史料 対支経済謀略実施案	陸軍参謀本部第7課	昭12年	陸軍参謀本部第7課（対中国情報担当）による経済謀略実施案であり、日中戦争勃発直後の参謀本部の対中国政策の一端を知ることができる史料である。	支那支那 事変全般 490
2 第35師団通信隊 潞安作戦々闘詳報 S14.07.01～ 14.07.31	35D通信隊	昭14年	当時の師団通信隊の行動について知ることができる史料であり、各所に通信網図、要図を用いて記録されている。巻末には昭和14年7月31日現在の師団通信隊有線通信網図・無線通信網図がある。	支那支那 事変北支 172
3 高嶋少将史料 被包囲 作戦ノ戦史的観察	支那事変史編集部	昭15年	支那事変における戦例について研究したものであり、当時の参謀本部の戦史研究について知ることができる史料である。例として被包囲下における要点の確保と地域の獲得について記述がある。	支那支那 事変全般 494
4 高嶋少将史料 広東省 西部並ニ広東省東部ニ 於ケル鉱物資源調査	高嶋部隊	昭16年	高嶋部隊による中国広東省の鉱物資源調査資料であり、当時の兵要地誌を知ることができる史料である。例として、マンガン、タングステンについての記述がある。	支那支那 事変南支 117
5 高嶋少将史料 福建省 沿岸兵要地誌資料	高嶋部隊	昭16年	CII作戦（昭和16年2月～5月の南支沿岸遮断作戦）において北海海関の押収文書中より資料を得て兵要地誌資料の参考として一部を選抜したものである。福州、温州等の地域の地誌について記述がある。	支那支那 事変南支 118
6 高嶋少将史料 部隊長の 教へ（正・続）	高嶋部隊	昭16年	海南島攻略作戦等の中国南部作戦に参加した台湾歩兵1連隊における訓示等を集めた史料であり、例として「銃剣術ニツキテノ聯隊長要望」等がある。	支那支那 事変南支 120
7 高嶋少将史料 高嶋部 隊の現地より銃後の御 家庭へ	高嶋部隊	昭16年	海南島作戦参加のため外地にいる高嶋部隊（台湾歩兵1連隊）の状況を伝えたものであり、当時の留守家族対策や前線部隊の状況について知ることができる史料である。	支那支那 事変南支 121

第68回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、公開史料を紹介しています。今月は、陸軍の教育訓練及び本土関係文書等の紹介です。

題 名		著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1	要塞ニ於ケル偽装実施ノ参考	陸軍築城部本部	昭16年	迷彩色の観点から、要塞をより発見しにくくするための偽装法を知ることができる史料であり、物体の規模に応ずる基準を設け、所在地域（地形）に応ずる色彩を示している。	本土築城要塞68
2	㊥ 戦車隊教練規定普及の為臨時召集教育の際に於ける 陸軍機甲本部第2課長 口演要旨 昭和17年10月	四平陸軍戦車学校	昭17年	昭和17年11月教育総監部から「戦車の教練規定」が出版配布されるにあたりその普及のため、陸軍機甲本部第2課長が口演した要旨を印刷したものであり、「戦車隊の教練規定」を理解する一助となる史料である。	中央軍隊教育史料508
3	防空監視ノ参考	防衛総司令部	昭18年	防衛総司令部が作成した民防空監視資料であり、本文は六章78頁からなる。各種報告様式を含み、附録に機種機型の識別参考図がある。	陸空本土防空82
4	高嶋少将史料 国軍薄暮攻撃に関する一観察	公主嶺陸軍戦車学校	昭18年	歩砲兵大隊長学生教育資料であり、大隊長教育の概要について知ることができる史料である。薄暮攻撃の意義・利・害等について記述がある。	中央軍隊教育史料514
5	高嶋少将史料 将校教育書類綴	在満州各部隊	昭18年	昭和18年の部隊検閲・訓練等に関する在満州部隊の史料綴である。一例として、「第一一部隊長検閲ノ際ノ将校教育計画」がある。	中央軍隊教育史料515
6	昭和十九年度 簡閲点呼執行計画	新潟連隊区司令部	昭19年	新潟連隊区の在郷軍人等に対する訓練計画等であり、当時の訓練一端を知ることができる史料である。	中央軍事行政法令331
7	高嶋少将史料 官民防衛演習研究問題対策	東京通信局	昭20年	太平洋戦争末期の東京通信局による本土防衛についての研究であり、当時の本土防衛体制等について知ることができる史料である。	本土東部266
8	高嶋少将史料 防衛研究演習調書	東京都経済局	昭20年	東京都経済局によって作成された防衛研究演習についての資料であり、太平洋戦争末期において経済面から本土防衛の要領を伝える史料である。	本土東部267
9	高嶋少将史料 幡部隊作戦教令	幡部隊司令部	昭20年	沿岸兵团の作戦、機動兵团の攻勢準備等について記述があり、太平洋戦争末期の本土決戦準備態勢について知ることができる史料である。	本土東部268

第 69回 「史料公開ニュース」 図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、公開史料を紹介しています。今月は、日露戦争時期の陸海軍関係文書及び満州・支那における陸軍史料等の紹介です。

題 名		著作機関等	作成年	史 料 内 容	登録番号
1	歩兵第 2 1 連隊 陣中日誌	歩兵第 2 1 連隊	明37年頃	日清戦争時に木口小平喇叭卒がいた浜田の連隊が日露戦争では第2・4軍に所属。奉天会戦等の主要な戦闘に参加し、遼陽会戦参加時期にあたる日誌である。	戦役日露戦役361
2	野戦砲兵団隊長召集記事	野戦砲兵射撃学校	明36年	各種演習に関する記事及び附録第1～3からなり、6月5日～18日の14日間に21名の野戦砲兵団隊長が参加した演習の記事である。当時の幹部演習について知ることができる史料である。	戦役日露戦役362
3	南山戦闘詳報	野戦砲兵第 1 4 連隊第 1 大隊	明 37～38年	南山、遼陽、沙河、奉天等を転戦した野戦砲兵第14連隊第1大隊の戦闘詳報であり、当時の戦闘の様相を知ることができる史料である。射撃要図・損耗表の類が添付されているものもある。	戦役日露戦役363
4	日露戦争海戦記海図 明治 3 9 年 0 7 月	佐世保海軍勲功表彰会本部（発行）	明39年	「日露海戦記付録」と記載があり、海図、日露海戦一覧表、日・露艦艇名・排水量・艦型図等が1枚の大型用紙に記された史料である。	②日露戦争43
5	奉天状況一覧 大正 0 8 年 0 5 月	奉天憲兵分隊	大8年	当時の奉天の状況について知ることができる史料であり、人口状況、保安、気温、衛生等各種環境を図表で記載している。例として、金融状況一覧等がある。	支那参考資料261
6	内外蒙境界に関する考察	矢野光二	昭15年頃	ノモンハン事件勃発翌年に内外蒙境界の実情を明らかにした資料であり、限定40部である。5つの地区について記述があるとともに、内外蒙境界の現況に基づく対策及び施設について記述がある。	満州ノモンハン262
7	都山附近ニ於ケル戦闘詳報	野砲兵第 2 3 連隊第 8 中隊 桑原小隊	昭15年	昭和 1 5 年 7 月 2 日の都山附近に於ける戦闘について記録した小隊レベルの戦闘詳報である。戦闘経過の概要をはじめ、敵の兵力、彼我損害の概要、鹵獲品、射耗弾、武功拔群なる者、本戦闘における教訓等について記述がある。	支那支那事変武漢493
8	新疆地名の研究	満鉄北支経済調査所	昭17年	新疆（現在の中国北西部のシンチャウエイ（シンキョウウイグル自治区））地名の解説冊子であり、新疆省の交通路上の地名にトルコ語表記・発音・字義が付されている。	満州満蒙192

第70回 「史料公開ニュース」

図書館

このコーナーでは、防衛研究所の所蔵史料のうち、公開史料を紹介しています。今月は、昭和10年代の陸軍関係文書等の紹介です。

題 名		著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1	司令部服務に関する注意	第2航空地区司令部 他	昭11年 ～昭14 年	訓示、公的な要望書等を綴ったものであり、当時の航空部隊の服務等について知ることができる史料である。「司令部服務に関する注意」(第2航空地区司令官)、「終業に方り第7回整備学生に与ふる訓示」(陸軍航空整備技術学校長)、「昭和13年度上等兵候補者日常の心得」(飛行第9連隊整備隊)等が含まれている。	陸空日誌 回想677
2	第98号九三式砲隊鏡履歴(含第91号九三式砲隊鏡履歴)	独立歩兵第15大隊	昭12年 ～昭13 年	主として敵情捜査及び射弾観測に使用された三脚架付き眼鏡の履歴簿であり、当時の光学器材の部隊整備及び同装備品使用部隊について一端を知ることができる史料である。本史料作成当時の独立混成第4旅団(4コ歩兵大隊基幹)は、昭和13年4月に北支で編成され主として山西省において警備に任じた部隊であり、独立歩兵第15大隊はその隷下部隊である。	中央軍事 行政兵器 364
3	MG(機関銃)便覧	陸軍士官学校	昭14年	92式重機(重機関銃)のハンドブックであり、陸軍士官学校で教育用に作成した資料と推定される。他の教範類には記述が見当たらない、能力に関する件を含む。	中央軍隊 教育教程 士官学校 等432
4	モンゴルの生い立ち	矢野光二	昭17年	著者が昭和12年に参謀本部勤務し、外蒙古の調査を命ぜられ、次いで駐蒙軍調査班長として勤務した間に収集した史料に基づき、昭和17年に編集した公文書の復刻印刷物である。「本書は昭和17年、海拉爾(ハイラル)在勤時、作業したものである。」との記述があり、当時のモンゴルの状況について知ることができる史料である。	満州 満蒙 191
5	高嶋少将史料 作戦行動ニ関スル部隊長注意事項	石第3593部隊	昭19年	石第3593部隊(=在台湾の第10方面軍隷下の第62師団独立歩兵第12大隊)の昭和19年2月8日以降の作戦行動に際し、部隊の行動の準拠を示したものである。単独行動の厳禁、前進間の警戒、人員の掌握等について記述がある。	沖台台湾 66

第71回 「史料公開ニュース」 図書館

平成18年4月の史料公開ニュースでは、ちょうど63年前の昭和18年4月の時期に該当する「い号作戦」（昭和18年4月7日～14日）と「山本五十六連合艦隊司令長官の戦死」（4月18日）に関係した海軍文書等を紹介します。

題 名		著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1	い号作戦気象図（ラバウル進出航空作戦）	第3艦隊	昭18年	「い号作戦」地域の気象図5枚の複製物である。作戦当時（4月7日～14日頃）のラバウル、ニューギニア、ガダルカナル等地域の気象状況について知ることができる。	⑥気象 38
2	昭和18年2月～18年8月 隼鷹飛行機隊戦闘行動調書	航空母艦「隼鷹」	昭18年	「い号作戦」に参加した航空母艦「隼鷹」飛行機隊の戦闘行動調書である。作戦時の出撃機数、搭乗員、損害等を詳細に知ることができる当時の史料である。	⑤行動調書 17
3	山田定義海軍少将日記 其の3	山田定義海軍少将	昭17年 ～18年	「い号作戦」当時、第25航空戦隊司令官だった山田定義海軍少将の日記であり、「い号作戦」、「山本長官戦死」についての記述が含まれている。「い号作戦」については、まとまった公文書がないだけに貴重である。	①日誌回想 562
4	山本元帥国葬関係綴	海軍省副官	昭18年	山本五十六連合艦隊司令長官機の遭難から、遺体発見、国葬に至るまでの史料を海軍省で綴ったものである。遺体発見状況を詳しく述べた南東方面艦隊司令部による事故調査概報、国葬時における海軍大臣放送原稿等が含まれている。	①その他 24-2
5	昭和18年4月20日 山本五十六死体検案書	第一根拠地隊 軍医長・海軍 軍医少佐・田 淵義三郎	昭18年	山本五十六連合艦隊司令長官戦死時、在ブイン第1根拠地隊軍医長だった海軍軍医少佐（当時）田淵義三郎が、作成・保管している死体検案書の複製である。山本長官以下、幕僚等の戦死状況についての記述がある。	①その他 8

平成18年5月の史料公開ニュースでは、今から101年前、明治38年5月27、28日の「日本海海戦」に関係した貴重資料として『極秘 明治37. 8年海戦史』をご紹介します。この史料は、海軍軍令部によって明治38年～44年に編纂され、現在世界で確認されているのは米国に2セット、英国に1セット、日本では防衛研究所図書館に1セット、計4セットのみという貴重な史料です。当館では史料の貴重性に鑑み原本は非公開としていますが、閲覧室の端末コンピューター画像上で、内容はすべて閲覧可能です。本史料は全12部約110冊に上る大部のものです。当館には一部の欠落を除き、ほぼ全巻が収蔵されています。以下、主なものを紹介します。

題 名		著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1	極秘 明治37. 8年海 戦史 第1部～第3部 戦 紀	海軍軍令部	明治38 年～44 年	開戦前一般の状況及び開戦から、旅順・仁川のロシア艦隊に対する作戦を経て、日本海海戦及びその後の作戦に至る主要作戦戦闘。	⑨その他 一千代田 469～491
2	極秘 明治37. 8年海 戦史 第7部 医務衛生	海軍軍令部	明治38 年～44 年	戦闘時医務部員の作業及び戦闘創傷、艦船部隊等の衛生状況、中央の衛生施設及び主な衛生機関等	⑨その他 一千代田 530～549
3	極秘 明治37. 8年海 戦史 第8部 会計経理	海軍軍令部	明治38 年～44 年	臨時軍事費、被服・糧食、戦利品・捕獲品及び拿捕品、工事、船舶等の会計等	⑨その他 一千代田 550～565
4	極秘 明治37. 8年海 戦史 附録写真帖	海軍軍令部	明治38 年～44 年	最終巻であり、目次7頁と写真157頁からなる。船体、武器の損害状況の写真が多く、技術的・戦術的な分析検討の資料とされたものである。関連写真と共に2004年3月『極秘 日露海戦写真帖』として復刻された。当館では復刻版も所蔵している。	⑨その他 一千代田 577 (復刻 版は 392.15K)

第73回 「史料公開ニュース」

図書館

6月の史料公開ニュースでは、「インパール作戦」の昭和19年6月の時期に関係した陸軍文書等を紹介します。3月に日本側の攻勢で開始されたインパール作戦は英軍の強靱な防御力と日本側自身の補給能力の欠如によって、この時期、次第に戦況不利となってゆき、ついに失敗。7月4日に作戦中止命令が出され、以後、さらに困難な撤退作戦へと移行してゆきます。

題 名	著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1 第15師団戦史資料 昭13. 07～21. 05. 01	第15師団司令部	昭和13 ～21年	第15師団（祭兵团）が終戦後、タイから内地へ帰還するに際し、師団参謀、高級副官等が戦闘詳報、陣中日誌、メモ等を元に作成した史料である。終戦直後に作成された史料であり、第15師団のインパール作戦における戦闘状況を伝える史料である。	南西 ビルマ 8 8
2 第15師団戦史資料 昭21. 06. 17	第15師団司令部	昭和13 ～21年	終戦直後に復員省等において、作成され、厚生省を経て、防衛研究所図書館に移管された戦史資料のひとつである。第15師団（祭兵团）の戦歴（昭和13年の中支那派遣～インパール作戦を経て終戦まで）について記述している。	南西 ビルマ 9 3
3 「インパール」作戦における 烈兵团作戦概要 昭19. 03. 15～19. 06. 22	第31師団（烈兵团）長（当時）陸軍中将 佐藤幸徳	昭和19 年	第31師団（烈兵团）長・佐藤幸徳中将がインパール作戦途中、師団長を罷免され、ラングーンの方面司令部に赴く途中、戦況報告のために記述した、作戦当時の一次史料である。	南西 ビルマ 1 1 2
4 第31師団戦史資料 昭18. 05. 上～20. 08. 15	第31師団司令部参謀 陸軍少佐 山本峯一郎	昭和18 ～20年	終戦後、第31師団（烈兵团）の復員にあたり、師団参謀・山本少佐が中心になって作成した史料である。インパール作戦における第31師団の戦闘状況を知る上で貴重な史料である。	南西 ビルマ 1 1 3
5 第33師団戦史資料 昭16. 11. 06～20. 08. 10	元33師団参謀 陸軍少佐 岩 田正孝	昭和16 ～20年	残存資料と関係者の記憶等をもとに岩田参謀が昭和33年に作成した戦史資料である。残存する史料の少ない第33師団（弓兵团）のインパール作戦における戦闘について研究する上で重要な史料である。	南西 ビルマ 6 0 2
6 緬甸作戦記録 インパール 方面第15軍の作戦 S20. 08	第1復員局	昭和20 年	終戦直後に第1復員省史実調査部が第15軍司令官牟田口廉也中将及び第15軍参謀、隷下の第15、31、33師団参謀等の記憶に基づいて作成した作戦記録である。	南西 ビルマ 6 8 2

第74回 「史料公開ニュース」

図書館

今月の史料公開ニュースでは、7月にちなんで「昭和18年7月」に実施された「キスカ島撤収作戦」関連史料を紹介します。今から63年前の昭和18年7月29日、北東海域の深い霧に身を潜め、密かに米軍の封鎖網を突破した第1水雷戦隊によって、キスカ島守備隊約5千名総員の撤収が無事成功しました。

題 名		著作機関等	作成年 (又は該 当時期)	史 料 内 容	登録番号
1	昭和18. 6. 1～7. 31 第1水雷戦隊戦時日誌	第1水雷戦隊司令部	昭和18 年6月 ～7月	キスカ島撤収作戦を担当した海軍第1水雷戦隊司令部による当時の史料である。撤収作戦計画、経過概要等を含んでいる。	④艦船・ 陸上部隊 一戦闘詳 報戦時日 誌101
2	昭和18. 7. 22～8. 31 第1水雷戦隊戦時日誌戦闘 詳報	第1水雷戦隊司令部	昭和18 年7月 ～8月	同じく、海軍第1水雷戦隊司令部の史料である。撤収作戦の詳細な戦闘記録(戦闘詳報)であり、戦訓、作戦中に発生した艦艇同士の衝突事故状況、当時の天気図等貴重な史料を含んでいる。	④艦船・ 陸上部隊 一戦闘詳 報戦時日 誌102
3	アリューシャン作戦記録	第1復員局	昭和18 年	アリューシャン方面(アッツ島、キスカ島)における陸軍の作戦記録である。陸軍部隊側の配備状況や撤収準備状況について知ることができる史料である。	北東 7 リュン 15
4	第51根拠地隊 兼 第5警 備隊主計長書類綴 其の1	第51根拠地隊 兼第5警備隊 主計長 海軍主 計大尉 小林 亨	昭和18 年	アリューシャン作戦における海軍主計科関係唯一の史料である。施設、物品の貯蔵、格納等に関して詳細な記述があり、当時の現地部隊の実相を知る上で貴重な史料である。	③北東 1 0
5	昭和18. 6～19. 12 木村 昌福第1水雷戦隊司令官日 記	第1水雷戦隊司令官 海軍中 将 木村昌福	昭和18 年～19 年	木村昌福海軍中將の第1水雷戦隊司令官(昭和18. 6～19. 12)、第2水雷戦隊司令官(昭和19. 12)時代の日記を複製したもの。困難な撤収作戦を成功させた指揮官自身による記録であり、当時の心理状況等、貴重な内容を含んでいる。	①日誌回 想151
6	キスカ島写真帖	第5警備隊軍医 長 軍医大尉 小林新一郎	昭和17 年～18 年	第5警備隊(在キスカ海軍部隊)軍医長・小林新一郎軍医大尉のアルバムを複製した史料である。キスカ島の状況を詳細に示す写真が数多く見られる他、撤収時の貴重な写真も含まれている。	⑧写真 9 1

第75回 「史料公開ニュース」

図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は「商工省軍需省史料」の主なものを紹介します。軍需省は昭和18年9月、軍需物資の飛躍的増産を目的に、従来の企画院・商工省を吸収する形で設置された官庁です。軍需省およびその前身の商工省に関連する史料は「商工省軍需省史料」として現在、約700冊が公開されています。

題 名		著作機関等	作成年 (又は該 当時期)	史 料 内 容	登録番号
1	発 来簡綴 昭和19. 05. 24～05. 29	軍需省総動員 局	昭和19 年	軍需省総動員局発・来簡文書の最終部分である。太平洋戦争末期における物資統制、標準規格、事業開始許可申請書等、多岐にわたる文書が含まれている。	文庫 商 工省軍需 省 総動 員局 9 9
2	朝鮮地区飛行場図面 昭1 9年度	軍需省航空兵 器総局	昭和19 年	昭和19年度、朝鮮半島に展開された飛行場の10000分の1平面図（青焼き）を集めた史料である。	文庫 商 工省軍需 省 航空 兵器総局 4
3	半田製作所発信書類 昭和 19. 01. 06～20. 08. 10	軍需省航空兵 器総局	昭和19 年～昭 和20年	軍需省設立の主目的は戦局の悪化に対処する航空戦力の増強であった。本史料は軍需省航空兵器総局が、生産強化のため日本国際航空工業株式会社京都製作所の現地指導を実施した際の会議記録等である。	文庫 商 工省軍需 省 航空 兵器総局 5
4	発 来簡綴 昭和20. 05. 01～06. 25	軍需省大臣官 房	昭和20 年	軍需省大臣官房発・来簡文書の最終巻である。太平洋戦争最終期における物資、輸送、動員等、多岐にわたる文書が含まれている。	文庫 商 工省軍需 省 大臣 官房 6 8

第76回 「史料公開ニュース」 図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は、本年春、寄贈された「二・二六事件遺品・遺書関連史料」が、遺族等の承諾を得て、公開可能となったので、紹介します。これらは関係者の手によって、これまで保管されてきた二・二六事件刑死者の遺品・遺書等がまとめて寄贈されたという珍しいケースです。遺品等の現物は、その貴重性に鑑み、原本保存等の観点から非公開としていますが、2冊の複製史料簿冊及び史料閲覧室のパソコン上で、すべて内容は閲覧可能です。

題 名		著作機関等	作成年 (又は該 当時期)	史 料 内 容	登録番号
1	二・二六事件遺品綴り(安田氏寄贈)	陸軍中佐相澤三郎及び二・二六事件関係者	昭和11年等	「仏心会」(二・二六事件刑死者遺族会)世話役の安田善三郎氏から寄贈された遺品218点を写真で収録した史料です。相澤三郎中佐の書、安藤輝三大尉、安田優少尉の遺書等やハンカチ、短冊、電報等の遺品が含まれています。	本土 全般 182
2	二・二六事件遺書綴り(林氏寄贈)	二・二六事件関係者	昭和11年	二・二六事件当時、陸軍衛戍刑務所看守であった林治作氏が所蔵し、子息の林恒夫氏から寄贈された事件関係者の遺書等32点を写真で収録した史料です。高橋太郎少尉、栗原安秀中尉等の遺書が含まれています。	本土 全般 183

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。
今月は、大東亜戦争開戦時、海軍次官であった澤本頼雄海軍大将の業務メモについて紹介します。

題 名		登録番号	作成者	史 料 内 容 等
1	澤本頼雄海軍大将業務メモ (第2遣支艦隊及び呉鎮守 府時代等抜粋)	① 日誌回想 890	澤本頼雄	澤本頼雄海軍大将（海兵36期）が昭和13年2月 から昭和20年4月までの間の多彩な勤務を通じ、 その時々々の体験、見聞、所感を記録した業務メモ を複製したものである。特に、海軍次官時代のメモ は、大東亜戦争開戦に至る経緯、海軍首脳の動き等 が記され貴重である。なお、「海軍大将澤本 頼雄戦時中手記（業務メモ）抜粋」（①日誌回想 898）のみ戦後の昭和38年に記された回想記で あり、敗戦の原因と反省が端的に述べられている。
2	澤本頼雄海軍大将業務メモ (第2遣支艦隊時代)	① 日誌回想 891		
3	澤本頼雄海軍大将業務メモ (叢1)	① 日誌回想 892		
4	澤本頼雄海軍大将業務メモ (叢2)	① 日誌回想 893		
5	澤本頼雄海軍大将業務メモ (叢3)	① 日誌回想 894		
6	澤本頼雄海軍大将業務メモ (叢4 局部長会報摘録除く)	① 日誌回想 895		
7	澤本頼雄海軍大将業務メモ (叢4 局部長会報摘録)	① 日誌回想 896		
8	海軍大将澤本頼雄戦時中手 記(業務メモ)抜粋	① 日誌回想 898		

第78回 「史料公開ニュース」

図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は、中部太平洋メレヨン島守備隊中隊長桑江良逢陸軍大尉の日誌類について紹介します。メレヨン島は昭和19年7月のサイパン失陥以降、補給路を絶たれ孤立化したため、多くの戦病死者を生じたことで「敵上陸無き玉砕の島」として著名な島です。桑江大尉の日誌類は守備間の克明な記録であり、メレヨン戦史研究にとって貴重な史料です。

題 名		著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1	メレヨン守備隊中隊長 桑江良逢 日誌第一号～五号・メモ	桑江良逢	昭和19～20年	手帳5冊、ノート1冊から成る日誌でメレヨン島における作戦間の部隊・隊員の状況等の克明な記録であり、戦史叢書「中部太平洋陸軍作戦〈2〉メレヨン環島の守備」の原資料となったものです。	中太 西 カロリン 189
2	メレヨン守備隊中隊長 桑江良逢 作戦日誌	桑江良逢	昭和19年	主としてメレヨン島上陸後実施した防御準備、特に築城の記録であり、経始図等を用い詳細に記述されています。	中太 西 カロリン 190
3	メレヨン守備隊中隊長 桑江良逢 現地自活日誌	桑江良逢	昭和19年	サイパン失陥以降の補給途絶下でのメレヨン島における現地自活の詳細な記録です。	中太 西 カロリン 191
4	桑江良逢 メレヨン回想記	桑江良逢	昭和21年頃	メレヨン守備隊の実相を明らかにするため、復員後、当時の日記、中隊日誌等を基に作成した回想記です。	中太 西 カロリン 193
5	諸参考綴 メレヨン守備隊 桑江隊	桑江隊	昭和20年	復員業務のために作成されたメレヨン守備隊独立歩兵第335大隊第2中隊（桑江隊）の戦時名簿送付目録綴、死亡者連名簿、除隊召集解除者連名簿、別府陸病転属者連名簿、遺骨還送名簿、遺留品明細書等の資料綴です。	中太 西 カロリン 194-2

第79回 「史料公開ニュース」 図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。 今月は、昭和初年頃から大東亜戦争末期までの間に、海軍の航空要員養成機関で使用された、教範類及び教育予定表等について紹介します。

題 名		著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1	飛行機飛行教範草案	海軍教育局	昭和2年	海軍教育局が昭和2年に試用を開始した飛行機飛行教範の草案です。昭和14年3月、新たに「航空教範第1編(前編)」が示達されるまで、軍用飛行機操縦者の飛行に関する準拠となる教範でした。	⑦教育 航空教範 263
2	九三式中間練習機		昭和9年頃	昭和9年制式化以降、大東亜戦争末まで海軍練習機の代表機種であった九三式中間練習機の操法参考資料であり、当時の航空要員教育を研究するうえで貴重な資料です。	⑦教育 航空教範 260
3	第十一聯合航空隊教務規定	鹿島海軍航空隊教務副官部	昭和13年頃	第11聯合航空隊の教務および研究実施の準拠となる規定です。第11聯合航空隊は航空軍備拡充に応ずる要員多量養成に対応するため、昭和13年12月に編成された練習連合航空隊です。	⑧参考 法務法令 120
4	昭和十四年五月 操縦偵察教員須知	第11聯合航空隊	昭和14年頃	第11聯合航空隊の操縦・偵察教員に対する教育の指針です。海軍軍人として心得るべき事項、飛行員として心得るべき事項、教育者として心得るべき事項から成ります。	⑦教育 航空教範 265
5	飛行練習生徒授業予定表	大津海軍航空隊	昭和18年	大津海軍航空隊第31期飛行練習生徒の授業予定表で戦時下の搭乗員教育の状況が窺える貴重な資料です。同隊は昭和17年4月に航空機搭乗員の大量急速養成のため大津市郊外に設置された部隊です。	⑦教育 航空関係 27
6	福山高等航空機乗員養成所教授予定表及び教育指導標準	福山高等航空機乗員養成所	昭和18年	福山高等航空機乗員養成所の教授予定表及び教育指導標準で戦時下の搭乗員教育の状況が窺える貴重な資料です。同養成所は昭和18年4月に航空機搭乗員の大量急速養成のため現在の福山市に設置された養成所です。	⑦教育 航空関係 28

第80回 「史料公開ニュース」 図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。 今月は、第12方面軍（幡部隊）参謀長であった高嶋辰彦陸軍少将の所蔵史料のうち、大東亜戦争末期の本土防衛に関連する史料について紹介します。

題 名		著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1	戒厳ニ関スル研究資料	陸軍省軍事課	昭和19年	本州重要都市に対する空襲が激化したという想定で戒厳が宣告された際の対応について研究した資料です。戦争末期の陸軍の戒厳についての考え方、計画について知ることのできる一次史料です。	本土東部 263
2	防衛ニ関スル意見	東部軍司令官	昭和19年	東部軍司令官が当時の防衛総司令官（東久邇宮稔彦王）に提出した帝都防衛に関する意見書です。軍防空に関する事項、民防空に関する事項、対潜行動に関する事項から成ります。	本土東部 264
3	官民防衛演習研究問題対策	東京通信局	昭和20年	東京通信局の作成した本土防衛作戦に対応する通信施設整備強化に関する研究資料です。	本土東部 266
4	防衛研究演習調書	東京都経済局	昭和20年	東京都経済局の作成した本土防衛作戦に対応する物資の調達・備蓄に関する研究資料です。	本土東部 267
5	幡部隊作戦教令	幡部隊司令部	昭和20年	第12方面軍の本土決戦における作戦、築城、訓練の準拠として昭和20年8月3日に示された教令です。戦争末期の決戦準備態勢を伝える一次史料です。	本土東部 268

第81回 「史料公開ニュース」

図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。
 今月は、日本本土空襲に関連する史料について紹介します。

題 名		著作機関等	作成年（又は 該当時期）	史 料 内 容	登録番号
1	東部防空訓練	警視庁・東京府 東京市	昭和14年	昭和14年度第3次東部防空訓練に関する広報です。訓練日程・訓練事項、防空警報伝達方法、灯火管制、焼夷弾に対する消防、防毒・避難訓練要領等が記述され、当時の市民防空の様子を知ることができる史料です。	本土全般168
2	昭和十五年十二月 灯火管制指導要領	内務省計画局	昭和15年	灯火管制について一般に普及すべき事項を定めた指導要領です。発行者は財団法人大日本防空協会で付録に灯火管制についての具体的要領が図等により示されています。	本土全般177
3	昭和十七年四月 空襲被害調査報告	陸軍築城部本部	昭和17年	昭和17年4月18日に行なわれた米機動部隊艦載機による本土初空襲に関する京浜地区の被害調査報告書です。巻末に被害調査写真が添付され当時の被害状況を知ることができる貴重な史料です。	本土全般176
4	昭和十七年四月 日本空襲二用ヒタル焼夷弾 容器二就テ	東京第二陸軍 造兵廠研究所	昭和17年	上記空襲の際、使用された焼夷弾容器の構造を調査した報告書です。	本土全般175
5	昭和十八年五月 空襲被害対策	造兵課	昭和18年	各地の陸軍造兵廠が作成した軍需施設の空襲の被害見積りと対策をまとめた史料です。	本土全般162
6	東部軍管区警報地区区分表	東部軍管区司令部	昭和20年	昭和20年2月、東部軍管区司令部が軍管区の改編に伴い、軍管区内の警報地区区分を改正した際に管内に配布した史料です。	本土東部260
7	昭和二十年五月十二日 軍律関係書類	第1総軍司令部他	昭和17年 ～20年	敵航空機搭乗員の処罰等に関する軍律をまとめた史料で昭和20年5月の第1総軍軍律の他、昭和17年10月の防衛総司令部軍律等の関連文書が収録されています。	本土全般180

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設（平成12年11月）以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料（約700万画像）がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター（<http://www.jacar.go.jp/>）へアクセスを。

第82回 「史料公開ニュース」 図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は、大井篤海軍大佐（海兵51期）の日記を紹介します。大井大佐は、山形県出身。大東亜戦争間は、軍令部部員、第2遣支艦隊参謀、海軍省調査課員・人事局員、大本営参謀、海上護衛艦隊総司令部参謀等の職務を歴任しました。日記は、18冊から成り、「大井篤日記（3）昭和5年（東京外語国内留学時代）」以降の大半は英文により綴られています。なお、日記の他、手記、備忘録等も所蔵・公開しております。

題 名		登録番号	作成者
1	大井篤日記(1)大正10～11年(海軍兵学校時代)	①日誌回想 9 1 8	大井 篤
2	大井篤日記(2)大正15年(中尉・遠洋航海時代)	①日誌回想 9 1 9	
3	大井篤日記(3)昭和5年(東京外語国内留学時代)	①日誌回想 9 2 0	
4	大井篤日記(4)昭和8年(扶桑分隊長時代)	①日誌回想 9 2 1	
5	大井篤日記(5)昭和14年～15年(第2遣支艦隊参謀時代1/10)	①日誌回想 9 2 2	
6	大井篤日記(6)昭和15年1月～2月(第2遣支艦隊参謀時代2/10)	①日誌回想 9 2 3	
7	大井篤日記(7)昭和15年2月～3月(第2遣支艦隊参謀時代3/10)	①日誌回想 9 2 4	
8	大井篤日記(8)昭和15年3月～4月(第2遣支艦隊参謀時代4/10)	①日誌回想 9 2 5	
9	大井篤日記(9)昭和15年4月～5月(第2遣支艦隊参謀時代5/10)	①日誌回想 9 2 6	
10	大井篤日記(10)昭和15年5月～6月(第2遣支艦隊参謀時代6/10)	①日誌回想 9 2 7	
11	大井篤日記(11)昭和15年6月～7月(第2遣支艦隊参謀時代7/10)	①日誌回想 9 2 8	
12	大井篤日記(12)昭和15年7月～8月(第2遣支艦隊参謀時代8/10)	①日誌回想 9 2 9	
13	大井篤日記(13)昭和15年8月～9月(第2遣支艦隊参謀時代9/10)	①日誌回想 9 3 0	
14	大井篤日記(14)昭和15年9月～10月(第2遣支艦隊参謀時代10/10)	①日誌回想 9 3 1	
15	大井篤日記(昭和16年後期)	①日誌回想 9 7	
16	大井篤日記(16)昭和16年9月～10月(海軍省調査課員時代2/2)	①日誌回想 9 3 3	
17	大井篤日記(17)昭和19年(海上護衛総司令部参謀時代)	①日誌回想 9 3 4	
18	大井篤日記(18)昭和21年(敗戦後)	①日誌回想 9 3 5	

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設（平成12年11月）以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料（約700万画像）がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター（<http://www.jacar.go.jp/>）へアクセスを。

第83回 「史料公開ニュース」

図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は、商工省・軍需省史料について紹介します。当館の所蔵する商工省・軍需省関係の公文書は、総数1424冊で全冊公開しております。

題 名		著作機関等	作成年 (又は該 当時期)	史 料 内 容	登録番号
1	昭和十六、四 産業団体令案(産業組織法 案を含む)	商工省総務局	昭和15 年～16 年	昭和16年9月に公布された「重要産業団体令」の試案である「産業団体令案要綱」の他、「産業団体再編成要綱試案」、「産業組織法」等の当時の経済新体制に関する文書を編纂した史料です。	文庫 商工省軍 需省 総務局 18
2	昭和十六年、十七年 統制会二閣スル書類	商工省総務局	昭和16 年～17 年	官民一体の新しい経済運営機構を目標として「重要産業団体令」に基づき設立された統制会に関する文書を編纂した史料です。	文庫 商工省軍 需省 総務局 26
3	昭和十五年～十七年 重要産業統制団体協議会 資料	商工省	昭和15 年～17 年	重要産業統制団体協議会の議事録、配布資料等を編纂した史料です。	文庫 商工省軍 需省 その他の 局 1
4	昭和十六、十 企業許可令(案)	商工省	昭和16 年	昭和16年11月に国家総動員法に基づき公布された「企業許可令」の試案、施行規則、運用方針等を編纂した史料です。	文庫 商工省軍 需省 その他の 局 36
5	昭和十八年～二十年 軍需省航空兵器総局関係 史料編	軍需省他	昭和18 年～20 年	昭和18年11月に創設された軍需省のうち、航空兵器総局に関する文書等を編纂した史料です。	文庫 商工省軍 需省 その他の 局 17

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設（平成12年11月）以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料（約700万画像）がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター（<http://www.jacar.go.jp/>）へアクセスを。

第84回 「史料公開ニュース」

図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。

今月は、小畑英良陸軍大将（陸士23期）の日記を紹介します。小畑大将は、大阪府出身。大東亜戦争間は、第5飛行集団長、第5飛行師団長、第3航空軍司令官を歴任、最後は、第31軍司令官（マリアナ地区陸軍最高指揮官）として絶対国防圏であるマリアナ地区防衛に任じましたが、昭和19年6月米軍の進攻を受け、7月にはサイパン陥落、大将自身は、8月に視察中のグアム島において戦死しました。

今回は、幼年学校時代から陸軍大学校教官時代（明治40年から昭和2年）までの日記を掲載します。

題 名		登録番号	作成者
1	小畑英良大将日記(大阪陸幼～中央陸幼時代)1／4～4／4	文庫小畑1～4	小畑英良
2	小畑英良大将日記(騎兵第11連隊隊付～士官学校時代)1／2～2／2	文庫小畑5～6	
3	小畑英良大将日記(騎兵第11連隊付時代)1／5～5／5	文庫小畑7～11	
4	小畑英良大将日記(陸軍大学校学生、陸大付、陸大教官時代)1／5～5／5	文庫小畑12～16	
5	小畑英良大将日記小畑英良日記(英国派遣時代)1／4～4／4	文庫小畑17～20	
6	小畑英良大将日記(陸大教官時代)	文庫小畑21	

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設（平成12年11月）以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料（約700万画像）がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。

詳しくは、アジア歴史資料センター（<http://www.jacar.go.jp/>）へアクセスを。

第85回 「史料公開ニュース」 図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は、先月に引き続き小畑英良陸軍大将（陸士23期）の日記を紹介します。今回は、小畑大将の印度駐在武官時代から第5飛行師団長時代（昭和3年から昭和17年）までを掲載します。

題 名		登録番号	作成者
1	小畑英良日記(印度駐在武官時代)1/2~2/2	文庫小畑22~23	小畑英良
2	小畑英良日記(軍務局課員、参本部員、軍令部参謀時代)1/4~4/4	文庫小畑24~27	
3	小畑英良日記(参本演習課長時代)1/2~2/2	文庫小畑28~29	
4	小畑英良日記(騎兵第14連隊長時代)1/2~2/2	文庫小畑30~31	
5	小畑英良日記(明野飛校幹事、校長時代)1/3~3/3	文庫小畑32~34	
6	小畑英良日記(第5飛行集團長、第5飛行師団長時代)1/2~2/2	文庫小畑35~36	

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設（平成12年11月）以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料（約700万画像）がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター（<http://www.jacar.go.jp/>）へアクセスを。

第86回 「史料公開ニュース」 図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は、「海自創設経緯資料」「山本資料」です。当館の所蔵する「海自創設経緯資料」及び「山本資料」は、総数79点です。

題 名		著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1	Y委員会記録 其の一 Y委員会議事摘録	Y委員会	昭和26年～27年	旧海軍関係者及び海上保安庁関係者からなる「Y委員会」によって作成され、海上自衛隊に保管されていた史料の一つで、Y委員設置の経緯を示す覚書、委員会議事録の手書き原稿及びそれをタイプ印刷したものからなる史料です。NHKの特集番組でも報道されました。	⑨その他 海自創設 経緯資料 4
2	Y委員会記録 募集関係綴 8/8	Y委員会	昭和26年～27年	上記「Y委員会」によって作成された研究資料のうち「第1回海上警備隊の募集計画、採用試験案」等の要員募集関係資料を集成した史料です。	⑨その他 海自創設 経緯資料 19
3	山本資料 決号作戦準備 (複製)	山本善雄元海軍少将	昭和20年～21年	山本少将(当時、海軍省軍務局1課長)の敗戦直前の「決号作戦準備」(本土決戦準備)に関するメモですが、昭和20年7月で、いったん記述が途切れた後、敗戦後の昭和21年頃のメモ、所見等が書き加えられています。	⑨その他 山本 1-2
4	山本資料 第1回国会説明資料	復員庁第2復員局	昭和22年	復員庁第2復員局が第1回国会の説明資料として作成した史料の複製で、当時の外地からの引き揚げ業務や、在外邦人の状況等が中心となっています。	⑨その他 山本 8
5	山本資料 山本善雄日記 (9・10-2)昭和26・27年	山本善雄元海軍少将	昭和26～27年	山本元少将が昭和26年10月に発足した「Y委員会」の中心として、招聘され、活躍していた時期の日記(複製)です。	⑨その他 山本 43-2

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設(平成12年11月)以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料(約700万画像)がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター (<http://www.jacar.go.jp/>) へアクセスを。

第87回 「史料公開ニュース」 図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。
 今月は、大東亜戦争間における海軍航空に関連する史料を紹介します。

題 名	著作機関等	作成年 (又は該 当時期)	史 料 内 容 等	登録番号
1 昭和16年～20年 大東亜戦争中の飛行機生産 数及び飛行機消耗数	海軍航空本部	昭和20	昭和20年10月に海軍航空本部が作成した大東亜戦争中の飛行機生産数及び飛行機消耗数の史料です。戦争間の飛行機生産、損耗の推移を良く表しています。	⑤ 航空本部 98
2 昭和16年12月26日 操縦員適性検査ニ関スル相 学的研究(其の三)	海軍航空本部 教育部	昭和16 年	陸軍航空本部囑託吉野義人が相学(手相・骨相)と搭乗員適正についての研究成果をまとめた史料です。海軍が操縦適性検査に相学を応用していたというのは山本五十六連合艦隊司令長官の評伝等で有名ですが、それを実証する珍しい研究書です。	⑤ その他 133
3 極秘 必勝戦策(Z飛行機(富嶽) 計画書)	中島知久平(中 島飛行機社長)	昭和18 年	幻の超大型長距離爆撃機「Z飛行機(富嶽)」の計画者であった中島知久平が昭和18年に作成した計画書です。中島は、大東亜戦争の前途を考慮して巨人機による米本土攻撃を構想し実現にむけ努力をしましたが、昭和19年サイパン失陥により軍の方針が変わり、富嶽計画は放棄されました。	⑥ 飛行機 298
4 昭和20年 ネ20型計画概要	第1海軍技術 廠噴進部	昭和20 年	第1海軍技術廠噴進部の作成した国産第1号の実用ジェットエンジン「ネ20型」の計画概要です。「ネ20型」は国産初のジェット機「橘花」に搭載されましたが、第1号機の試験飛行が行なわれたのは終戦直前の昭和20年8月7日であり、これも幻のジェット機となりました。	⑥ 発動機 93

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設(平成12年11月)以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料(約700万画像)がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター(<http://www.jacar.go.jp/>)へアクセスを。

第88回 「史料公開ニュース」

図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は、ペリリュー島作戦に関する史料を紹介します。中部太平洋西カロリンパラオ諸島に位置するペリリュー島は、昭和19年9月15日に連合軍の進攻を受け、歩兵第2聯隊長中川州男大佐の指揮する守備隊は約2ヶ月にわたり挺身攻撃の反復実施等により勇戦奮闘しましたが、同年11月24日に玉砕しています。本作戦は圧倒的に優勢な敵に対し戦闘損害比率40%という大損害を与えたことで著名な作戦です。

題 名	著作機関等	作成年 (又は該 当時期)	史 料 内 容 等	登録番号
1 昭和19年度 戦闘計画及決戦書類	ペリリュー地区 隊等	昭和19 年	ペリリュー地区隊北地区隊前田隊が 編綴したと推定される戦闘計画等の 綴りです。ペリリュー地区隊戦闘計 画、北地区隊戦闘計画、斬込隊戦闘 教令案等から成り、戦後米国より返 還された史料の一つです。	中太 西カロリン 11
2 大東亜戦争 陣中日誌 昭19. 10. 1 昭19. 10. 31	第14師団司令 部参謀部	昭和19 年	パラオ地区集団である第14師団の 司令部参謀部の作成した昭和19年 10月分の陣中日誌です。刻々と変 化するペリリュー地区等の戦況が記 録されています。	中太 西カロリン 17
3 自昭和十九年九月二十二 日至昭和十九年九月二十 五日中部太平洋第二次「パ ラオ」作戦「ペリリュー」島逆 上陸戦闘詳報	歩兵15聯隊	昭和19 年	米軍上陸から約1週間経過後、第1 4師団はペリリュー地区隊増援のた め隷下の第15聯隊飯田大隊をもっ て逆上陸を敢行しました。本史料 は、その際の歩兵15聯隊の戦闘詳 報です。	中太 西カロリン 23
4 大東亜戦争 パラオ(ペリ リュー)島関係要図	第14師団司令 部参謀部	昭和19 年～20 年	第14師団司令部が作戦指導に使用 した各種要図ですが、手描きによる 詳細なペリリュー島兵要地誌図を含 んでいます。	中太 西カロリン 18

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設（平成12年11月）以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料（約700万画像）がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター（<http://www.jacar.go.jp/>）へアクセスを。

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。今月は、ハワイ作戦時の第三戦隊等の戦時日誌、戦闘詳報について紹介します。防衛研究所は連合国が押収した日本軍史料の収集を実施しています。今回紹介の史料もその収集成果の一環で、現在、原本が米国メリーランド大学図書館に保存されているハワイ作戦間の機動部隊の行動を記録した貴重な公文書の複写です。

題 名		著作機関等	作成年 (又は該 当時期)	史 料 内 容	登録番号
1	第三戦隊戦時日誌	第三戦隊司令部	昭和16年	ハワイ作戦において空襲部隊支援に任じた第三戦隊の昭和16年12月の戦時日誌。	④ 戦闘詳報 戦時日誌 39
2	機動部隊支援部隊[第三戦隊(第二小隊欠)]戦闘詳報第一号	第三戦隊司令部	昭和16年	上記部隊の昭和16年11月26日から12月24日の間の戦闘詳報。	④ 戦闘詳報 戦時日誌 39-2
3	第八戦隊戦時日誌	第八戦隊司令部	昭和16年	ハワイ作戦において空襲部隊支援及び帰路、ウェーキ島攻略作戦増援に任じた第八戦隊の昭和16年12月の戦時日誌。	④ 戦闘詳報 戦時日誌 48
4	第一水雷戦隊戦時日誌 作戦及一般の部	第一水雷戦隊司令部	昭和16年	ハワイ作戦において航路警戒、飛行警戒、補給部隊護衛に任じた第一水雷戦隊の昭和16年12月の戦時日誌。 「令達報告等」12月8日の欄に、攻撃隊総指揮官淵田美津夫大佐の発した「全軍突撃セヨ」及び「奇襲二成功せり」の電文が記録されている。	④ 戦闘詳報 戦時日誌 94

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設（平成12年11月）以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料（約700万画像）がアジア歴史資料センターのインターネットで閲覧可能です。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター（<http://www.jacar.go.jp/>）へアクセスを。

第90回 「史料公開ニュース」 図書館

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料の中の公開史料を紹介しています。 今月は、住谷悌主計少将(陸軍経理学校主計候補生11期、終戦時燃料本部経理部長) 所蔵史料の内、ガダルカナル島補給輸送作戦に関連する史料について紹介します。昭和17年11月、米軍の攻勢転移以降、ガダルカナル島への補給は困難となり、翌年2月の撤収作戦までの間、いわゆる鼠輸送が実施されました。本史料は、その実相を具体的数値で明らかにする貴重な史料です。

題 名	著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1 船舶糧秣輸送状況一覧表	第17軍経理部	昭和17年～18年	昭和17年10月から18年3月の間の、ガダルカナル島への輸送船による糧秣輸送状況を折れ線グラフ化した大判の史料。	南東 ソロモン・ビ スマルク 245
2 「ガ」島糧秣輸送状況一覧表	第17軍経理部	昭和17年～18年	昭和17年10月から18年1月の間の、ガダルカナル島への潜水艦、駆逐艦、巡洋艦による糧秣輸送状況を一表化した史料。	南東 ソロモン・ビ スマルク 246
3 昭和十八年二月 「ガ」島ニ於ケル糧秣揚陸交付数量調査	第17軍経理部	昭和18年	昭和17年8月から18年2月の間のガダルカナル攻防戦における糧秣揚陸交付状況についての調査報告資料。	南東 ソロモン・ビ スマルク 247
4 ガダルカナル島—第十七軍の補給線	第17軍経理部	昭和17年	沖集団(第17軍)測量班作成の地図に昭和17年11月頃と推定されるガダルカナル島における車両、舟艇による補給線を色鉛筆により記入したもの。	南東 ソロモン・ビ スマルク 248

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設(平成12年11月)以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料(約800万画像)をアジア歴史資料センターに提供済みです。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。
詳しくは、アジア歴史資料センター (<http://www.jacar.go.jp/>) へアクセスを。

史料公開ニュースでは、図書館史料室所蔵史料中の公開史料を紹介しています。今月は、ガダルカナル島撤収作戦が昭和18年2月に実施されたことに因み、同作戦に関連する史料を紹介するとともに、最近、史料室に寄贈された岩佐捨治船匠特務中尉の日誌について紹介します。

題 名		著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史 料 内 容	登録番号
1	ガ島撤収作戦について	瀬島龍三	昭和32 年 (昭和 17年)	故瀬島龍三氏がソ連抑留から帰国直後に記述したガダルカナル島撤収作戦に関する回想録。昭和17年11月末の大本営陸軍参謀南東方面主任を命ぜられた時点から同年12月31日の御前会議に至るまでの、ガダルカナル島作戦戦略転換の経緯を簡潔に記した史料。	南東 ソロモン・ ビスマルク 15
2	ガダルカナル作戦重要書類綴	参謀総長等	昭和17 年～18 年	ガダルカナル島作戦のうち、「ケ」号作戦（撤収作戦）に関連する勅語、重要な訓示等を収録した史料。	南東 ソロモン・ ビスマルク 17
3	岩佐捨治 風雲録(日露戦時日誌)(1)～(5)	岩佐捨治	明治37 年1～ 10月	日露戦争中、船匠特務中尉として「朝日」艦に乗艦した岩佐捨治氏の日誌。この間における岩佐自身の発受書簡についても内容を確認することができる。	②戦史 日露戦争 48～52
4	岩佐捨治日独戦日誌(2)～(10)	岩佐捨治	大正3 年9月 ～4年4 月	第1次世界大戦中、船匠特務中尉として「相模」艦に乗艦した岩佐捨治氏の日誌。欧米情勢や国内政局に関する書き込み、新聞記事切り抜き等が豊富である。なお本日誌(1)の所在は確認できない。	②戦史 一次大戦 14～22

その他のお知らせ

防衛研究所はアジア歴史資料センターの開設（平成12年11月）以降逐次、電子化した史料を同センターに提供しております。現在、陸軍省大日記、海軍省公文備考等多数の史料（約850万画像）を提供済みです。更に今後もデータ整備を継続しますのでご利用下さい。詳しくは、アジア歴史資料センター（<http://www.jacar.go.jp/>）へアクセスを。